

KA02051-Y900-06

サーマルプリンタ  
F P - 3 2 L  
取扱説明書

The Fujitsu logo, consisting of the word "FUJITSU" in a bold, red, sans-serif font. Above the letter "I" is a stylized infinity symbol or a pair of interlocking circles.

富士通アイソテック株式会社

## ご注意

- ・ 本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標又は登録商標です。
- ・ 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写する事は固くお断りします。
- ・ 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、ご不明な点や誤り、記述もれなど、お気づきの点がありましたらお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・ 本書に基づいて本製品を運用した結果の影響、過失による損傷につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、弊社および弊社指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 純正品および弊社認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には責任を負いかねますのでご了承ください。

## 製品を安全にご使用していただくために

### ● 本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通アイソテックは、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

### ● VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

### ● リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

## ● 本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

## ● 事業系の使用済製品の引取りとリサイクルについてのお願い

この製品の所有者が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

当社では、富士通アイソテックリサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

(C) 2009-2020 富士通アイソテック株式会社

## 安全上のご注意

### ● 警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 <b>警告</b>	 <b>注意</b>
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



本プリンタに接続するACアダプタ、電源コードは、弊社同梱品のACアダプタを使用しないと火災及び感電の危険がありますので、弊社同梱品のACアダプタ、電源コードを必ず使用して下さい。

また、同梱品のACアダプタ、電源コードは、本プリンタ以外の電気機器に使用しないでください。

ドロアーキックケーブルを接続する場合は、取扱説明書の指定する方法以外のことは行わないでください。火災・感電の原因となります。

製品の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水の入った容器、金属物を置いたり、水をかけたりしないでください。感電・火災の原因となります。



本製品を湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。感電・火災の原因となります。

ACアダプタを接続する場合は、ACアダプタに表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしてしないでください。感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電・火災の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。本製品の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



万一、発熱や煙、異臭がするなどの異常が発生した場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して販売会社(または保守サービスセンター)に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対にお止めください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異物(水・金属片・液体など)が製品の内部に入った場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社(または保守サービスセンター)にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。製品を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社(または保守サービスセンター)にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ACアダプタに電源コードを差し込んだり、製品に繋ぐ際には、必ず製品の電源スイッチが切れていることを確認してください。又、コンセントへ差し込む場合は、ACアダプタと製品がきちんと接続されていることを確認してください。感電の原因となります。



本製品を包装しているビニール袋を誤って被ることがないように、小さなお子様の手が届かないところにおいてください。万一の場合は、ただちに医師と相談してください。



電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災の原因となります。



製品を改造しないでください。内部の点検、修理は販売会社(または保守サービスセンター)にご依頼ください。内部には電圧の高い部分や鋭利な部分があり、感電やけがの原因となります。

## 注意



製品の上に重いものを置かないでください。  
バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

使用中や使用直後に、装置の印字部のカバーを開けて指などを入れないでください。けが、やけどの原因になることがあります。



使用中や使用直後に、装置の印字部のカバーを開けて印字ヘッドに触れないでください。けが、やけどの原因になることがあります。



製品を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、製品が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線が露出したり、断線して火災・感電の原因になることがあります。

落雷のおそれがあるときは、安全の為に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因になることがあります。

長時間装置を使用しないときは、安全の為に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因になることがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・故障の原因になることがあります。



本製品の Bluetooth 仕様の装置については、Bluetooth 通信機能が搭載されております。

各国の無線電波法により、本製品をお使い頂けないことがあります。

電波法は、各国ごとに定められており、その内容も国によって異なるため、本製品で認証を取得済の国のみで使用してください。

なお、本製品の電波法認証国以外で使用し、生じたトラブルや損害などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

不明な点は、お問い合わせください。

#### 無線設備について

Bluetooth 仕様の製品には、電気通信事業に基づく技術事業適合認証を受けた無線設備が内蔵されています。

設備名 : MBH7BTZ42A

認証番号 : 001-A00551

#### 使用周波数について

本製品は、2.4GHz 帯の「2.400GHz～2.4835GHz」にて使用できませんが、同帯域は他の無線機器でも使用していることがあります。

他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

この無線機器は、2.4GHz 帯を使用し、与干渉距離は 10m です。



## Bluetooth 仕様に関する使用上の注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および、特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2) 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店に連絡いただき混信回避のための処置などについてご相談ください。
- 3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、販売店へお問い合わせください。

## △印字及び用紙関連の注意

- (1) 高い印字率で印字を行なうとカスレが発生する場合がありますのでカスレが発生しない印字率で使用してください。またはカスレが発生しない印刷速度及び印字濃度に調整し使用してください。  
(10-2. セットアップの変更方法 設定例①、②を参照)
- (2) 外字登録文字で、明朝体等細いフォントを選択すると印字が薄くなるため、ゴシック体等太いフォントを使用してください。
- (3) 印字伸縮等のピッチムラのない綺麗な印字を行なうため、用紙カット後や印字停止後に印字を行なう際は、1mm(8ドット)以上の紙送り後に印字を行ってください。
- (4) 逐次印字は、データ転送速度が遅いと印字と停止を繰り返すため白筋状の印字ムラが発生する場合があります。印字品質を優先する際は「一括印字」モードを使用してください。  
(10-2. セットアップの変更方法 設定例⑧を参考)
- (5) 工場出荷時の印字濃度は最も濃い設定(130%)となっています。印字が濃い場合には、印字濃度を下げて使用してください。  
(10-2. セットアップの変更方法 設定例①を参照)
- (6) 巻芯外径φ32mm以外のロール紙を使用した場合は、用紙ニアエンドの検出精度が低下します。  
巻芯外径φ32mm未満のロール紙を使用した場合は、巻芯近傍の紙をフルカットすると搬送不良が発生する場合があります。

- (7) 2色感熱紙を使用する場合は、赤/黒、青/黒の色彩がはっきりしない場合がありますので、事前にご確認ください。
- (8) 83mm幅のロール紙を使用する場合は、左右端余白のバラツキで印字が欠ける場合がありますので印刷範囲は十分余裕を取ってください。
- (9) 使用途中で小さい幅の用紙から大きい幅の用紙(58mmから80mm等)への切り替えは行なわないでください。小さい幅の用紙を使用した場合、サーマルヘッドの一部が紙無し状態で直接プラテンローラに触れているため、ヘッドが磨耗し印字不良をおこす可能性があります。また、カッタ刃も紙の無い部分で稼働しているため、カッタ刃が磨耗しカット不良をおこす可能性があります。使用途中で紙幅を切り換える場合は、サーマルヘッドとカッタ刃の交換を行ってください。
- (10) ラベル紙を使用した場合は、カッタ刃、サーマルヘッド、用紙搬送部、用紙収納部に糊が付着しカット不良、印字不良、用紙搬送不良をおこす場合がありますので、1カ月に1度を目安に糊を除去してください。
- (11) 用紙をセットした状態で長時間放置した場合、紙が変形して印字が薄くなる場合があります。そのため長時間放置した場合は20～30mm紙送りを行って印字をしてください。
- (12) 推奨紙以外を使用すると印字品質やサーマルヘッドの寿命を保証できない場合があります。特にサーマル紙の成分に『Na<sup>+</sup>、K<sup>+</sup>、Cl<sup>-</sup>』が含まれますと、サーマルヘッドの寿命が著しく低下する場合がありますので注意してください。
- (13) 全面ラベル使用時に上端余白量が3mm未満の場合、用紙とヘッドの貼付き音が発生する場合があります。上端余白量は3mm以上の印刷を推奨します。

## △カッタ関連の注意

- (1) 1 取引の用紙の長さは 15 mm 以上としてください。指定範囲以外の用紙長さにすると用紙搬送部から用紙が落下せずカット不良を起こす場合があります。
- (2) 連続カッタの稼働は、30 回／分以下（1 回／2 秒以上）にて使用してください。それ以上で使用すると故障の原因となります。
- (3) カット途中で用紙を取らないでください。紙ジャム等の不具合の原因になります。
- (4) 印刷後 30 枚毎に用紙を取り除いてください。  
用紙を取り除かないと印刷済みの用紙がオートカッタ部に残りカット不良の原因となります。

## △バーコード／二次元コード印字時の注意

- (1) バーコードの 90° 回転印字、バーコードの縦方向印字は読み取れない場合がありますので予め読み取り確認を行ってから使用してください。
- (2) ラベルや厚紙は使用環境及び湿度により印字カスレが発生する場合がありますため、印字速度及び印字濃度を調整し、予め読み取り確認を行ってから使用してください。  
(10-2. セットアップの変更方法 設定例① ②を参照)
- (3) 二次元コード (QR コード, PDF417, DataMatrix, MaxiCode, RSS) の認識率については、モジュールの幅、印字濃度、環境温度、感熱ロール紙の種類、リーダーの性能により変動するため、印字速度及び印字濃度を調整し、予め読み取り確認を行ってから使用してください。  
(10-2. セットアップの変更方法 設定例① ②を参照)
- (4) 用紙搬送初めの用紙上端、または用紙搬送終了時の用紙下端にバーコードを印字する場合は、用紙搬送精度がみだれる場合があるため、予め読み取り確認を行ってから使用してください。

## △USBインタフェース使用時の注意

- (1) プリンタはホストと直接接続してください。
- (2) 印刷を行なう前には必ずプリンタの電源を ON にしてください。
- (3) 印刷中にプリンタエラーが発生した場合は、エラー解除後に再印刷を行ってください。
- (4) 印刷中は、プリンタの電源を切断したり USB ケーブルを抜いたりしないで下さい。ホストの設定については、スタンバイモード、スリープモード、サスペンドモード及び休止モードに設定しないことを推奨します。

上記によりプリンタが正常に動作しない場合は、USB ケーブルの再接続を行なうか、プリンタの電源を再投入してください。再接続もしくは電源の再投入を行っても正常に印刷しない場合は、ホストを再起動してください。

- (5) USB ハブ機能はプリンタの電源が OFF 状態では使用できません。
- (6) USB ハブに周辺機器を接続している際にデバイスが認識されない場合は以下を行ってください。
  - ・周辺機器のUSBケーブルを抜いて再接続を行なう。
  - ・USB ハブの別のポートに接続を行なう。
- (7) 接続する USB デバイスは動作を保証するものではありませんので、使用する前には必ず動作確認を行ってください。

## △設置の注意

- (1) プリンタは屋内で使用してください。屋外で使用すると埃等によりプリンタ故障の原因になります。

## △モジュラータイプコネクタの注意

- (1) 本製品は、キャッシュドローア専用コネクタとしてモジュラタイプのコネクタを使用しています。コネクタには決して一般公衆回線などのコネクタを接続しないでください。

## △特殊モード時の注意

- (1) 大径のロール紙を使用すると用紙折れや異常音が発生する場合がありますので、小径（ $\phi$  50mm 以下）のロール紙を使用してください。  
ホストに Windows®パソコンを使用する場合は、ユーティリティソフトにて設定ができます。

Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

## 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 (対象製品は有線/無線 LAN インタフェースモデルのみ)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LAN親機との間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

### ・ 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、「IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報」「メールの内容」等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

### ・ 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、  
「個人情報や機密情報を取り出す」(情報漏洩)  
「特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す」(なりすまし)  
「傍受した通信内容を書き換えて発信する」(改ざん)  
「コンピュータウイルス等を流し、データやシステムを破壊する」(破壊)  
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN機器は、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN機器をご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

社団法人 電子情報技術産業会（JEITA）

「無線LANのセキュリティに関するガイドライン」より

## 本製品で使用する電波について

(対象製品は有線/無線 LAN インタフェースモデルのみ)

本製品は、2.4GHz 帯域と 5GHz 帯域の電波を使用しています。

本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

以下の機器などの近くで本製品を使用しないでください。

- ・ 電子レンジ/ペースメーカーなどの産業・科学・医療用機器など
- ・ 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ・ 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の機器などは、無線 LAN と同じ電波の周波数帯を使用しています。

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

携帯電話・PHS・テレビ・ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

携帯電話・PHS・テレビ・ラジオなどは、無線 LAN とは異なる電波の周波数帯を使用しています。

そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器を無線 LAN 製品に近づけた場合は、本製品を含む無線 LAN 製品が発生する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。

ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。

部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。

同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

## 2. 4GHz 帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ、産業・科学・医療用機器などのほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局) および特定小電力無線局(免許を要しない無線局) が運用されています。

- ・ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- ・ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止してください。
- ・ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、お買 入れ求めの販売会社にお問い合わせください。

## 5GHz 帯使用時のご注意

電波法により 5.2GHz 帯 (W52) および 5.3GHz 帯 (W53) は屋外での利用を禁じられていますので屋外では使用しないでください。

# 目次

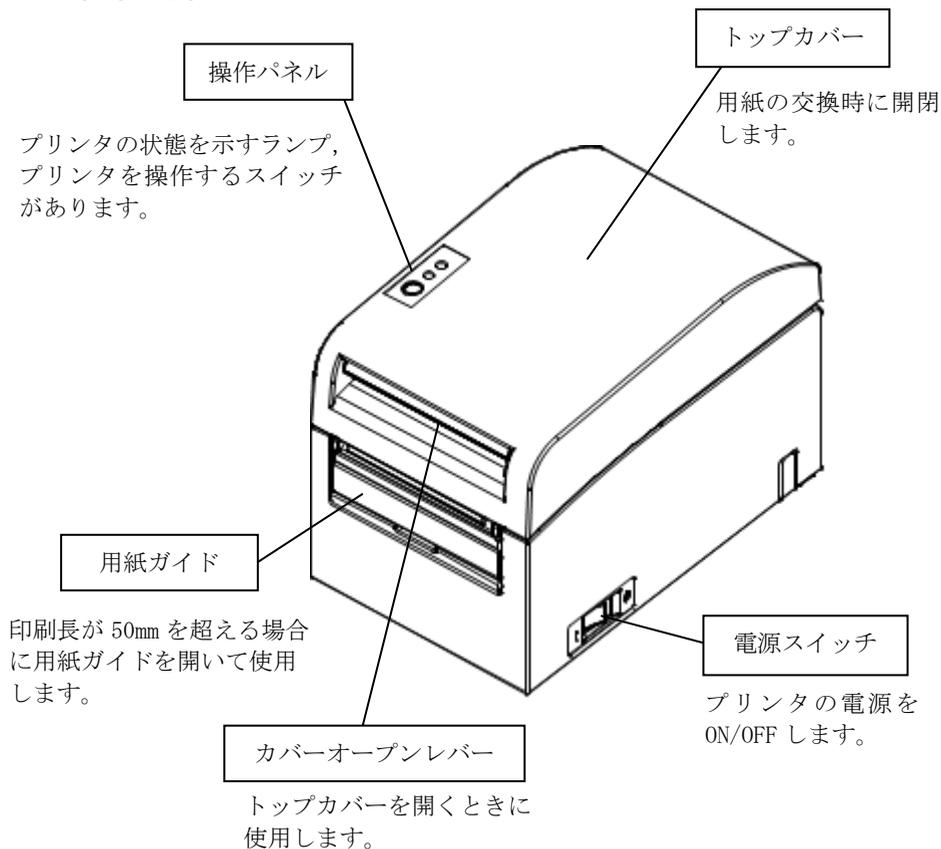
<b>1. 外観と各部の名称</b> .....	24
1-1. 各部の名称 .....	24
1-2. 装置上のマークの説明 .....	25
1-3. 同梱品 .....	27
<b>2. ACアダプタ</b> .....	28
<b>3. 用紙仕様</b> .....	29
3-1. 紙幅 .....	29
3-2. 紙厚 .....	29
3-3. 用紙形状 .....	29
3-4. 用紙種類 .....	30
3-4-1. 全面ラベル紙の条件 .....	32
3-4-2. ブラックマーク紙の条件 .....	33
3-4-3. ダイカットラベル紙の条件 .....	34
3-5. 推奨感熱紙 .....	35
<b>4. 準備</b> .....	37
4-1. インタフェースケーブルの接続 .....	37
4-2. ドロアーキックケーブルの接続 .....	43
4-3. ACアダプタ外付けモデルのACアダプタの接続 .....	44
4-4. ACアダプタの取外し .....	46
4-5. ACアダプタ内蔵モデルの電源コード接続 .....	47
4-6. 電源の投入 .....	47
<b>5. 用紙のセット方法</b> .....	48
5-1. トップカバーを開く .....	48
5-2. 用紙幅の設定 .....	49
5-2-1 仕切り板Aの設定方法 .....	50
5-2-2 仕切り板A/Bの取り外し方法 .....	51
5-2-3 仕切り板A/Bの取り付け方法 .....	53
5-3. 用紙をセットする .....	55
5-3-1. ロール紙のセット .....	55
5-3-2. ファンフォールド紙のセット .....	57
5-4. 用紙ガイドのセット .....	60

5-5. トップカバーを閉じる	61
<b>6. プリンタの設定</b>	62
6-1. プリンタによる用紙情報設定	65
6-2. 用紙の交換について	69
6-3. 用紙レイアウトエラーについて	70
6-4. センサ調整	71
6-5. 印字濃度の設定	72
6-6. 印刷速度の設定	73
6-7. カット位置／手切り位置の補正	74
6-8. その他設定について	75
6-9. プリンタ設定情報の初期化	75
<b>7. 表示部と各種機能</b>	76
7-1. 操作パネル	76
7-2. エラー表示	78
<b>8. 紙詰まりの予防と除去方法</b>	80
8-1. 紙詰まりの予防	80
8-2. 紙詰まりの除去方法	80
<b>9. プリンタがうまく動かないとき</b>	81
9-1. 電源投入時およびエラー関連の不具合	81
9-2. カッタ関連の不具合	81
9-3. 印字関連の不具合	82
<b>10. 特殊モード</b>	83
10-1. テスト印字	83
10-2. セットアップの変更方法	87
10-3. 設定項目	157
10-4. センサ調整	167
10-4-1. センサ調整モード	167
10-4-2. ブラックマーク(BM)センサ調整	172
10-4-3. ラベルセンサ調整	174
10-4-4. ペーパーニアエンド(PNE)センサ調整	176
10-4-5. ペーパーエンド(PE)センサ調整	178
10-5. 受信データ解析	181
10-6. サンプル印刷	185

<b>11. 定期清掃</b> .....	190
11-1. 用紙収納部, 用紙走行部の清掃 .....	190
11-2. プラテンローラの清掃 .....	191
11-3. サーマルヘッドの清掃 .....	195
11-4. カッタ刃, カッターフレームの清掃 .....	196
<b>12. インタフェース</b> .....	204
12-1. シリアルインタフェース .....	204
12-2. パラレルインタフェース .....	207
12-3. USBインタフェース .....	209
12-4. 有線LANインタフェース(有線LANモデル) .....	210
12-5. 有線/無線LANインタフェース(有線/無線LANモデル) .....	212
12-5-1. 有線LANインタフェース .....	212
12-5-2. 無線LANインタフェース .....	215
12-6. Bluetoothインタフェース .....	218
12-7. ドロアーキックコネクタ .....	221
12-8. 装置定格 .....	223
<b>13. 仕様</b> .....	224
13-1. 一般仕様 .....	224
13-2. カッタ仕様 .....	229
13-3. ロール紙供給仕様 .....	230
13-4. インタフェース仕様 .....	231
13-5. 環境仕様 .....	232
13-6. 信頼性仕様 .....	233
<b>14. 大径ロール紙ユニット</b> .....	234
14-1. 概要 .....	234
14-2. 各部の名称 .....	234
14-3. 用紙仕様 .....	236
14-4. ロール紙供給仕様 .....	237
14-5. 大径ロール紙ユニットの設置手順 .....	238
14-6. PNEセンサーのセット方法 .....	243
14-7. ガイドプレートのセット方法 .....	244
14-8. ロール紙のセット方法 .....	245
14-9. 大径ロール紙ユニット外観図 .....	250

# 1. 外観と各部の名称

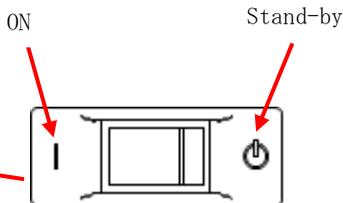
## 1-1. 各部の名称



## 1-2. 装置上のマークの説明

### ・電源スイッチ

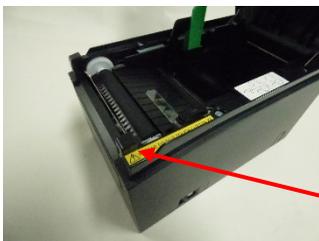
プリンタの電源を ON（印刷可能状態） / Stand-by（電源待機状態）にします。



### ・カッタ

カッタの刃には手を触れないでください。

用紙排出口にはカッタがありますので、プリンタ動作中はもちろんですが、非動作時においても絶対に手を入れないでください。



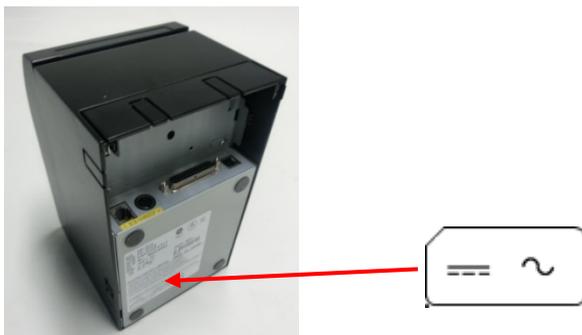
### ・ドロア

本製品は、キャッシュドロア専用コネクタとしてモジュラタイプのコネクタを使用しています。コネクタには決して一般公衆回線などのコネクタを接続しないでください。

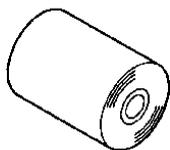


=== ・ 直流  
この記号は“直流”を示します。

～ ・ 交流  
この記号は“交流”を示します。



### 1-3. 同梱品



ロール紙

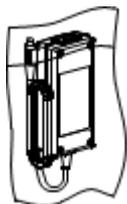


CD

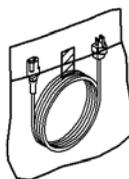
収録：取扱説明書  
プリンタドライバ  
ユーティリティソフト



クイックスタートガイド



ACアダプタ



電源コードセット

## 2. ACアダプタ

ACアダプタは、以下に指定しているものを使用してください。

品名	番号	備考
ACアダプタ	KA02035-0011	電源コードセット付き (100V仕様, 3ピン)

**△警告**：ACアダプタ、電源コードセットは、必ず同梱品を使用してください。

**△警告**：同梱のACアダプタ、電源コードセットは、本プリンタ以外の電気機器に使用しないでください。

## 3. 用紙仕様

### 3-1. 紙幅

(1) 紙幅 83mm の場合…  $83mm_{-1.0}^0$     80mm の場合…  $80mm_{-1.0}^0$

(2) 紙幅 70mm～25.4mm (1mm 単位) の場合…  $70\sim 25.4mm_{-1.0}^0$

△注意：71 mm から 79 mm は使用できません。

### 3-2. 紙厚

: 75～150  $\mu\text{m}$

### 3-3. 用紙形状

#### (1) ロール紙

- ・ 外径寸法:  $\phi 102\pm 0.5\text{mm}$  以下  
大径ロール紙ユニット(オプション)搭載により、  
最大  $\phi 200\text{mm}$  ロール紙の使用が可能。
- ・ 卷芯寸法: 内径 1 インチ ( $\phi 25.4\pm 0.5\text{mm}$ /外径  $\phi 32\pm 0.5\text{mm}$ )
- ・ 発色面: ロール紙外側
- ・ 終端処理: ロール紙と軸心を糊等で固定しないでください。  
また、終端は紙折り加工を行なわないでください。

△注意：ロール紙の巻付けサイドにささくれ、ザラツキがあるものは使用しないでください。用紙送りが不安定になり、プリンタの故障の原因になります。

#### (2) ファンホールド紙

- ・ 最大折りたたみ高さ : 180mm 以下
- ・ 折りたたみ長さ :  $76.2\sim 203.2\pm 0.5\text{mm}$  (3～8inch)
- ・ ミシン目仕様 : 3(カット) : 1(タイ)

### 3-4. 用紙種類

本プリンタは、以下の用紙に対応しています。

- a. 普通紙（全面ラベル紙を含む）
- b. ブラックマーク紙
- c. ダイカットラベル紙（ブラックマーク付を含む）

本プリンタは、ブラックマーク紙及びダイカット紙では、用紙レイアウト設定に基づき、頭出し位置、カット位置、剥離位置、手切り位置への移動ができます。

この機能を使うためには、ご使用になる前に印刷される用紙の種類とサイズ等の用紙レイアウト情報を予め設定する必要があります。設定せずに使用すると、用紙レイアウトエラーが発生したり、目的の印刷結果とならない場合があります。

したがって、以下に該当する場合にはと用紙レイアウト設定を行ってから使用して下さい。

- (1) はじめてラベル紙を使用する場合
- (2) 用紙の種類（普通紙、ブラックマーク紙、ダイカットラベル）に変更する場合
- (3) 異なる用紙サイズの用紙に変更する場合
- (4) 同じサイズのダイカットラベル紙でも台紙の色等が異なる用紙に変更する場合。

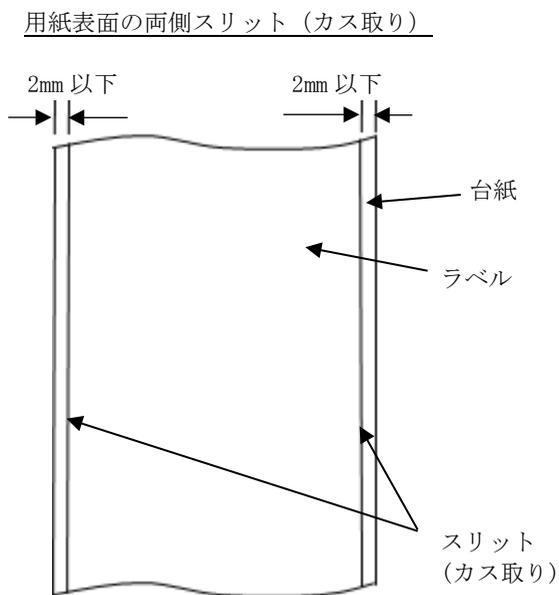
なお、用紙レイアウト設定には、自動設定と手動設定があります。詳しくは、<6項：プリンタの設定>で説明します。

- △注意：ダイカットラベルとは、予めラベルが使用するサイズにカットされているラベルです。
- △注意：全面ラベルとは、予めラベルがカットされておらず、カッターで任意の長さにカットして使用できるラベルです。
- △注意：全面ラベルは、普通紙（ブラックマークなし）と同じ設定で使用できません。
- △注意：ダイカットラベル（ブラックマーク付）の用紙に印字する場合、印字位置やカット位置に十分に注意して使用してください。ラベルのない台紙部分へ印字を行なうとサーマルヘッドが損傷する場合があります。
- △注意：感熱紙記録面へのプレプリントに関する注意点  
記録面にプレプリントを施した感熱紙を使用する場合、印字時にサーマルヘッドが感熱紙表面に貼り付く（スティッキング）現象が発生し、印字不良等の障害を引き起こすことがあります。従って、記録面へプレプリントした感熱紙の使用は極力避けることを推奨します。やむを得ず使用する場合は、その感熱紙にて事前に印字不良や印字濃度の低下等の障害がないことを確認してください。

### 3-4-1. 全面ラベル紙の条件

印字ヘッド及び用紙ガイドへの粘着剤の付着を防止するため、下記条件に従ってカス取りしたラベル紙をご使用ください。

(カス取りとは、製造時にあらかじめ端のラベルをカットして取り除いておくことです。)

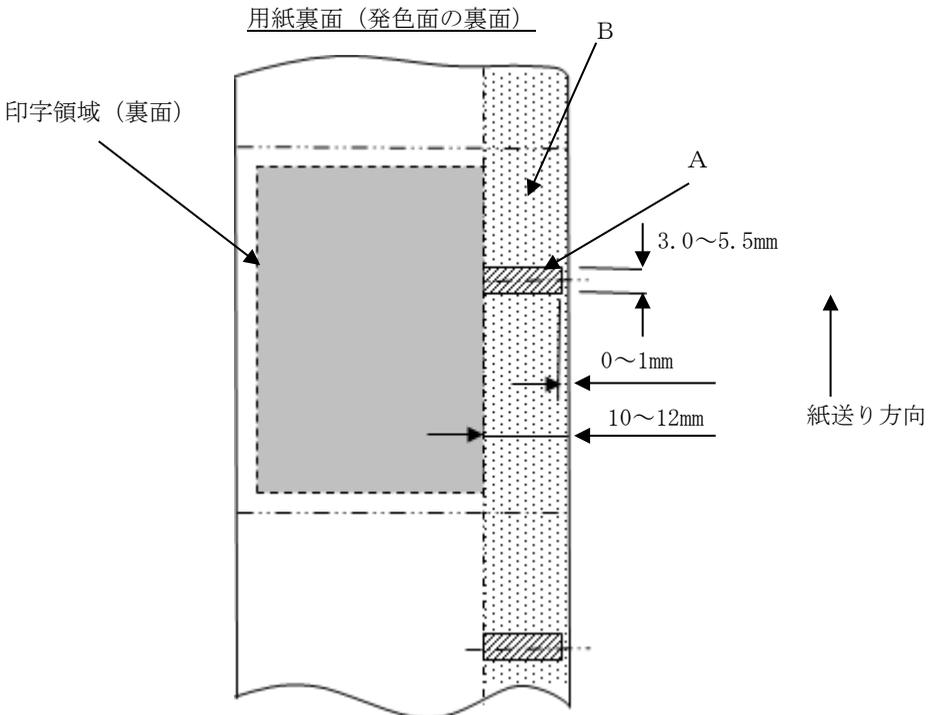


### 3-4-2. ブラックマーク紙の条件

ブラックマーク付きレシート、全面ラベル紙を使用する場合は、以下の条件を満たした用紙をご使用ください。用紙各部の反射率A, Bは、下表の組み合わせを満足しなければなりません。

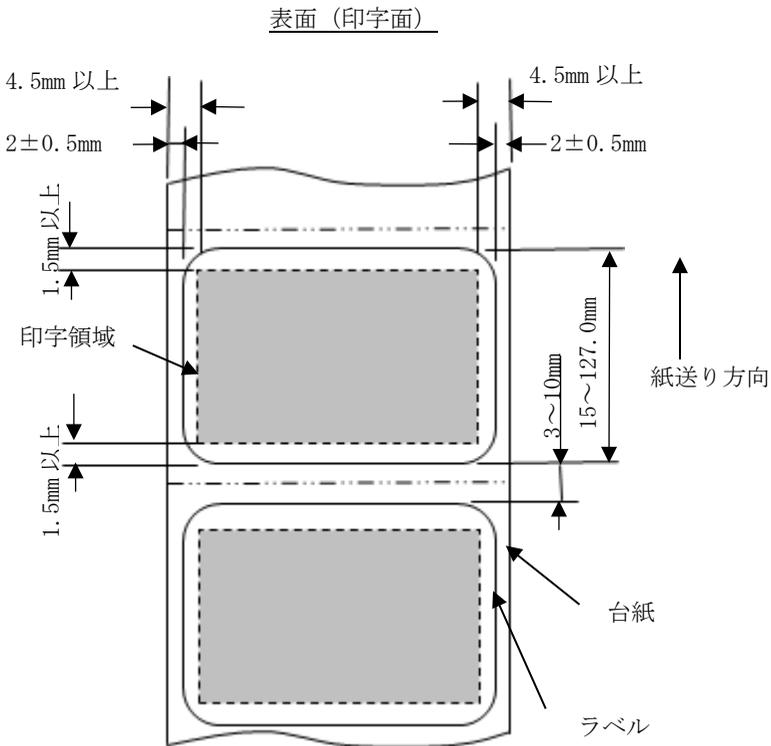
	反射率
A : ブラックマーク	8 %
B : ブラックマーク上下の余白	7.5 %

**△注意：**反射率の測定はサカタインクスエンジニアリング株式会社 MR-12 (Cフィルタ) によるものです。



### 3-4-3. ダイカットラベル紙の条件

ダイカットラベル紙を使用する場合は、以下の条件を満たした用紙をご使用ください。ブラックマーク付きのダイカットラベル紙を使用する場合は、3-4-2 項（ブラックマーク紙の条件）記載の条件も満たした用紙をご使用ください。



**⚠注意**：台紙不透明度（ISO式）は70%以下のものをご使用ください。

### 3-5. 推奨感熱紙

メーカー	製品名	品質特性	紙厚 ( $\mu\text{m}$ )	濃度指定
王子製紙	PD160R	単色レシート紙 (高保存タイプ)	75	100%
	PD190R	単色レシート紙 (中保存タイプ)	75	100%
日本製紙	TF60KS-EX	単色レシート紙 (ノーマルタイプ)	75	100%
	TP60KS-FN	単色レシート紙 (中保存タイプ)	75	100%
	HD75	単色ラベル紙 (ノーマルタイプ)	150	130%
三菱製紙	P220AE-1	単色厚紙 (ノーマルタイプ)	150	100%
	PB670	2色感熱紙 (赤/黒) (ノーマルタイプ)	75	105%
	PB770	2色感熱紙 (青/黒) (ノーマルタイプ)	75	100%
リコー	150LHB	単色ラベル紙 (高保存タイプ)	150	130%

- ⚠注意：推奨紙以外を使用した場合は、ヘッド破損、印字不良などがおこる場合があります。
- ⚠注意：2色感熱紙を使用する場合は、プリンタのセットアップまたは添付CD内のセットアップツールで印字色を2色に選択してください。  
(10-2 セットアップ変更方法 設定例③を参照)  
※プリンタドライバを使用して印刷する場合はセットアップの設定を変えなくても、プロパティ設定(グラフィックスタブ⇒カラー)を『2カラー』の設定で印刷することで容易に2色印刷が出来ます。
- ⚠注意：2色感熱紙の場合は、明朝体等細いフォントや罫線は黒色に発色しにくい場合がありますので、ゴシック体など線の太い書体をお勧めします。
- ⚠注意：2色感熱紙の赤又は青の印字部は保存性が劣ります。  
(ノーマル感熱紙相当)

△注意：ラベルや厚紙は使用環境及び湿度により印字カスレやボイドが発生する場合がありますため、印刷速度及び印字濃度を調整し使用してください。

（10-2 セットアップ変更方法 設定例①、②を参照）

特に、用紙搬送初めの用紙上端、用紙搬送終了時の用紙下端にバーコードを印字する場合は、用紙搬送精度がみだれる場合がありますので注意してください。

△注意：巻芯外径φ32mmに対応します。

巻芯外径φ32mm以外のロール紙を使用した場合は、用紙ニアエンドの検出精度が低下します。

△注意：巻芯外径φ32mm未満のロール紙を使用した場合は、巻芯近傍の紙をフルカットすると搬送不良が発生する場合があります。

## 4. 準備

製品にプリンタケーブルは含まれません。製品のインタフェースに合ったプリンタケーブルを予めご準備ください。不明な点は製品を購入した販売店にご相談ください。

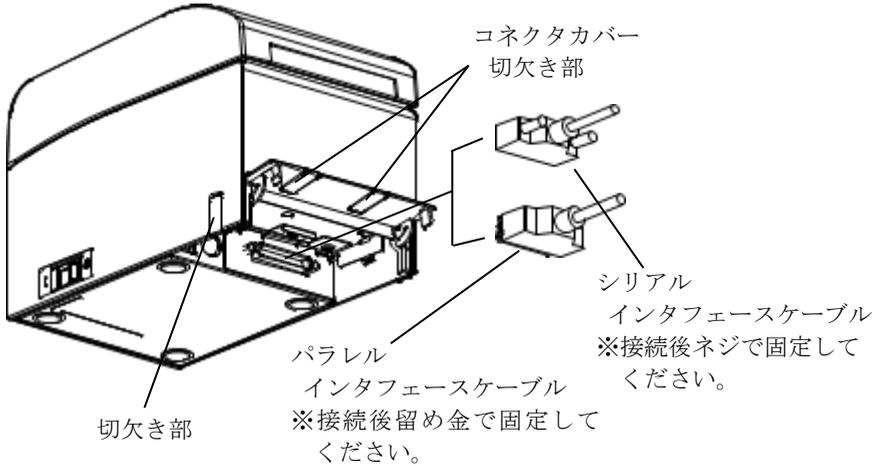
各種ケーブルの接続、取外しを行なう場合は、作業をする前にプリンタ及びプリンタと接続する全ての機器の電源スイッチをOFFにし、またACアダプタ用電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

### 4-1. インタフェースケーブルの接続

カバー後面のコネクタカバーを上方に開き、インタフェースケーブルを後部のコネクタに接続します。接続後再度コネクタカバーを閉じてください。

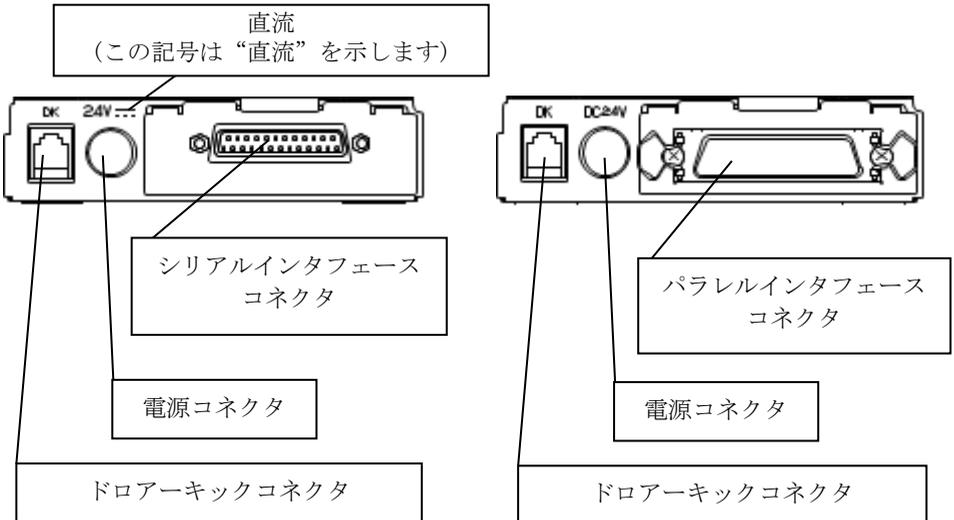
**△注意：**ケーブルを後方又は右側面後方から出す場合は、コネクタカバー又はカバーの切欠き部をニッパ等で切り取ってください。切り取らないとケーブルがつぶれて故障の原因となります。

シリアル、パラレルインタフェースモデルの場合

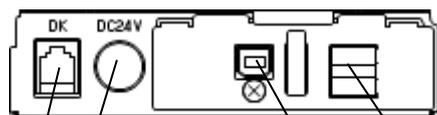
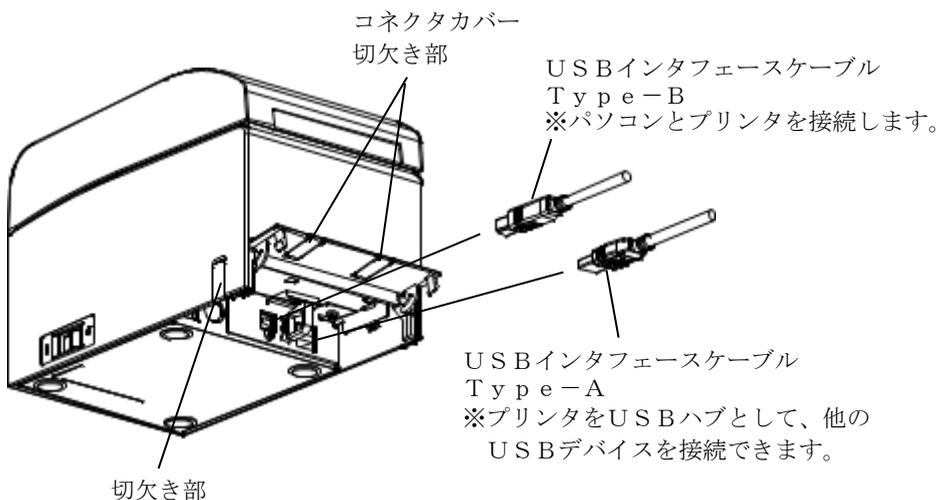


シリアルインタフェースモデル

パラレルインタフェースモデル



## USBインタフェースモデルの場合



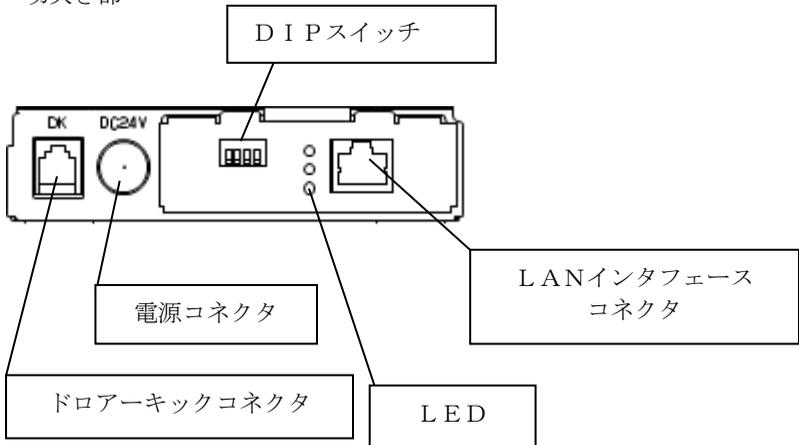
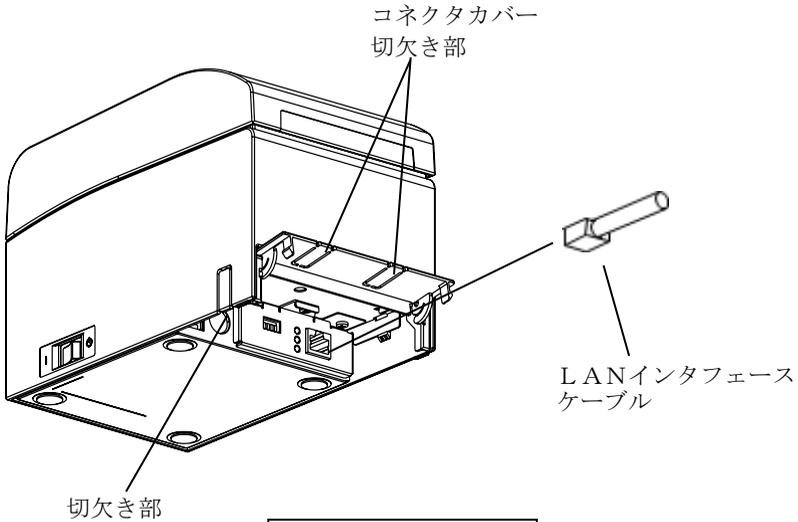
電源コネクタ

ドローキックコネクタ

USBインタフェース  
Type-Aコネクタ  
※プリンタをUSBハブとして、  
他のUSBデバイスを接続できます。

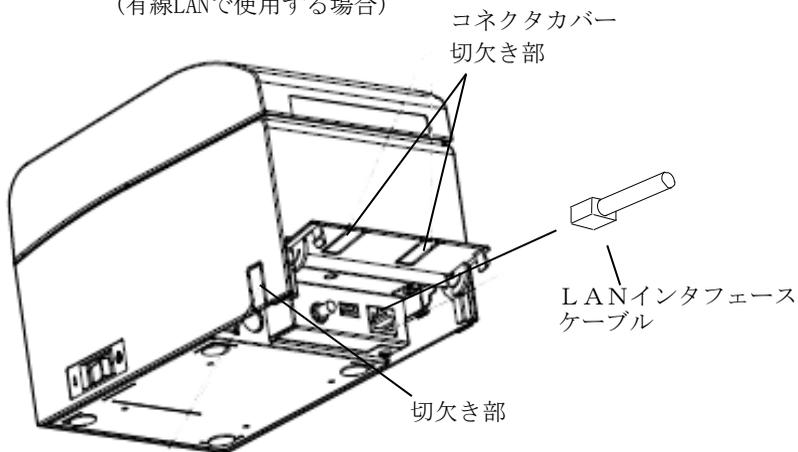
USBインタフェース  
Type-Bコネクタ  
※パソコンとプリンタを接続します。

有線LANインタフェースモデルの場合



**△注意**：DIPスイッチは通常使用時には触れないでください。ネットワーク設定情報が変化したり、正常な印刷が行えなくなる恐れがあります。

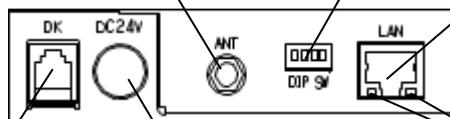
有線/無線LANインタフェースモデル  
(有線LANで使用する場合)



無線LAN外部アンテナ用コネクタ  
※外部アンテナ仕様につきましては  
お買い求めの販売会社にお問い  
合わせ下さい。

DIPスイッチ

LANインタフェース  
コネクタ



LED

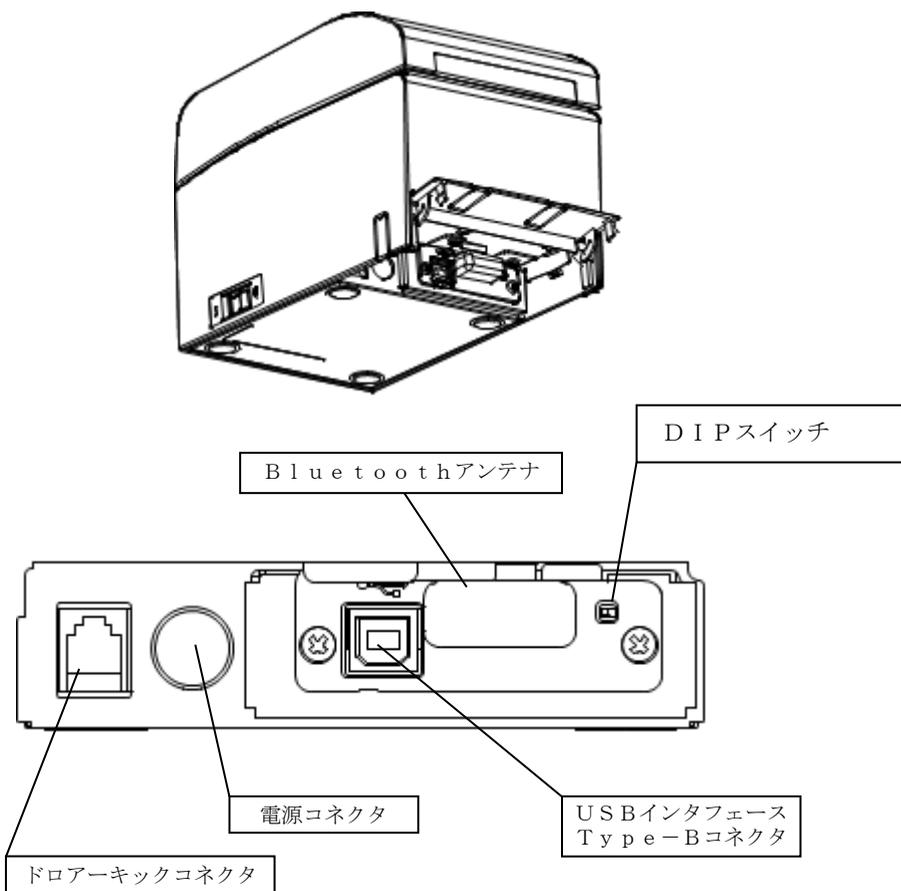
ドローキックコネクタ

電源コネクタ

※ACアダプタ内蔵モデルの場合は  
ケーブルが接続されています。

**△注意** : DIPスイッチは通常使用時には触れないでください。ネットワーク設定情報が変化したり、正常な印刷が行えなくなる恐れがあります。

Bluetooth, USBインターフェースモデルの場合



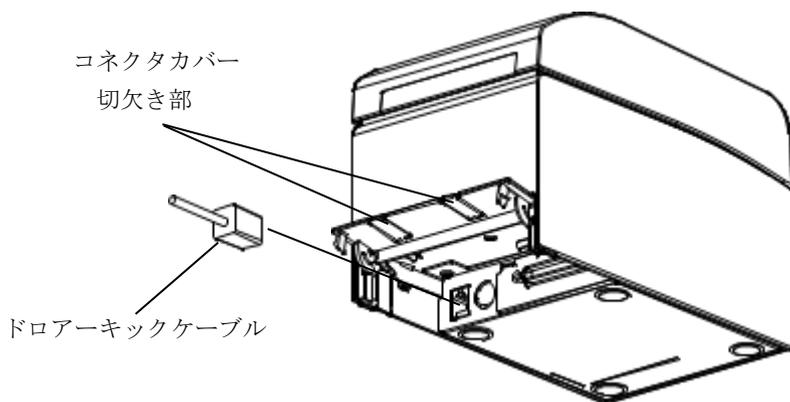
**⚠注意** : DIPスイッチは通常使用時には触れないでください。  
正常な印刷が行えなくなる恐れがあります。

## 4-2. ドロアーキックケーブルの接続

カバー後面のコネクタカバーを上方に開き、ドロアーキックケーブルを後部のコネクタに接続します。

接続後再度コネクタカバーを閉じてください。

- △注意：ケーブルを後方から出す場合は、コネクタカバーの切欠き部をニッパ等で切り取ってください。切り取らないとケーブルがつぶれて故障の原因となります。
- △注意：本製品は、キャッシュドロアー専用コネクタとしてモジュラタイプのコネクタを使用しています。コネクタには決して一般公衆回線などのコネクタを接続しないでください。
- △注意：ドロアを使用するときは必ず「ロール紙ユニット」が「未搭載」の設定で使用ください。ドロアプリンタセットアップの「ロール紙ユニット」が「搭載」有りの設定でドロアを接続すると、ロール紙ニアエンドセンサが誤作動します。



### 4-3. ACアダプタ外付けモデルのACアダプタの接続

(1) ACアダプタとACアダプタ用電源ケーブルを接続してください。

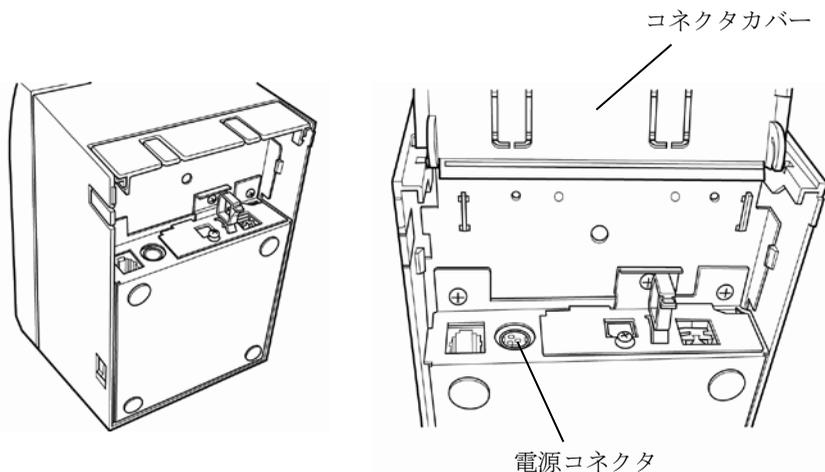
△注意：ACアダプタの接続を行なう場合は、作業を行なう前にプリンタ及びプリンタと接続する全ての機器の電源スイッチをOFFにし、またACアダプタ用電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

△注意：ACアダプタと電源ケーブルは指定品を使用してください。

(2) コネクタカバーを上方に開き、ACアダプタのケーブルコネクタをプリンタの電源コネクタに接続します。接続後再度コネクタカバーを閉じてください。

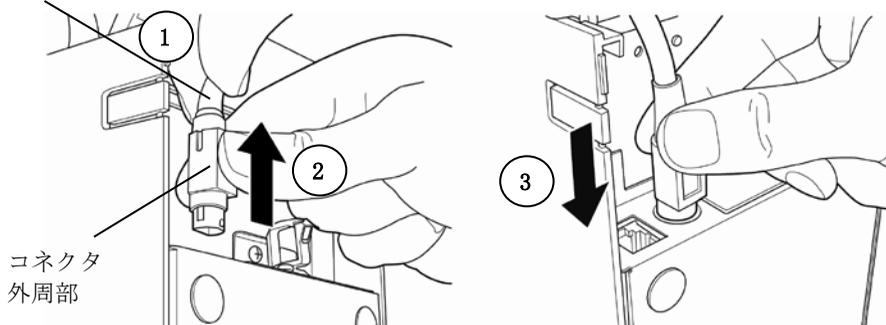
△注意：ACアダプタの接続は、装置を縦置きし、操作し易い状態で行なって下さい。

△注意：ケーブルを後方又は右側面後方から出す場合は、コネクタカバー又はカバーの切欠き部をニッパ等で切り取ってください。切り取らないとケーブルがプリンタにつぶされて故障の原因となります

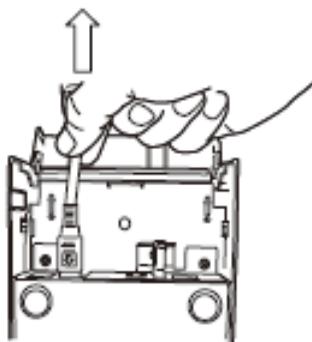


- △注意**：抜け防止のためコネクタ挿入は固めになっておりますので、挿入の際は  
①ケーブル根元を掴み、②コネクタ外周部を上側にスライドさせながら、  
③カチッとロックするまで挿入して下さい。

ケーブル根元



- (3) 接続後はケーブルが容易に抜けないことを確認してください。



- (4) 電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込んでください。

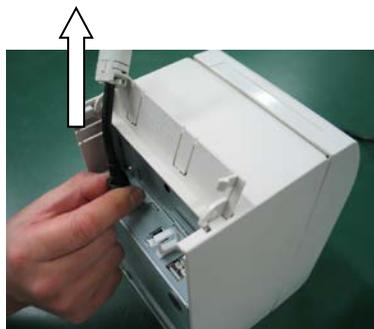
**△警告**：接地付き電源コードと接地接続のあるコンセントを使用して接続してください。

**△警告**：異常が確認された時は、ただちにプリンターの電源を切り、ACアダプター用電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

#### 4-4. ACアダプタの取外し

(ACアダプタ外付けモデルの場合のみ)

ACアダプタのケーブルを外す時は、下図のようにケーブル側のコネクタ部を持って引っ張ってください。ロックが外れ、容易に取り外せます。ケーブルを無理に引っ張るとコネクタ部が破損します。

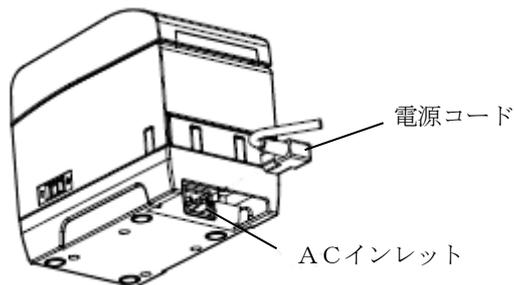


**⚠注意：**ACアダプタの取外しを行なう場合は、作業を行なう前にプリンタ及びプリンタと接続する全ての機器の電源スイッチをOFFにし、またACアダプタ用電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

#### 4-5. ACアダプタ内蔵モデルの電源コード接続

- (1) プリンタ及びプリンタと接続する全ての機器の電源スイッチをOFFにし、ACインレットに電源コードを接続してください

**△注意：電源コードは同梱された物を必ず使用してください。**

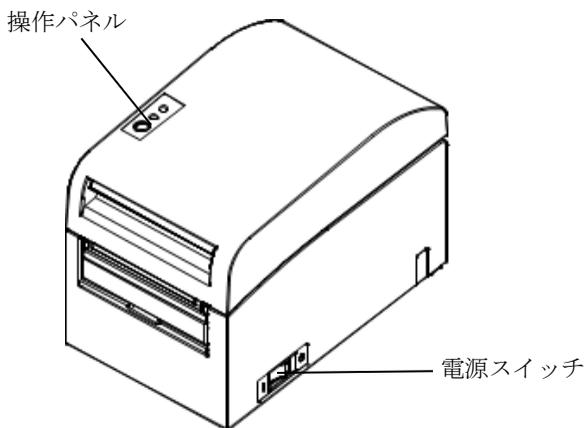


- (2) 電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

**△警告：接地付き電源コードと接地接続のあるコンセントを使用して接続してください。**

#### 4-6. 電源の投入

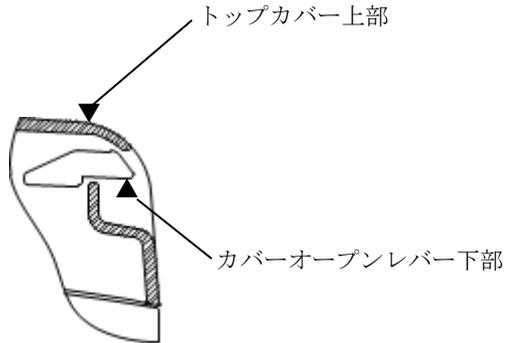
ACアダプタを接続した後、プリンタの側面に設置されている電源スイッチをONにしてください。電源を投入すると、操作パネルのPOWERランプが点灯します。



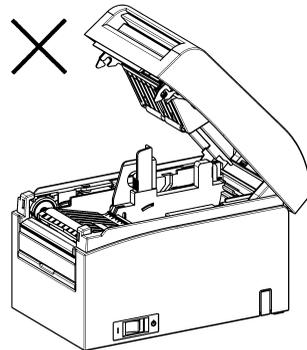
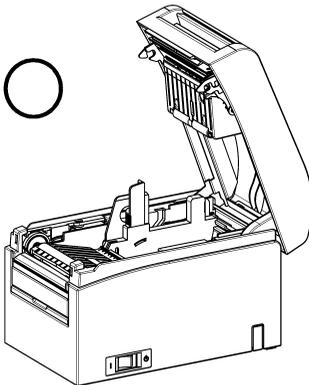
## 5. 用紙のセット方法

### 5-1. トップカバーを開く

- (1) トップカバー上部をつまみカバーオープンレバーを上へ引き上げ、トップカバーを開けます。



- (2) トップカバーの開閉は途中ロック感がありますが下図の通り最後まで開けてください。



**△注意:**途中でトップカバーを止めるとトップカバーを保持する力が弱くトップカバーが閉じる場合があります。

## 5-2. 用紙幅の設定

工場出荷時の仕切り板Aは用紙幅 70mm の位置にセットしてあります。

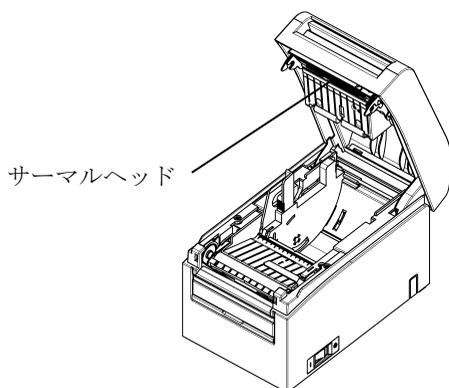
- ・ 仕切り板Aの位置調整により 70~25.4mm 幅の用紙を使用することができます。(5-2-1 仕切り板A の設定方法を参照)
- ・ 80mm 幅の用紙を使用する時は仕切り板Aを取り外してください。(5-2-2 仕切り板 A/B の取り外し方法を参照)
- ・ 83mm 幅の用紙を使用する時は仕切り板Aと仕切り板Bを取り外してください。(5-2-2 仕切り板 A/B の取り外し方法を参照)

△注意:仕切り板位置を変更する場合は印字領域に合わせるため特殊モードを参照し用紙幅の設定を行ってください。

(10-2 セットアップ変更方法 設定例⑦を参照)

△注意: 使用途中で小さい幅の用紙から大きい幅の用紙(70mm から 80mm 等)への切り替えは行なわないでください。小さい幅の用紙を使用した場合、サーマルヘッドの一部が紙無し状態で直接プラテンローラに触れているため、ヘッドが磨耗し印字不良をおこす可能性があります。また、カッタ刃も紙の無い部分で稼働しているため、カッタ刃が磨耗しカット不良をおこす可能性があります。

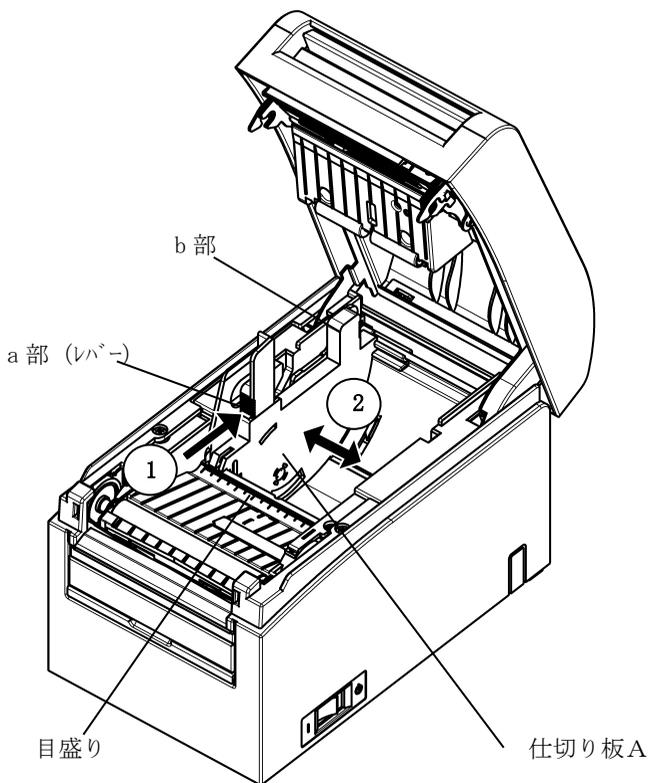
△注意:サーマルヘッドは静電気で破損する可能性があるため、サーマルヘッドには清掃時以外触れない様にしてください。



## 5-2-1 仕切り板Aの設定方法

仕切り板Aの a 部 (レバー) を①方向に押し込んだ状態で b 部を摘み、②方向にスライドさせ、希望の位置にセットします。このとき必要に応じ、目盛りを利用します。

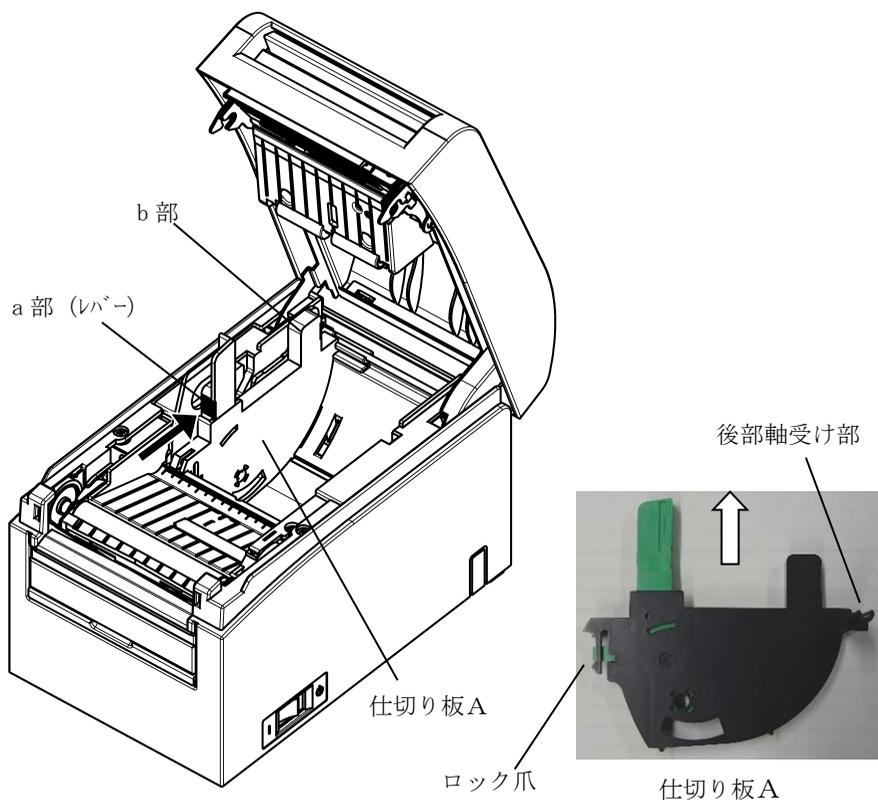
**△注意:** 仕切り板Aは、用紙幅の最大値に対して約 0.5mm 余裕をもたせてセットしてください。



## 5-2-2 仕切り板A/Bの取り外し方法

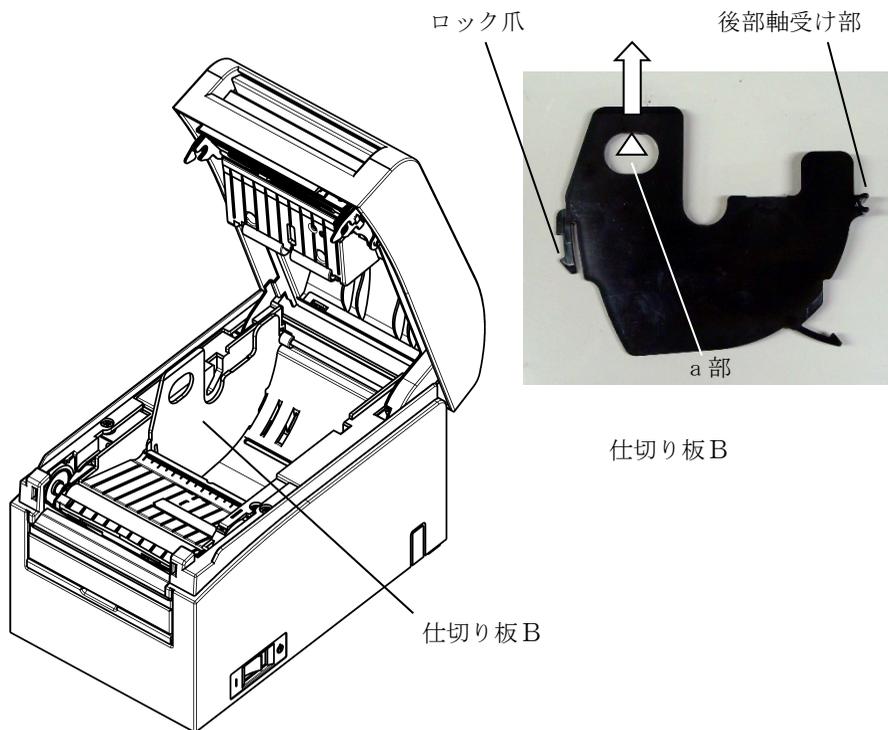
### (1) 仕切り板Aの取り外し

仕切り板Aのa部(レバー)を矢印方向に押し込んだ状態でb部を掴み、上方に持ち上げロック爪を外し、後部軸受け部を取り外します。



## (2) 仕切り板Bの取り外し

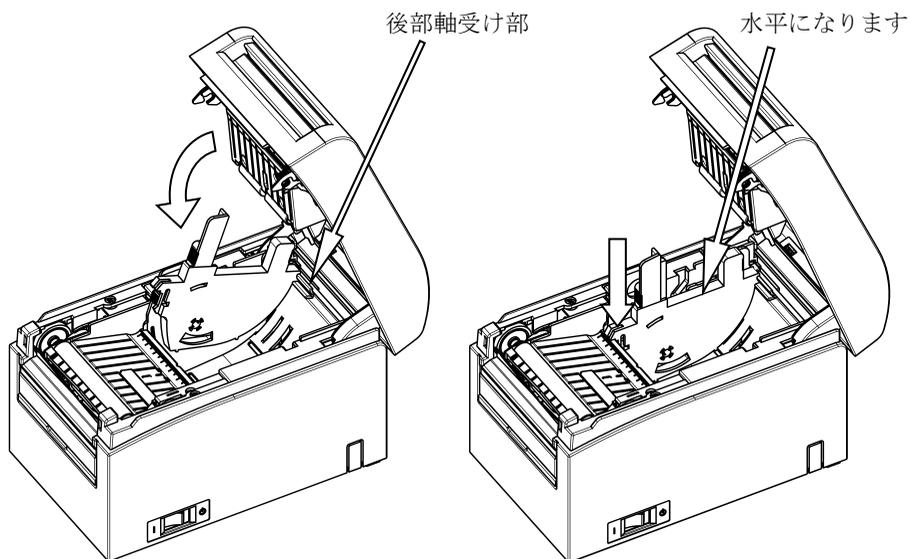
仕切り板Bのa部を上方に持ち上げロック爪を外し、後部軸受け部を取り外します。



### 5-2-3 仕切り板A/Bの取り付け方法

#### (1) 仕切り板Aの取り付け

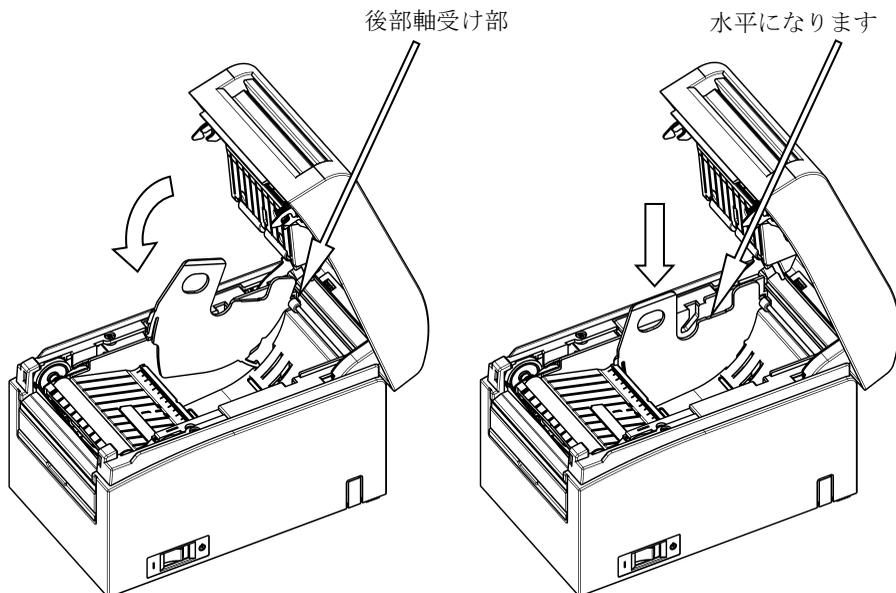
仕切り板Aの後部軸受け部から取付けします。



**△注意:**カチッとロックするまで押し込み仕切り板の上面が水平になっていることを確認してください。

## (2) 仕切り板Bの取り付け

仕切り板Bの後部軸受け部から取付けします。



⚠注意: カチッとロックするまで押し込み仕切り板の上面が水平になっていることを確認してください。

⚠注意: 仕切り板をセット溝に取り付ける場合は指の挟み込みに注意願います。

## 5-3. 用紙をセットする

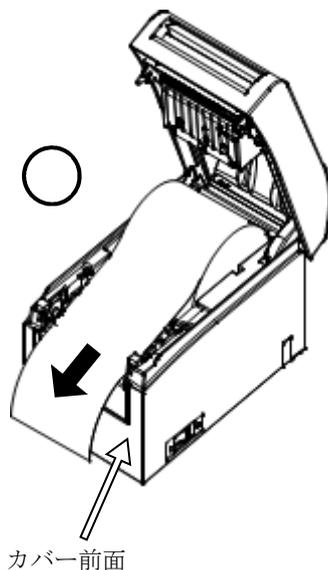
### 5-3-1. ロール紙のセット

(1) 新品ロール紙の場合は糊付け部及びテープ固定部を取り除いてください。

ロール紙交換の場合は、先に紙管（巻芯）を取り除いてください。

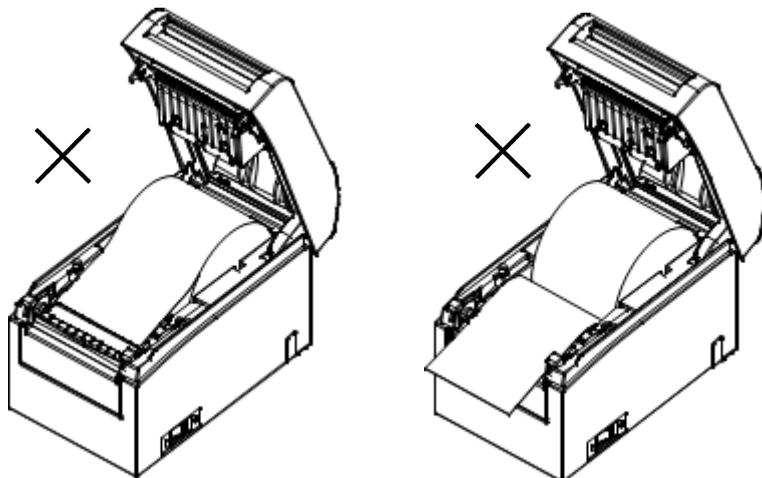
**△注意：**糊付け部は印刷が行われませんので残さず一周分程度（約 40cm）取り除いてください。またサーマルヘッドに糊等が付着すると印字抜け等、悪影響を及ぼす場合がありますので必ず取り除いてください。

(2) ロール紙を手前に引いて下図の様にセットしてください。



**△注意：**ロール紙の先端が、カバ-前面より先に出るように引き出してください。

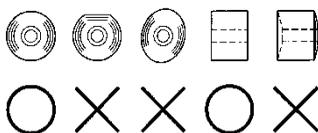
⚠注意:下図のようにロール紙をセットすると用紙詰まりや印字詰まり等の故障原因になります。



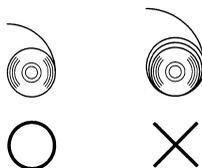
用紙がカバー前面より  
引出されていない

ロール紙を逆に  
セットしている

⚠注意:ロール紙は、変形がないものを使用してください。下図のようなものを使用すると用紙詰まりや印字詰まり等の故障原因になります。

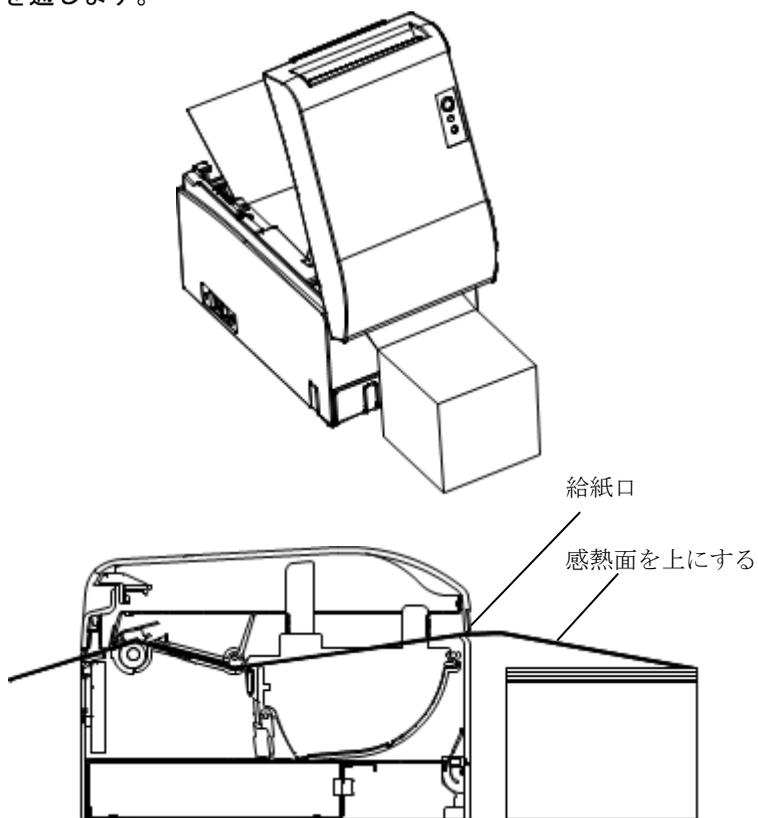


⚠注意:セットしたロール紙に下図のようなたるみがある場合は、たるみを取り除いて使用してください。たるんだまま使用しますと用紙詰まり、印字詰まり、ペーパーニアエンドが検出できませんので注意願います。



### 5-3-2. ファンフォールド紙のセット

- (1) ファンホールド紙は感熱面を上セットしてください。
- (2) トップカバーを開けて、プリンタ後面給紙口からファンホールド紙を通します。



△注意：ファンフォールド紙の先端が、カバー前面より先に出るように引き出してください。

図 1

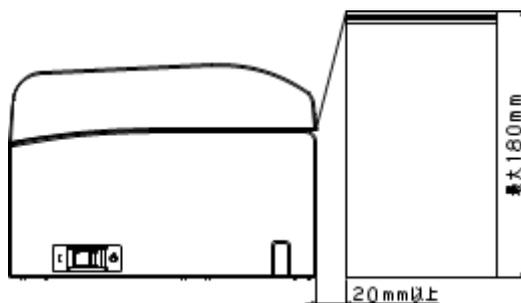
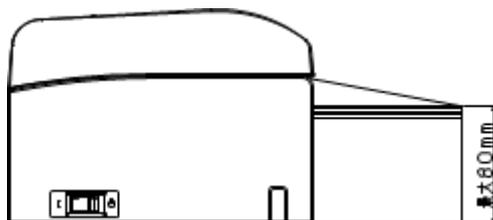


図 2



△注意：フォンホール紙の設置は、プリンタ後面から 20mm 以上離して設置してください。最大折りたたみ高さ 180mm の設置が可能となります。(図 1 参照)  
プリンタ後面に突き当てて設置する場合、最大折りたたみ高さは 80mm となります。(図 2 参照)

△注意：プリンタ左右面からはみ出さない様に設置してください。

- ⚠注意：ミシン目付きの用紙を使用する場合は、ミシン目およびミシン目の手前0～15mm(給紙方向に対し)はカット禁止領域です。動作不良の原因になります。(図3参照)
- ⚠注意：ミシン目付きの用紙を使用する場合は、用紙走行時の引っ掛かり、用紙ジャム、用紙搬送時の切断等の不具合が起きないことを確認の上使用してください。サーマルヘッドの走行寿命が短くなる場合があります。

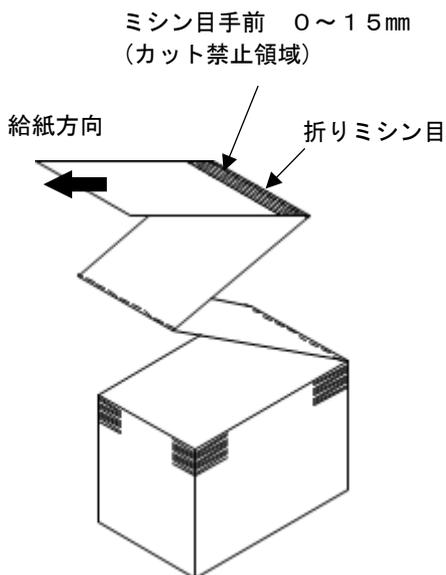
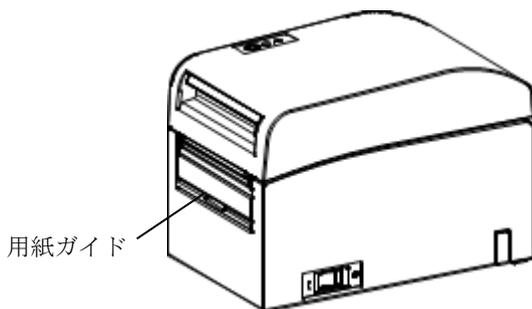


図3

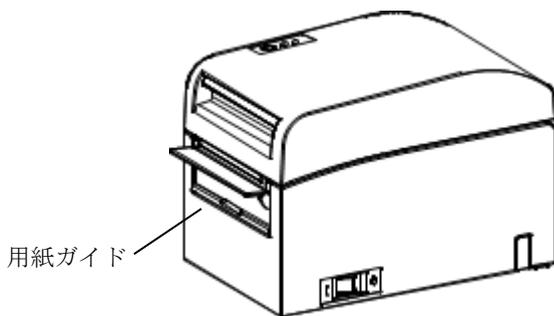
- ⚠注意：フォンホール紙を使用した場合は、用紙ニアエンド検出はできません。ERRORランプ表示は点滅したままの状態となります。ERRORランプ表示の点滅が気になる場合は、セットアップによりPNE検出設定を無効にしてください。(10-2セットアップ変更方法 設定例⑥を参照)

#### 5-4. 用紙ガイドのセット

1回あたりの印刷長が50mmを超える場合は用紙ガイドを開いて使用してください。50mm以下の場合は用紙ガイドを閉じて使用してください。



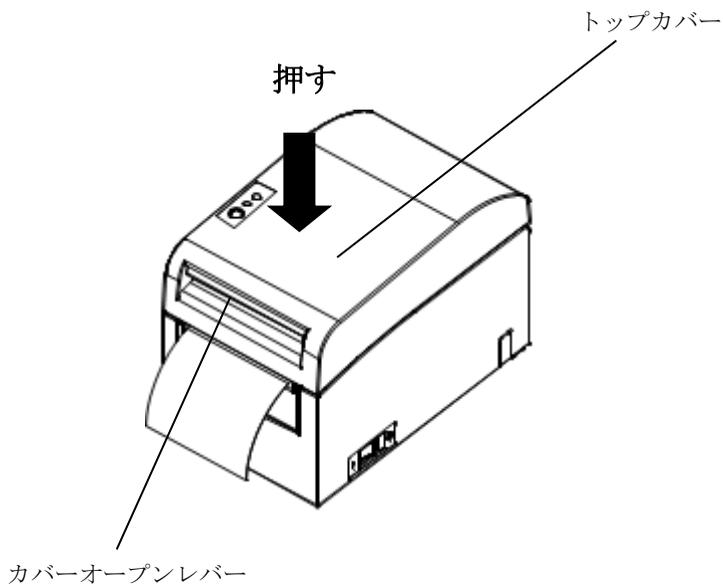
印刷長が 50mm 以下の場合  
：用紙ガイドを閉じた状態



印刷長が 50mm を超える場合  
：用紙ガイドを開いた状態

## 5-5. トップカバーを閉じる

用紙を真っ直ぐにセットしてトップカバーを静かに閉じます。



**△注意：**用紙は真っ直ぐにセットしてください。用紙が斜めのままトップカバーを閉じると、用紙詰まり、印字みだれ等の原因になります。

**△注意：**トップカバーを閉じる際は、中央付近(図中矢印部)を押下して、カチッと音がするまでしっかり閉めてください。ロックが不完全な場合、印字動作が行われないことがあります。

## 6. プリンタの設定

### プリンタ設定の概要

本プリンタでは、以下の設定を行うことができます。

- (1) 用紙レイアウト（用紙種別）の設定
  - ・ダイカットラベル紙、ブラックマーク紙、普通紙
  - ・用紙幅と用紙レイアウト情報
- (2) カスタム用紙の作成
- (3) センサ調整
- (4) 印字速度の設定
- (5) 印刷濃度の設定
- (6) プリンタの動作設定

(1)、(2)の設定については、必ず行って下さい。

(3)～(6)については、必要に応じて行って下さい。

### <参照ドキュメント>

マニュアルはプリンタに同梱の CD-ROM の中に PDF 形式のオンラインマニュアルが収録されております。

添付の各ソフトウェアのインストール及び使用方法については、下記の各ガイドをご覧ください。

ドキュメント名	参照フォルダ	ファイル名
プリンタドライバ インストールガイド	¥	Install_Guide_J.pdf
Windows プリンタ ドライバ ユーザーズガイド	¥Manual	WindowsDriver_Guide_J.pdf
ユーティリティ ユーザーズガイド	¥Manual	Utility_Guide_J.pdf
ステータスマニタ ユーザーズガイド	¥Manual	StatusMonitor_Guide_J.pdf

※Adobe Readerがインストールされていない場合にはadobe Webサイト：  
<http://www.adobe.com/jp/> からダウンロードしてご覧ください。

## 用紙レイアウト情報検出について

本プリンタは、以下の用紙に対応しています。

- a. 普通紙（全面ラベル紙を含む）
- b. ブラックマーク紙
- c. ダイカットラベル紙（ブラックマーク付を含む）

本プリンタは、ブラックマーク紙及びダイカット紙では、用紙レイアウト設定に基づき、頭出し位置、カット位置、剥離位置、手切り位置への移動ができます。

この機能を使うためには、ご使用になる前に印刷される用紙の種類とサイズ等の用紙レイアウト情報を予め設定する必要があります。設定せずに使用すると、用紙レイアウトエラーが発生したり、目的の印刷結果とならない場合があります。

したがって、以下に該当する場合にはと用紙レイアウト設定を行ってから使用して下さい。

- (1) はじめてラベル紙を使用する場合
- (2) 用紙の種類（普通紙、ブラックマーク紙、ダイカットラベル）に変更する場合
- (3) 異なる用紙サイズの用紙に変更する場合
- (4) 同じサイズのダイカットラベル紙でも台紙の色等が異なる用紙に変更する場合。

なお、用紙レイアウト設定には、自動設定と手動設定があります。詳しくは次ページ以降で説明します。

**△注意**：用紙レイアウト設定を実施する時は、実使用環境と同じ温度環境で実施して下さい。実使用環境と同じ温度環境で実施しなかった場合は、温度変化により、カット位置がラベル台紙からずれる可能性があります。

- ・ 本プリンタでは、プリンタが自動で用紙レイアウト検出する機能があります。プリンタの自動レイアウト検出による設定では、用紙幅方向の用紙情報は、固定になりますので、以下の手動による方法で、設定してお使いになることを推奨します。
- ・ 手動による方法は、以下の2種類の手動による方法があります。
  - (1) ドライバによる用紙情報設定  
詳細は Windows ドライバユーザズガイドをご参照ください。
  - (2) ユーティリティによる用紙情報設定  
詳細はユーティリティユーザズガイドをご参照ください。

## 6-1. プリンタによる用紙情報設定

工場出荷時プリンタ設定は、用紙検出が自動ですので以下の手順で、用紙レイアウト情報を自動で検出します。

### <<設定手順>>

- ① 電源をOFFします。
- ② トップカバーを開けます。
- ③ 電源をONします。
- ④ お使いになる用紙をプリンタにセットします。トップカバーは開けたままにしてください。
- ⑤ FEEDスイッチを長押しすると、POWERランプとERRORランプが交互に点滅します。FEEDスイッチをさらに押し続けるとPOWERランプとERRORランプが同時点滅しますので、FEEDスイッチを離します。  
(用紙レイアウトの初期化手段については、“7-1. 操作パネルの用紙レイアウトの初期化手段”を参照してください。)
- ⑥ トップカバーを閉じます。
- ⑦ プリンタは、用紙をフィードして自動で用紙情報を取得して、用紙レイアウト情報がプリンタに記憶されます。

- ⚠注意：自動レイアウト検出では、レイアウト検出する為、数十cm用紙をフィードしますが、異常動作ではありません。
- ⚠注意：プリンタの自動レイアウト検出による設定では、用紙幅方向の用紙情報の取得ができません。用紙幅の設定は、“10-2. セットアップの変更方法 設定例⑦”により設定してください。
- ⚠注意：用紙幅以外の詳細な設定が必要な場合には、Windowsドライバか、ユーティリティを使用して設定を行ってください。詳細はWindowsドライバまたはユーティリティユーザーズガイドをご参照ください。

自動レイアウト検出の詳細について

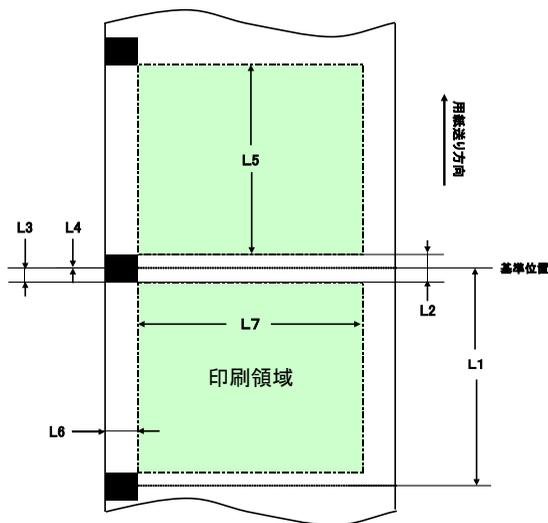
自動レイアウト設定では、以下の設定となります。

### ブラックマーク紙

L1 垂直方向の基準位置～次基準位置までの長さ	自動検出値
L2 垂直方向の基準検出領域の長さ	3.0mm～5.0mm
L3 垂直方向の基準位置～頭出し位置までの長さ	1.5mm
L4 垂直方向の基準位置～カット位置までの長さ	0.0mm
L5 垂直方向の印刷領域の長さ	(L1-1.5×2)mm
L6 用紙左端～印字左端までの長さ	1.0mm(用紙幅 83mm) 4.0mm(用紙幅 80mm) 3.0mm(他の用紙幅)
L7 水平方向の印刷領域の長さ	80.0mm(用紙幅 83mm) (用紙幅-L6×2)mm(他の用紙幅)

△注意: L1～L7 の値はプリンタがセンサで検出する値であり、ドライバやユーティリティで設定する S1～S5, L, R, T, B と一致するものではありませんので、ご注意ください。

△注意: 始めの設定または自動認識で設定された用紙長 (L1) に対し、新たにセットしたロール紙の用紙長 (L1) が±10%を超えるロール紙をセットした場合は誤セットと判断しエラーとします。

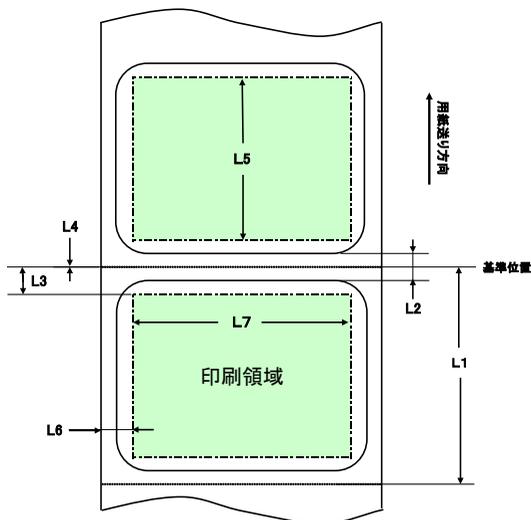


## ダイカットラベル紙

L1	垂直方向の基準位置～次基準位置までの長さ	自動検出値
L2	垂直方向の基準検出領域の長さ	自動検出値
L3	垂直方向の基準位置～頭出し位置までの長さ	$(L2 \div 2 + 1.5)$ mm
L4	垂直方向の基準位置～カット位置までの長さ	0.0mm
L5	垂直方向の印刷領域の長さ	$(L1 - L3 \times 2)$ mm
L6	用紙左端～印字左端までの長さ	5.0mm
L7	水平方向の印刷領域の長さ	$(\text{用紙幅設定値} - L6 \times 2)$ mm

△注意:L1～L7の値はプリンタがセンサで検出する値であり、ドライバやユーティリティで設定するS1～S5, L, R, T, Bと一致するものではありませんので、ご注意ください。

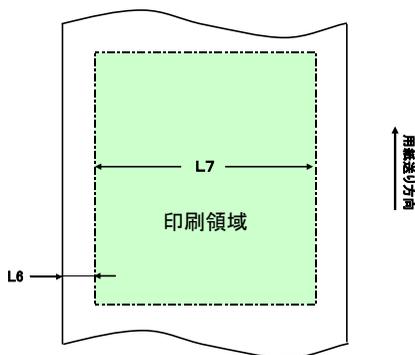
△注意: 始めの設定または自動認識で設定された用紙長(L1)に対し、新たにセットしたロール紙の用紙長(L1)が±10%を超えるロール紙をセットした場合は誤セットと判断しエラーとします。



## 普通紙（全面ラベル含）

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| L1 垂直方向の基準位置～次基準位置までの長さ | 未設定  |
| L2 垂直方向の基準検出領域の長さ       | 未設定  |
| L3 垂直方向の基準位置～頭出し位置までの長さ | 未設定  |
| L4 垂直方向の基準位置～カット位置までの長さ | 未設定  |
| L5 垂直方向の印刷領域の長さ         | 未設定  |
| L6 用紙左端～印字左端までの長さ       | 1. 0mm (用紙幅 83mm)<br>4. 0mm (用紙幅 80mm)<br>3. 0mm (他の用紙幅) |
| L7 水平方向の印刷領域の長さ         | 80. 0mm (用紙幅 83mm)<br>(用紙幅 - L6 × 2) mm (他の用紙幅)          |

△注意:L1～L7の値はプリンタがセンサで検出する値であり、ドライバやユーティリティで設定するS1～S5, L, R, T, Bと一致するものではありませんので、ご注意ください。



## 6-2. 用紙の交換について

新しい用紙に交換する場合には、以下の手順で行ってください。

### (1) 自動レイアウト設定

自動レイアウト設定で新しい用紙に交換する場合には、以下の手順で行ってください。

#### <<用紙レイアウト情報の初期化手順>>

- ① 電源をOFFします。
- ② トップカバーを開けます。
- ③ 電源をONします。
- ④ お使いになる用紙をプリンタにセットします。トップカバーは開けたままにしてください。
- ⑤ FEEDスイッチを長押しすると、POWERランプとERRORランプが交互に点滅します。FEEDスイッチをさらに押し続けるとPOWERランプとERRORランプが同時点滅しますので、FEEDスイッチを離します。
- ⑥ トップカバーを閉じます。
- ⑦ プリンタは、用紙をフィードして自動で用紙情報を取得して、用紙情報が記憶されます。

**△注意：**自動レイアウト検出では、レイアウト検出する為、数十cm用紙をフィードしますが、異常動作ではありません。

### (2) レイアウト情報の更新

Windows ドライバまたはユーティリティを使用して再設定してください。詳細は Windows ドライバまたはユーティリティユーザーズガイドをご参照ください。

### 6-3. 用紙レイアウトエラーについて

ブラックマーク紙、ダイカットラベル紙の場合には、プリンタは設定されている用紙レイアウトにしたがって用紙長(L1)を監視しています。設定された用紙長とプリンタが検出した用紙長が一致しない場合には、用紙レイアウトエラーとなります。

#### (1) 用紙補給時

プリンタの用紙レイアウト情報と異なる用紙が入れられていないか確認して、用紙レイアウト情報と一致した用紙に入れ直してください。

#### (2) 印字時

印字時にレイアウトエラーが発生した場合には、トップカバーを開けてラベルのはがれや用紙ジャム等が発生していないかを確認して、用紙を再セットしてトップカバーを閉じて下さい。

#### (3) 用紙を入れ替え時

“6-4. 用紙の交換について”の手順に従って行って下さい。

**△注意：**設定された用紙長(L1)または自動認識で設定された用紙長(L1)に対し、セットした用紙の用紙長(L1)が±10%を超える用紙である場合には、用紙レイアウトエラーとなります。

## 6-4. センサ調整

センサ調整値の調整は以下の2つの手段があります。

- a. センサの自動調整（工場出荷時のモード）
- b. センサの手動調整

### センサの自動調整

- 1) センサの自動調整とは、センサ自動調整が有効である場合に、自動レイアウト検出と同時に行われます。測定したセンサ入力レベルから、最適値に設定する機能です。工場出荷時は、センサ調整値は未設定ですが、プリンタをご購入後、最初に用紙をセットしてプリンタの電源をONすると自動レイアウト検出で設定されます。

### センサの手動調整

- 1) センサの手動調整は、“10-4. センサ調整”で各センサを選択することで開始することができます。操作ガイドが印刷されますので、ガイドに従って調整してください。
- 2) 工場出荷時は、センサの自動調整が自動レイアウト検出と同時にされるため、手動で行う必要はありません。用紙レイアウトエラーが頻発する場合には、該当するセンサの調整を行ってください。

## 6-5. 印字濃度の設定

本プリンタは、ご使用になる用紙に合わせて、印字濃度を設定することができます。

工場出荷時は130%に設定されていますが、“3-5. 推奨感熱紙”に記載の印字濃度を参照し、お使いの用紙に合わせて設定を変更してください。

設定の変更は、以下の3つの手段により変更できます。

- (1) Windows プリンタドライバ  
詳細はWindows ドライバユーザーズガイドをご参照ください。
- (2) プリンタユーティリティ  
詳細はユーティリティユーザーズガイドをご参照ください。
- (3) プリンタのセットアップ  
“10-2. セットアップの変更方法 設定例①”で変更してください。

※Windows プリンタドライバで印字濃度を設定した場合には、ドライバで設定された印字濃度で印字されます。(ドライバの設定で指定された印字濃度が優先されます。)

## 6-6. 印刷速度の設定

本プリンタは、60mm/秒～260mm/秒での印刷速度が設定できます。

工場出荷時は、140mm/秒に設定されています。ご使用になる環境に合わせて、設定を変更してお使いください。

設定の変更は、以下の3つの手段により変更できます。

- (1) Windows プリンタドライバ  
詳細は Windows ドライバユーザーズガイドをご参照ください。。
- (2) プリンタユーティリティ  
詳細はユーティリティユーザーズガイドをご参照ください。
- (3) プリンタのセットアップ  
“10-2. セットアップの変更方法 設定例②” で変更してください。

※Windows プリンタドライバで印刷速度を設定した場合には、ドライバで設定された印刷速度で印字されます。(ドライバの設定で指定された印字速度が優先されます。)

**△注意**：用紙幅57mm以下の用紙を使用する場合は、プリンタが印刷速度を制限しています。

用紙幅 83～58mm 時	：最大260mm/秒
用紙幅 57～38mm 時	：最大180mm/秒
用紙幅 37～25.4mm 時	：最大 80mm/秒

## 6-7. カット位置／手切り位置の補正

本プリンタでは、頭出し位置、カット位置、剥離位置、手切り位置を上下方向に補正できます。

また、手切り位置だけの上下方向の補正もできます。

必要に応じて設定を変更してお使いください。

設定の変更は、以下の手段により変更できます。

- (1) Windows プリンタドライバ  
詳細は Windows ドライバユーザズガイドをご参照ください。
- (2) プリンタユーティリティ  
詳細はユーティリティユーザズガイドをご参照ください。

## 6-8. その他設定について

本プリンタでは、電源投入時の頭出し動作や頭出し時のカット動作が設定できます。

設定の変更は、以下の2つの手段により変更できます。

- (1) プリンタのセットアップ  
“10-2. セットアップの変更方法 設定例④”を参照して、変更してください。
- (2) プリンタユーティリティ  
“ユーティリティ ユーザーズガイド”を参照してください

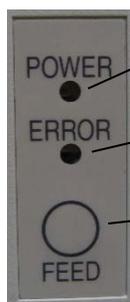
## 6-9. プリンタ設定情報の初期化

本プリンタに設定した情報を、工場出荷時の設定にすることができます。

設定の変更は、“10-2. セットアップの変更方法 設定例⑤”で初期化してください。

## 7. 表示部と各種機能

### 7-1. 操作パネル



POWERランプ(●)  
電源スイッチがONされ、プリンタに電源が供給されると点灯します。

ERRORランプ(●)  
点灯、点滅によりエラーを表示します。

FEEDスイッチ

- ・普通紙（全面ラベル紙）の場合  
1回押下すると、1文字分相当の改行を行います。押下したままの状態を保持すると、連続改行を行います。
- ・普通紙（全面ラベル紙）以外の場合  
1回押下すると、1シート分の改頁を行います。

## ※用紙レイアウトの初期化手段

トップカバーを開けたままでFEEDスイッチを操作すると、用紙レイアウト情報が初期化されます。初期化後は、お使いになる用紙をプリンタにセットしてトップカバーを閉じてください。プリンタは、用紙をフィードして自動で用紙情報を取得して用紙レイアウト情報が記憶されます。

### ① 初期化

- ・初期化では、用紙レイアウト情報が初期化されます。同じ用紙種類の用紙でレイアウト情報が異なる場合に使用してください。
- ・＜手順＞FEEDスイッチを長押しすると、POWERランプとERRORランプが交互に点滅しますので、FEEDスイッチを離します。

### ② 全初期化

- ・全初期化では、用紙レイアウト情報に加えて用紙種類も初期化されます。用紙種類を変更する場合に使用してください。
- ・＜手順＞FEEDスイッチを長押しすると、POWERランプとERRORランプが交互に点滅します。FEEDスイッチをさらに押し続けるとPOWERランプとERRORランプが同時点滅しますので、FEEDスイッチを離します。

## 7-2. エラー表示

### 復帰可能エラー発生時

エラー状態	LEDランプ	点灯パターン
紙なし ペーパーエンド	POWER (●)	点灯
	ERROR (●)	点灯
カバーオープン 検出時	POWER (●)	点灯
	ERROR (●)	点灯
ヘッドホット※	POWER (●)	点灯
	ERROR (●)	点灯

### ※サーマルヘッドの高温状態による印字中断時

エラー状態	LEDランプ	点灯パターン
用紙ニアエンド	POWER (●)	点灯
	ERROR (●)	
		点灯約 1 秒, 消灯約 1 秒の長い点滅周期です
用紙レイアウト エラー※	POWER (●)	点灯
	ERROR (●)	
		ランプ 2 回点滅の繰返し

※6-5. 用紙レイアウトエラーについてを参照してください。

復帰不可能エラー発生時

エラー状態	LEDランプ	点灯パターン
内部エラー	POWER (●)	—●—●—
	ERROR (●)	●————
		●ランプ 1 回点滅と●ランプ 2 回点滅の繰返し
ヘッド未搭載	POWER (●)	—●—●—●—
	ERROR (●)	●————
		●ランプ 1 回点滅と●ランプ 3 回点滅の繰返し
低電圧	POWER (●)	—●—●—●—●—
	ERROR (●)	●————
		●ランプ 1 回点滅と●ランプ 4 回点滅の繰返し
過電圧	POWER (●)	—●—●—●—●—●—
	ERROR (●)	●————
		●ランプ 1 回点滅と●ランプ 5 回点滅の繰返し
カッタ異常	POWER (●)	—●—●—●—●—●—●—
	ERROR (●)	●————
		●ランプ 1 回点滅と●ランプ 6 回点滅の繰返し
L F モータ異常	POWER (●)	—●—●—●—●—●—●—●—
	ERROR (●)	●————
		●ランプ 1 回点滅と●ランプ 7 回点滅の繰返し
Bluetooth モジュール 異常	POWER (●)	————●—●—●—
	ERROR (●)	●—●————
		●ランプ 2 回点滅と●ランプ 3 回点滅の繰返し
Bluetooth CP チップ 異常	POWER (●)	————●—●—●—●—
	ERROR (●)	●—●————
		●ランプ 2 回点滅と●ランプ 4 回点滅の繰返し

⚠注意 : Bluetooth モジュール異常と Bluetooth CP チップ異常は、Bluetooth, USB インターフェースモデルで、インターフェース切替えスイッチが「Bluetooth」側の時にのみ検出いたします。

## 8. 紙詰まりの予防と除去方法

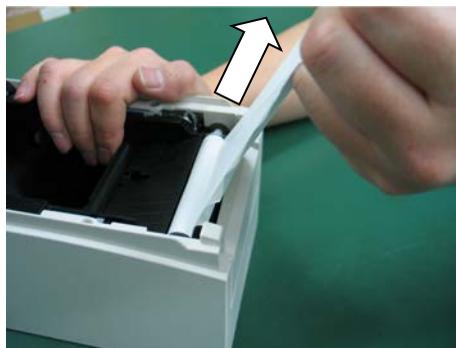
### 8-1. 紙詰まりの予防

用紙排出中やカットが終わる前に用紙に触れないでください。  
排出中に手で押さえたり、引っ張ったりすると紙詰まりやカット不良、または改行不良の原因になります。

### 8-2. 紙詰まりの除去方法

紙詰まりが発生した場合には、以下の手順で用紙を除去してください。

- (1) 電源スイッチをOFFにして、プリンタの電源を切断します。
- (2) カバーオープンレバーを上方に押し上げてトップカバーを開けます。
- (3) プリンタを押さえ下図の様に詰まった用紙をゆっくり上方向へ引っ張り取り除きます。



⚠注意：用紙を取り除く際は、用紙を無理に引っ張ったりしないでください。

⚠注意：サーマルヘッドは静電気で破損する可能性があるため、サーマルヘッドには触れない様にしてください。

## 9. プリンタがうまく動かないとき

プリンタがうまく動かなかったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。

### 9-1. 電源投入時およびエラー関連の不具合

現象	原因	処置
電源を投入しても操作パネルの POWER ランプが点灯しないでプリンタも動作しない。	(1) 電源ケーブルが外れている。 (2) AC アダプタのコネクタが外れている。	(1) 電源ケーブルを接続する。 ※4-3 ACアダプタの接続参照 (2) AC アダプタのコネクタを接続する。 ※4-3 ACアダプタの接続参照
操作パネルの ERROR ランプが点灯してプリンタが動作しない。	(1) 用紙がセットされていない。 (2) トップカバーが完全に閉じていない。 (3) サーマルヘッドが高温状態になっている。	(1) 用紙をセットする。 ※5 項用紙のセット方法参照 (2) トップカバーを完全に閉じる。 ※5 項用紙のセット方法参照 (3) サーマルヘッドの温度低下を待つ。

### 9-2. カッタ関連の不具合

現象	原因	処置
用紙が切れない。	(1) カッタ刃が傷ついている。又は摩耗して寿命に達している。 (2) カッタ刃周囲, スライド部周囲に用紙または異物が混入している。 (3) ラベル紙を使用していて、糊がカッタ刃に付着している。	(1) 電源を切って修理を依頼してください。 (2) 用紙紙片, 異物を除去する。 (3) カッタ刃を清掃して糊を除去する。 ※11-4 カッタ刃, カッターフレームの清掃参照
カッタが所定の位置に戻らない。	カッタ刃周囲, スライド部周囲に用紙又は異物が混入している。	用紙紙片, 異物を除去する。

### 9-3. 印字関連の不具合

現象	原因	処置
印字しない。	(1) インタフェースケーブルが抜けている。又は断線している。 (2) プリンタのセットアップの設定が間違っている	(1) インタフェースケーブルを正しく接続する。又は交換する。 (2) 正しく設定を行なう。 例) ボーレートが相違 ※10-2 セットアップ変更方法参照
印字が濃い、にじむ。	(1) プリンタのセットアップの印字濃度設定が合っていない。 (2) サーマルヘッドが破損している	(1) プリンタの印字濃度、印刷速度を用紙に合った設定にする。 ※10-2 セットアップ変更方法参照 (2) 電源を切って修理を依頼してください。
印字が薄い。	(1) プリンタのセットアップの印字濃度設定が合っていない。 (2) サーマルヘッドが破損している	(1) プリンタの印字濃度、印刷速度を用紙に合った設定にする。 ※10-2 セットアップ変更方法参照 (2) 電源を切って修理を依頼してください。
印字にムラがある。	(1) サーマルヘッドの発熱体に紙カス、異物が付着している。 (2) プリンタのセットアップの設定が間違っている。 (3) プラテンローラに異物が付着している。 (4) サーマルヘッドが破損している。	(1) サーマルヘッドを点検、清掃する。 ※11-3 サーマルヘッド 清掃参照 (2) プリンタの印字濃度、印刷速度を用紙に合った設定にする。正しく設定を行なう。 ※10-2 をセットアップ変更方法参照 (3) プラテンローラの異物を除去する。 ※11-2 プラテンローラの清掃参照 (4) 電源を切って修理を依頼してください。
印字に縦スジが入る。	(1) 用紙搬送部に異物が付着、混入している。 (2) サーマルヘッドに異物が付着している。 (3) サーマルヘッドが破損している	(1) 用紙搬送路を清掃する。 ※11-1 用紙収納部、用紙走行部 清掃参照 (2) サーマルヘッドを清掃する。 ※11-3 サーマルヘッド 清掃参照 (3) 電源を切って修理を依頼してください。

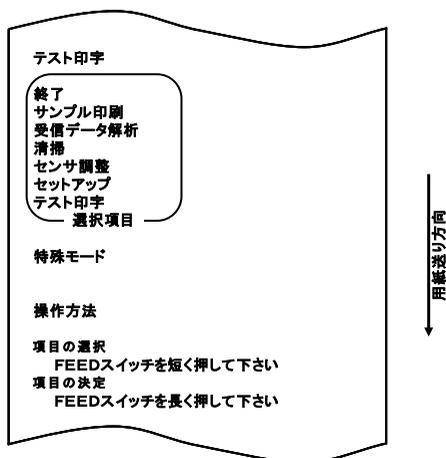
## 10. 特殊モード

### 10-1. テスト印字

プリンタの電源スイッチを一度OFFにし、用紙をセットした状態で操作パネルのFEEDスイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにすると以下の印字を行ないます。

△注意：プリンタの印字が開始するまでFEEDスイッチを押下して下さい。

△注意：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。



「テスト印字」の項目の所でFEEDスイッチを長く（1秒以上）押下するとテスト印字を開始します。

プリンタは設定項目を印字すると停止します。

- F E E Dスイッチを短く（1秒以内）押下するとテスト印字を終了します。
- F E E Dスイッチを長く（1秒以上）押下するとテスト印字を継続して、フォント一覧の印字をします。フォント一覧の印字を途中で終了させる場合は、F E E Dスイッチを押下するとカットし終了します。

## テスト印字内容（例）

### シリアル／パラレル／USB／LANインタフェースモデルの場合

Firmware Number	KA02041-Jxxxx
Firmware Version	01A (0xxxxx)
123456	
<<用紙設定>>	
用紙検出	自動
用紙幅	70mm
基準位置補正	0.0mm
手切り位置補正	0.0mm
用紙レイアウト処理	用紙レイアウトリしない
用紙レイアウト復帰	コメント / 加パース
電源投入時の頭出し	実行する
頭出し時のカット	実行しない
センサ自動調整	有効
<<メモリスイッチ>>	
電源ON通知	送信する
受信バッファ	4Kバイト
BUSY条件	バックアップ
受信エラー処理	?印字
自動改行	常時無効
DSR (#6) リセット	無効
INIT (#25) リセット	無効
INIT (#31) リセット	有効
カバーオープン	自動復帰エラー
<<カスタムバリュ>>	
ユーザー-NVメモリ	192Kバイト
グラフィックメモリ	384Kバイト
印字色	単色
印字濃度	130%
2色時の黒濃度	100%
印刷速度	5
低消費電力	標準
<<シリアル通信条件>>	
ボーレート	115200 BPS
フォーマット	8NONE1
プロトコル	DSR/DTR
<<その他>>	
ACKパルス幅	1 $\mu$ s
USB	プリンタ
シリアル番号	無効
エラー復帰	自動
プロセスID	標準
PNE検出	有効
フォントB	モード1
印刷MODE (COM IF)	一括
印刷MODE (OTHER IF)	逐次
フザー	無効
ロール紙ユニット	未搭載
ロール紙ユニット PE検出	PE

右上に続く

Firmware Number と Firmware Version は仕様毎に異なります。  
“123456” はシリアル番号の例です。

左下からの続き

<<用紙レイアウト>>	
用紙種類	未設定
L1 基準～基準	未設定
L2 基準の長さ	未設定
L3 基準～頭出し	未設定
L4 基準～カット	未設定
L5 縦印刷領域	未設定
L6 左端余白	3.0mm
L7 横印刷領域	64.0mm
<<ラベルレイアウト設定>>	
S1 用紙幅	未設定
S2 ラベル幅	未設定
S3 用紙高さ	未設定
S4 ラベル間	未設定
S5 カット位置	未設定
L 左余白	未設定
R 右余白	未設定
T 上余白	未設定
B 下余白	未設定
<<センサ調整>>	
BMセンサ	未設定
ラベルセンサ	未設定
PNEセンサ	未設定
PEセンサ	未設定

↑  
用紙送り方向

センサ調整は調整後、  
「Level xx」の様に表示されます。

## Bluetooth, USBインタフェースモデルの場合

Firmware Number	KA02041-Jxxx
Firmware Version	01A (0xxxxx)
123456	
<<用紙設定>>	
用紙検出	自動
用紙幅	70mm
基準位置補正	0.0mm
手切り位置補正	0.0mm
用紙レイアウト処理	用紙レイアウトがない
用紙レイアウト復帰	コマンド / カバーコース
電源投入時の頭出し	実行する
頭出し時のカット	実行しない
センサ自動調整	有効
<<メモリスイッチ>>	
電源ON通知	送信する
受信バッファ	4Kバイト
BUSY条件	バックワル
自動改行	常時無効
カバーオープン	自動復帰エラー
<<カスタムバリュ>>	
ユーザー-NVメモリ	192Kバイト
グラフィックメモリ	384Kバイト
印字色	単色
印字濃度	130%
2色時の黒濃度	100%
印刷速度	5
低消費電力	標準
<<その他>>	
USB	プリンタ
シリアル番号	無効
エラー復帰	自動
プロセスID	標準
PNE検出	有効
フォントB	モード1
印刷MODE (BT IF)	逐次
印刷MODE (USB IF)	逐次
ブザー	無効
ロール紙ユニット	未搭載
ロール紙ユニット PE検出	PE
BT 自動再接続 (IOS)	無効
<<Bluetooth情報>>	
FWバージョン	spp3i v1.01
BDアドレス	[xx:xx:xx:xx:xx:xx]
デバイス名	"FP-32L 123456"
PINコード	"1234"

右上に続く

Firmware Number と Firmware Version は仕様毎に異なります。  
"123456" はシリアル番号の例です。

左下からの続き

<<用紙レイアウト>>	
用紙種類	未設定
L1 基準～基準	未設定
L2 基準の長さ	未設定
L3 基準～頭出し	未設定
L4 基準～カット	未設定
L5 横印刷領域	未設定
L6 左端余白	3.0mm
L7 横印刷領域	64.0mm
<<「グリッドライン」設定>>	
S1 用紙幅	未設定
S2 ラベル幅	未設定
S3 用紙高さ	未設定
S4 ラベル間	未設定
S5 カット位置	未設定
L 左余白	未設定
R 右余白	未設定
T 上余白	未設定
B 下余白	未設定
<<センサ調整>>	
BMセンサ	未設定
ラベルセンサ	未設定
PNEセンサ	未設定
PEセンサ	未設定

↑  
用紙送り方向

センサ調整は調整後、  
「Level xx」の様に表示されます。

デバイス名の"123456"はシリアル番号の例です。

※Bluetooth情報の詳細は、  
「12-5. Bluetooth インタフェース」参照

## 10-2. セットアップの変更方法

本説明はパソコンを使用せず、プリンタ単体でセットアップを行なう方法について説明します。

また本プリンタをWindowsパソコンに接続して使用する場合は、添付CD内のユーティリティソフトウェアを使用すると簡単に設定の変更が出来ます。

ユーティリティのインストールと起動については、“プリンタドライバインストールガイド”を参照してください。

詳細な機能およびご使用方法については、“ユーティリティ ユーザーズガイド”を参照してください。

本書では、代表的な以下の設定変更方法について詳細を説明しています。

- 設定例① 印字濃度を薄い設定に変更する。
- 設定例② 印刷速度を速い設定に変更する。
- 設定例③ 2色感熱紙を使用する設定に変更する。
- 設定例④ 電源投入時の頭出し設定を変更する。
- 設定例⑤ プリンタの設定を初期化する。
- 設定例⑥ Bluetooth 設定を初期化する。
- 設定例⑦ ペーパーニアエンド検出を無効にする。
- 設定例⑧ 用紙幅を変更する。
- 設定例⑨ 一括印刷の設定に変更する。

設定例①～⑤、設定例⑦～⑧についてはUSB インタフェースモデルの場合で説明を行います。

設定例⑥はBluetooth, USB インタフェースモデルのみの機能です。

**設定例① 印字濃度を薄い設定に変更する。**  
130%から100%に変更

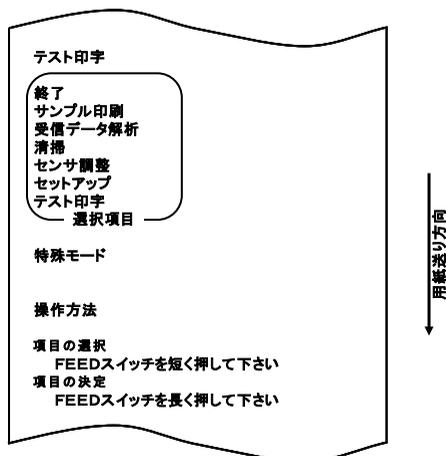
設定は以下の手順で行ないます。

1. 設定を開始する前にプリンタの状態を確認します。
  - (1) 電源がオフ状態であること。
  - (2) 用紙がセットされていること。
  - (3) カバーが閉まっていること。
2. 特殊モードに入ります。  
トップカバーの左側にあるFEEDスイッチを押下しながら右側面にある電源スイッチを入れます。

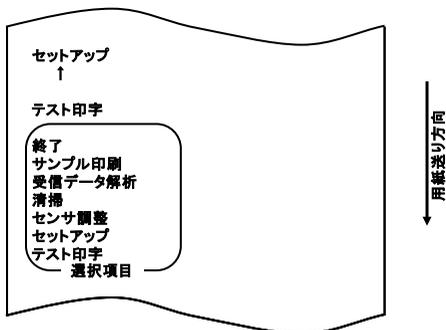
△注意：プリンタの印字が開始するまでFEEDスイッチを押下して下さい。

△注意：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

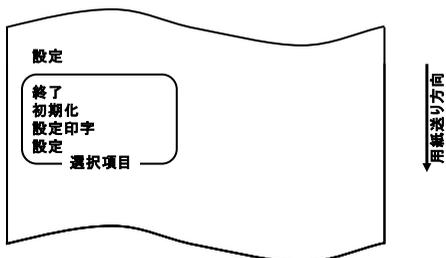
特殊モードに入ると以下の印刷を行ないます。



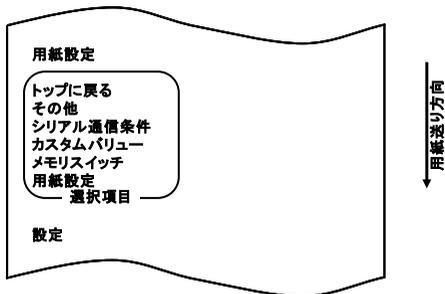
3. 特殊モードからセットアップモードに入ります。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「セットアップ」の  
項まで移動します。



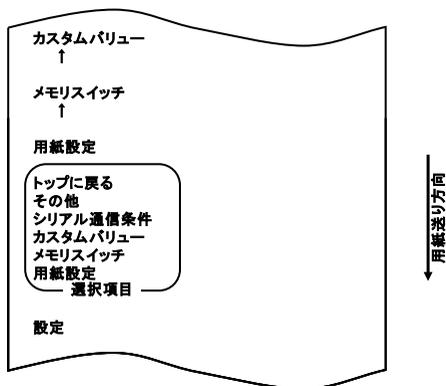
- 次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
セットアップモードに入ると以下の印刷を行ないます。



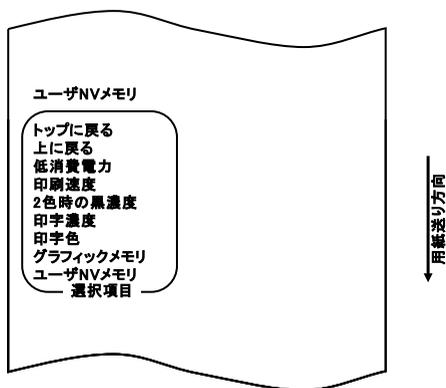
4. セットアップモードでは「設定」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「設定」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



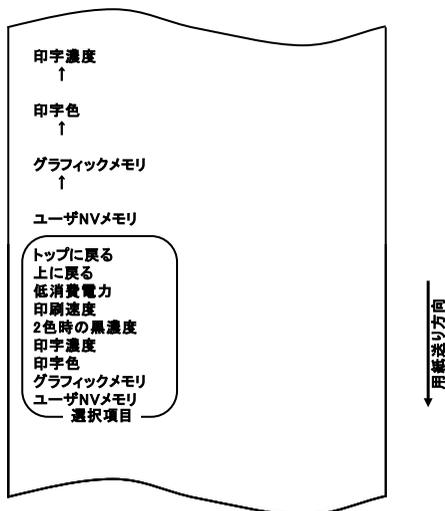
5. 項目の選択では、「カスタムバリュー」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）2回押下し、「カスタムバリュー」の項まで移動します。



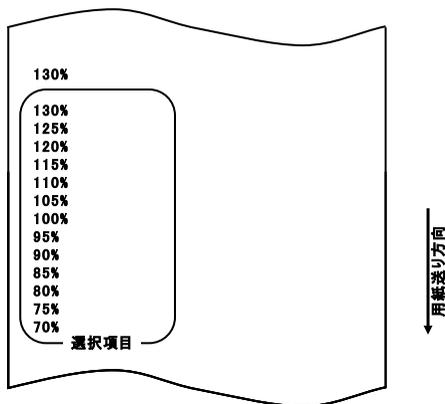
- 次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「カスタムバリュー」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



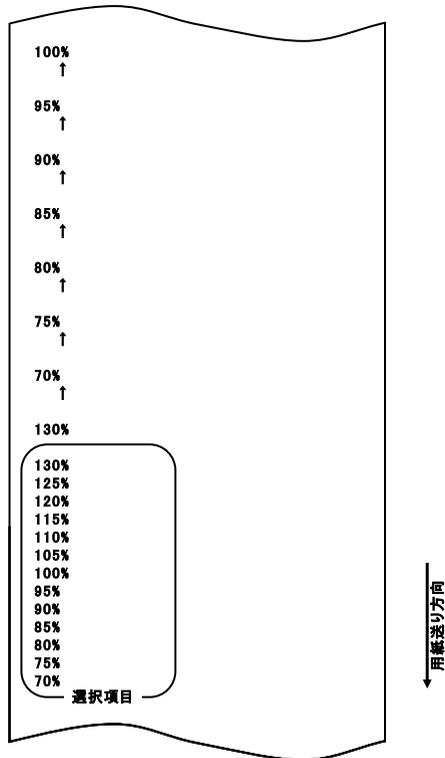
6. 項目の選択では、「印字濃度」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）3回押下し、「印字濃度」の項まで移動します。



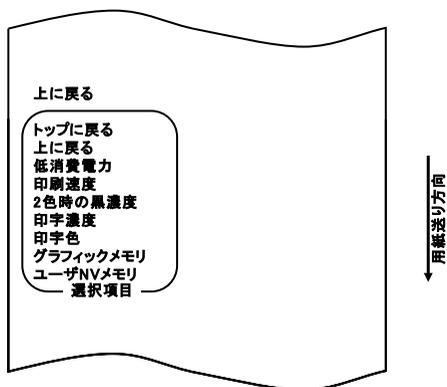
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「印字濃度」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



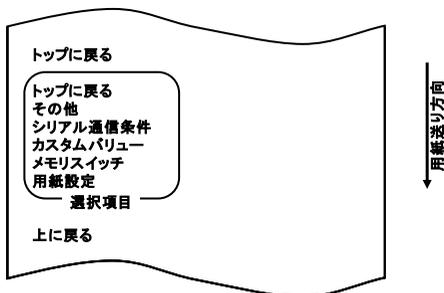
7. 項目の選択では、「100%」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）押下し、「100%」の項まで移動  
します。



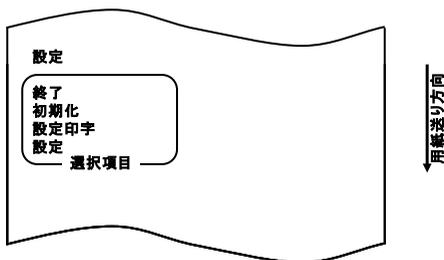
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「100%」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



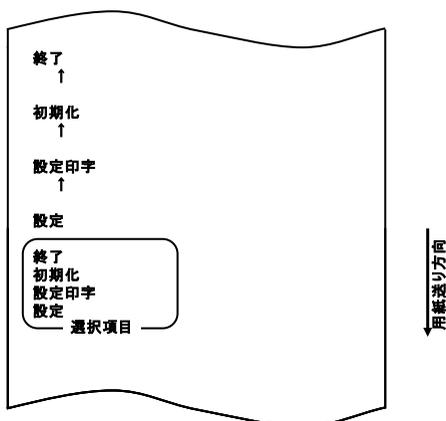
8. 項目の選択では、「上に戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「上に戻る」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



9. 項目の選択では、「トップに戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「トップに戻る」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



10. 項目の選択では、「終了」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）3回押下し「終了」の項まで移動します。



次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「終了」選択後に用紙のカットを行ないセットアップモードが終了します。

**△注意：**「終了」を選択せずにプリンタの電源スイッチをオフにした場合、設定は記録されません。

●設定の確認方法

設定の確認は10-1項を参照しテスト印字を行ないます。  
テスト印字では、プリンタの設定一覧印刷を行ないますので、  
設定一覧にて設定内容の確認を行ないます。

## 設定例② 印刷速度を速い設定に変更する。

5 (140mm/s)から 9 (260mm/s)に変更

設定は以下の手順で行ないます。

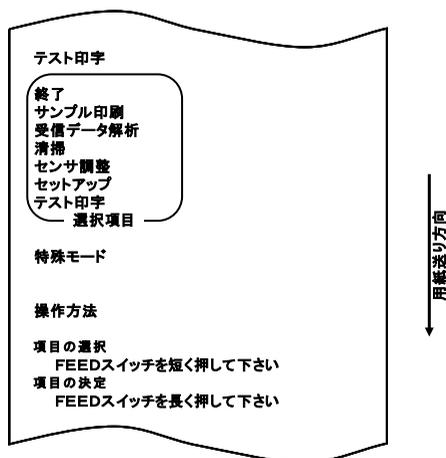
1. 設定を開始する前にプリンタの状態を確認します。
  - (1) 電源がオフ状態であること。
  - (2) 用紙がセットされていること。
  - (3) カバーが閉まっていること。
2. 特殊モードに入ります。

トップカバーの左側にあるFEEDスイッチを押下しながら右側面にある電源スイッチを入れます。

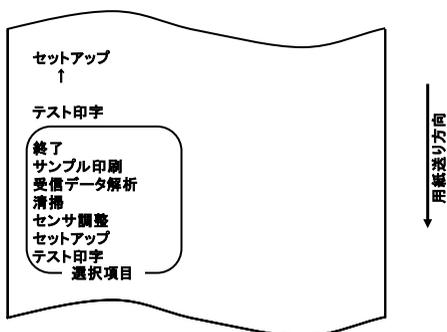
△注意：プリンタの印字が開始するまでFEEDスイッチを押下して下さい。

△注意：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

特殊モードに入ると以下の印刷を行ないます。



3. 特殊モードからセットアップモードに入ります。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「セットアップ」の項まで移動します。



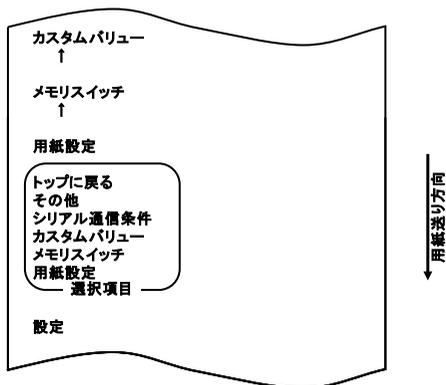
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
セットアップモードに入ると以下の印刷を行いません。



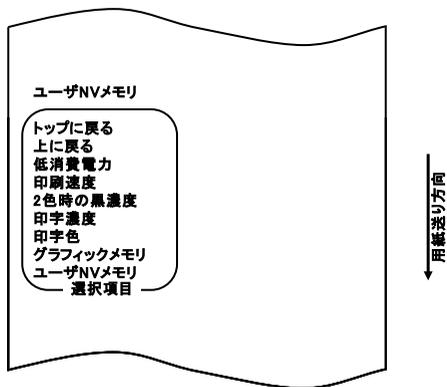
4. セットアップモードでは「設定」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「設定」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



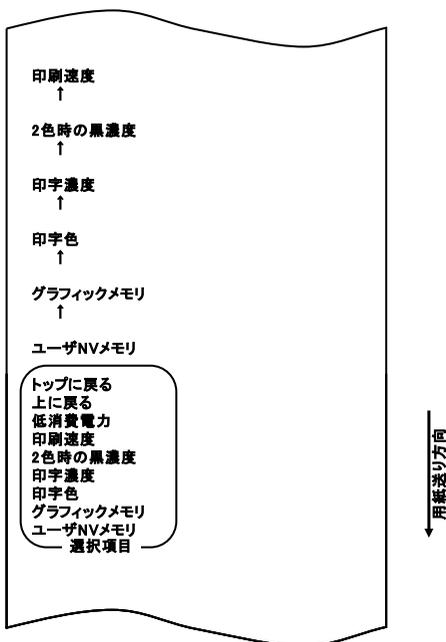
5. 項目の選択では、「カスタムバリュウ」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）2回押下し、「カスタムバリュウ」の項まで移動します。



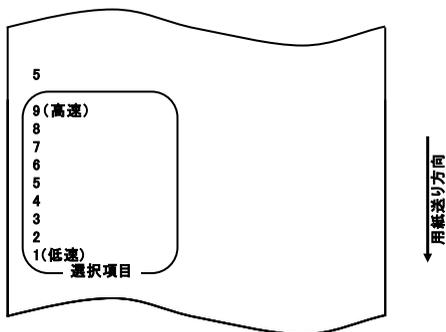
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「カスタムバリュー」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



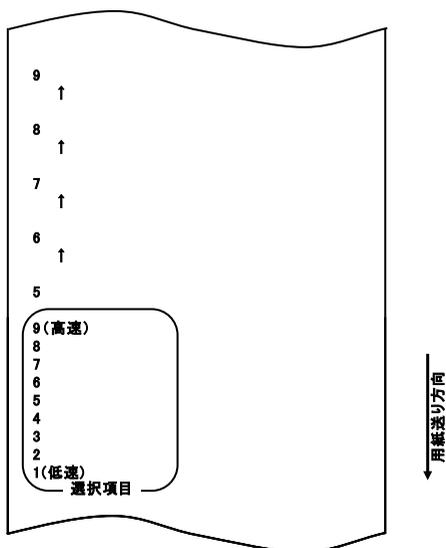
6. 項目の選択では、「印刷速度」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）5回押下し、「印刷速度」の項まで移動します。



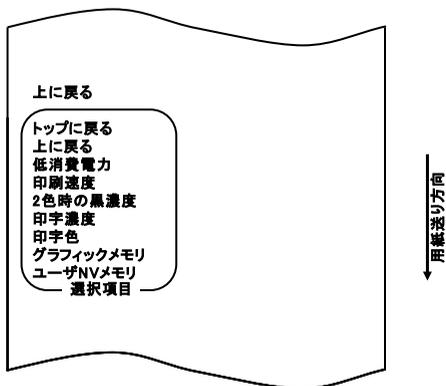
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
「印刷速度」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



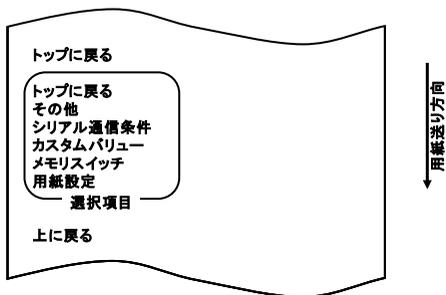
7. 項目の選択では、「9」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）押下し、「9」の項まで移動します。



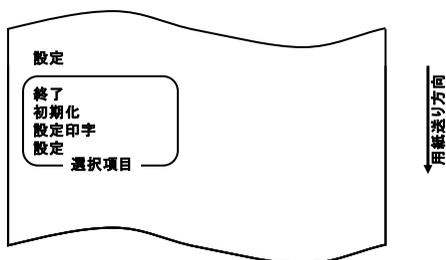
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「9」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



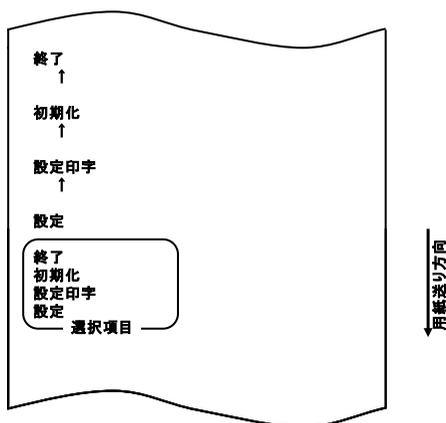
8. 項目の選択では、「上に戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「上に戻る」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



9. 項目の選択では、「トップに戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「トップに戻る」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



10. 項目の選択では、「終了」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）3回押下し「終了」の項まで移動します。



次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「終了」選択後に用紙のカットを行ないセットアップモードが終了します。

**⚠注意：「終了」を選択せずにプリンタの電源スイッチをオフにした場合、設定は記録されません。**

● **設定の確認方法**

設定の確認は 10-1 項を参照しテスト印字を行ないます。

テスト印字では、プリンタの設定一覧印刷を行ないますので、設定一覧にて設定内容の確認を行ないます。

### 設定例③ 2色感熱紙を使用する設定に変更する。

印字色の指定を変更する（単色から2色に変更）

設定は以下の手順で行ないます。

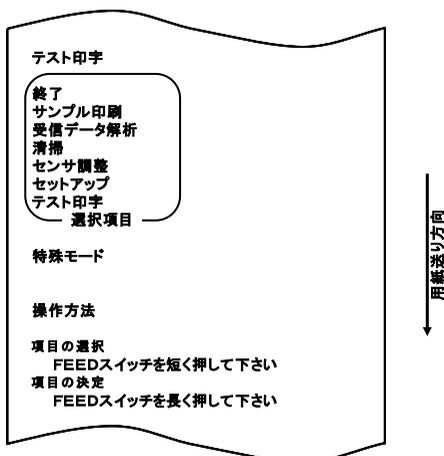
1. 設定を開始する前にプリンタの状態を確認します。
  - (1) 電源がオフ状態であること。
  - (2) ロール紙がセットされていること。
  - (3) カバーが閉まっていること。
2. 特殊モードに入ります。

トップカバーの左側にあるFEEDスイッチを押下しながら右側面にある電源スイッチを入れます。

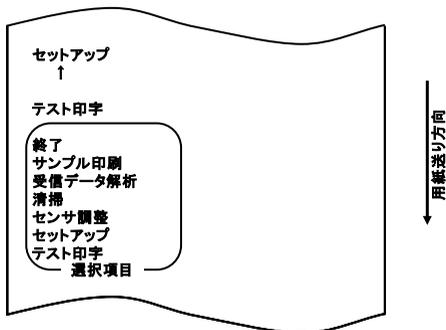
△注意：プリンタの印字が開始するまでFEEDスイッチを押下して下さい。

△注意：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

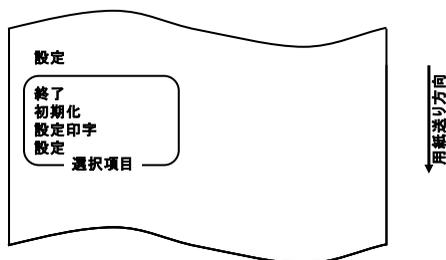
特殊モードに入ると以下の印刷を行ないます。



3. 特殊モードからセットアップモードに入ります。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「セットアップ」の項まで移動します。



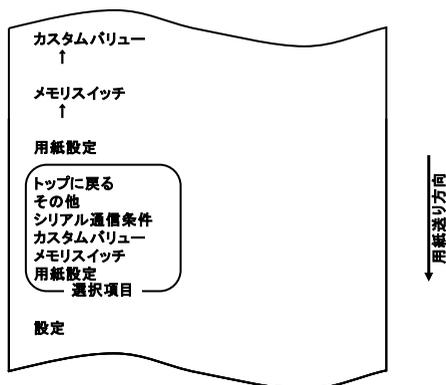
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
セットアップモードに入ると以下の印刷を行いません。



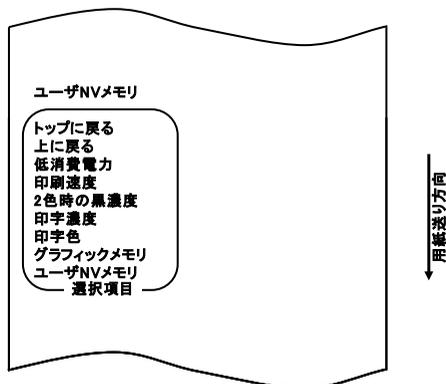
4. セットアップモードでは「設定」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「設定」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



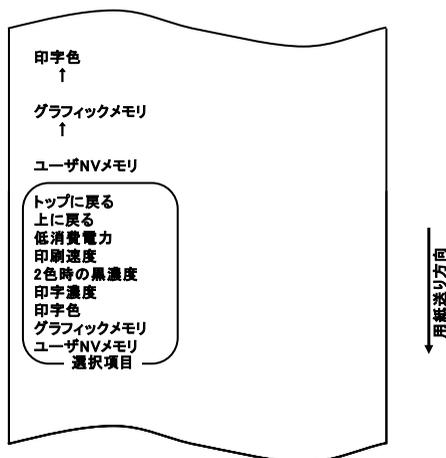
5. 項目の選択では、「カスタムバリュウ」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）2回押下し、「カスタムバリュウ」の項まで移動します。



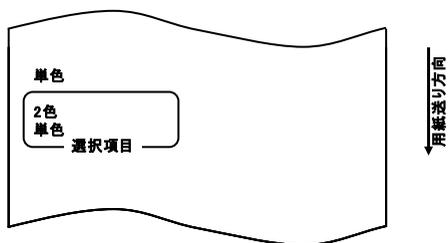
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「カスタムバリュー」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



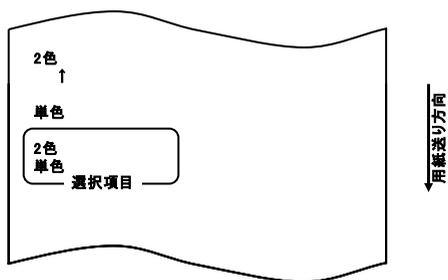
6. 項目の選択では、「印字色」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）2回押下し、「印字色」の項まで移動します。



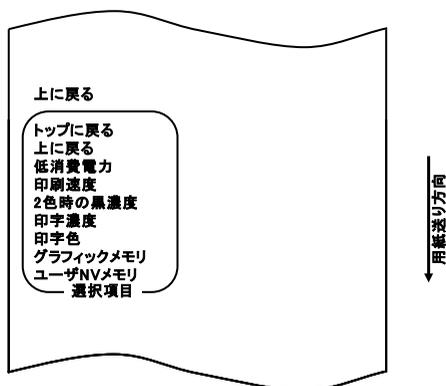
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「印字色」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



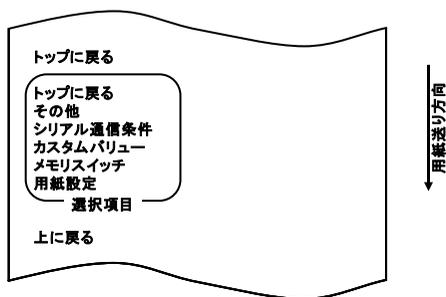
7. 項目の選択では、「2色」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「2色」の項まで移動します。



次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
「2色」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



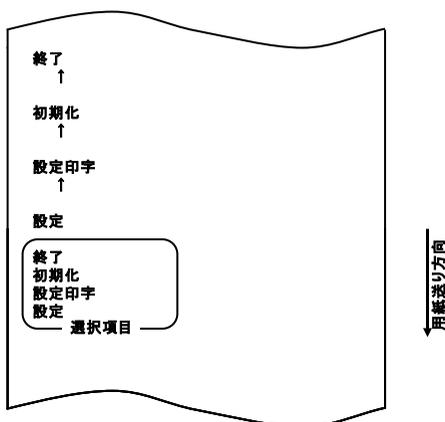
8. 項目の選択では、「上に戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
「上に戻る」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



9. 項目の選択では、「トップに戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「トップに戻る」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



10. 項目の選択では、「終了」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）3回押下し、「終了」の項まで移動します。



- 次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「終了」選択後に用紙のカットを行ないセットアップモードが終了します。

**⚠注意：「終了」を選択せずにプリンタの電源スイッチをオフにした場合、設定は記録されません。**

● **設定の確認方法**

設定の確認は 10-1 項を参照しテスト印字を行ないます。  
テスト印字では、プリンタの設定一覧印刷を行ないますので、  
設定一覧にて設定内容の確認を行ないます。

**設定例④ 電源投入時の頭出し設定を変更する。**  
**実行するから実行しないに変更**

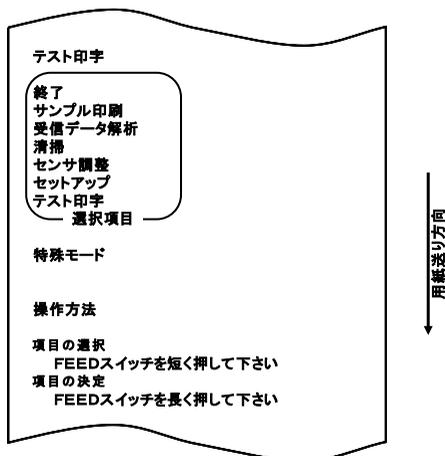
**設定は以下の手順で行ないます。**

1. 設定を開始する前にプリンタの状態を確認します。
  - (1) 電源がオフ状態であること。
  - (2) 用紙がセットされていること。
  - (3) カバーが閉まっていること。
  
2. 特殊モードに入ります。  
トップカバーの左側にある F E E D スイッチを押下しながら右側面にある電源スイッチを入れます。

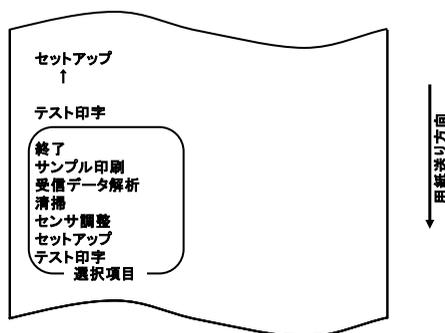
**△注意：プリンタの印字が開始するまで F E E D スイッチを押下して下さい。**

**△注意：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、F E E D スイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。**

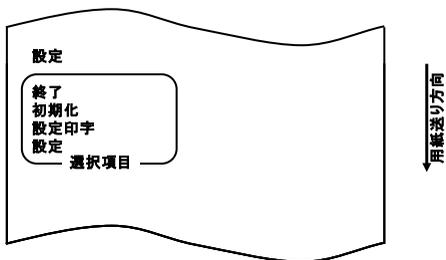
特殊モードに入ると以下の印刷を行ないます。



3. 特殊モードからセットアップモードに入ります。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「セットアップ」の項まで移動します。



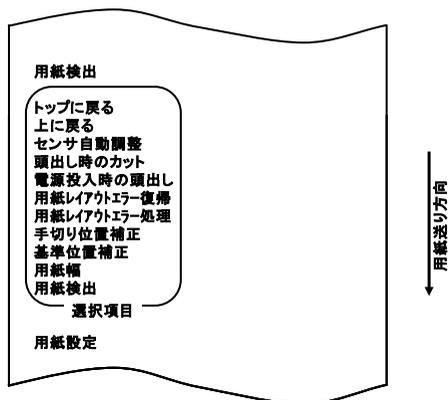
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
セットアップモードに入ると以下の印刷を行ないます。



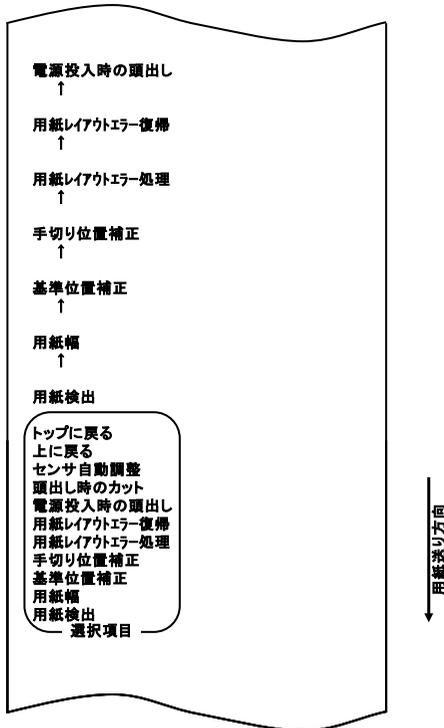
4. セットアップモードでは「設定」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
「設定」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



5. 項目の選択では、「用紙設定」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「用紙設定」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



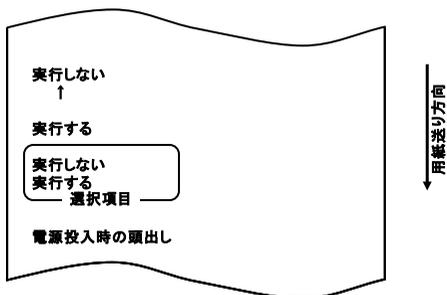
6. 項目の選択では、「電源投入時の頭出し」を選びます。  
 FEEDスイッチを短く（1秒以内）6回押下し、「電源投入時の頭出し」の項まで移動します。



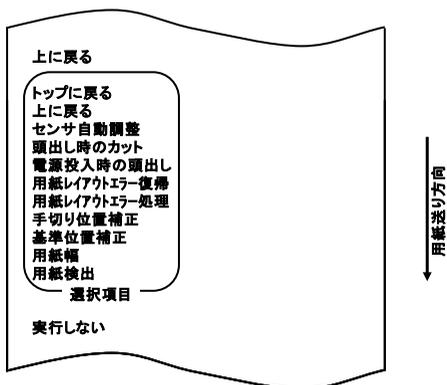
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
 「電源投入時の頭出し」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



7. 項目の選択では、「実行しない」を選びます。  
 FEEDスイッチを短く（1秒以内）押下し、「実行しない」の項  
 まで移動します。



- 次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
 「実行しない」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



8. 項目の選択では、「上に戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「上に戻る」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。

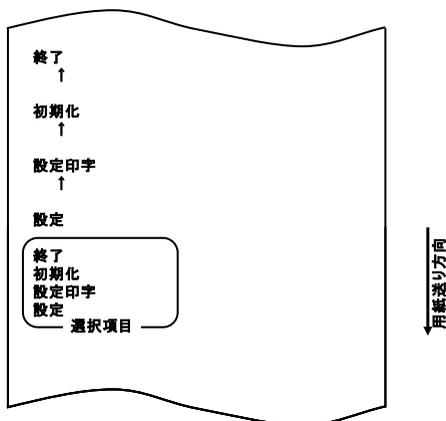


9. 項目の選択では、「トップに戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「トップに戻る」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



10. 項目の選択では、「終了」を選びます。

FEEDスイッチを短く（1秒以内）3回押下し、「終了」の項まで移動します。



次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「終了」選択後に用紙のカットを行ないセットアップモードが終了します。

**△注意：**「終了」を選択せずにプリンタの電源スイッチをオフにした場合、設定は記録されません。

●設定の確認方法

設定の確認は10-1項を参照しテスト印字を行ないます。  
テスト印字では、プリンタの設定一覧印刷を行ないますので、  
設定一覧にて設定内容の確認を行ないます。

## 設定例⑤ プリンタの設定を初期化する。

### 初期化について

初期化では、用紙幅及びセンサ調整値は保持され初期化されません。  
用紙幅を除く用紙レイアウト情報も初期化されます。

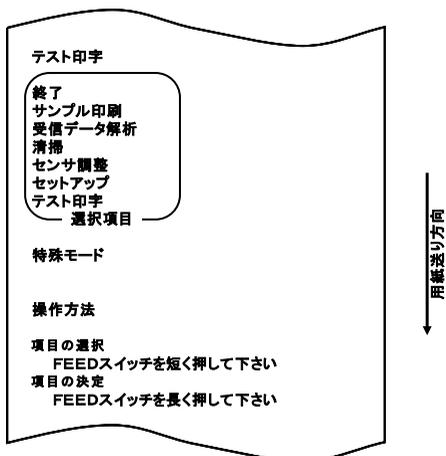
初期化は以下の手順で行ないます。

1. 設定を開始する前にプリンタの状態を確認します。
  - (1) 電源がオフ状態であること。
  - (2) 用紙がセットされていること。
  - (3) カバーが閉まっていること。
2. 特殊モードに入ります。  
トップカバーの左側にある F E E D スイッチを押下しながら右側面にある電源スイッチを入れます。

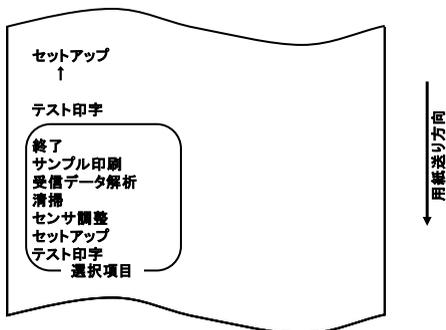
**△注意：**プリンタの印字が開始するまで F E E D スイッチを押下して下さい。

**△注意：**設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、F E E D スイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

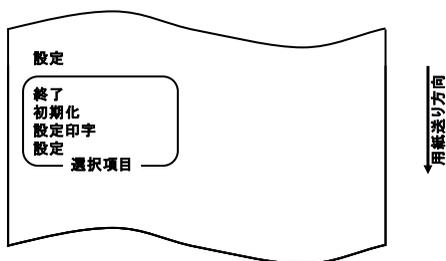
特殊モードに入ると以下の印刷を行ないます。



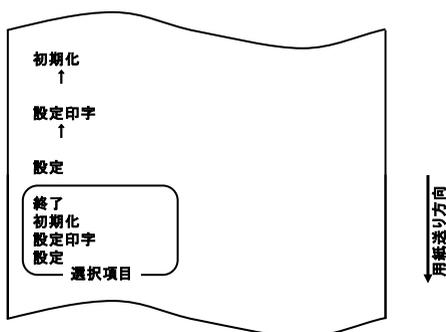
3. 特殊モードからセットアップモードに入ります。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「セットアップ」の項まで移動します。



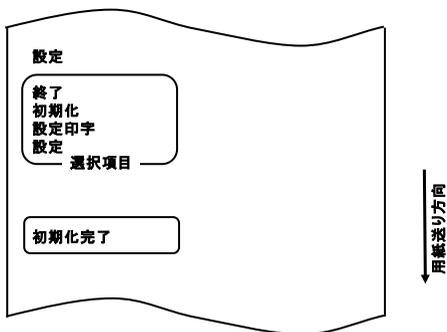
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
セットアップモードに入ると以下の印刷を行います。



4. セットアップモードで「初期化」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）2回押し、「初期化」の項まで移動します。



5. 項目の選択では、「初期化」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
「初期化」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



● 設定の確認方法

設定の確認は10-1項を参照しテスト印字を行いません。  
テスト印字では、プリンタの設定一覧印刷を行いませんので、  
設定一覧にて設定内容の確認を行いません。

## 設定例⑥ Bluetooth 設定を初期化する。

本機能は Bluetooth, USB インタフェースモデルのみにある機能です。

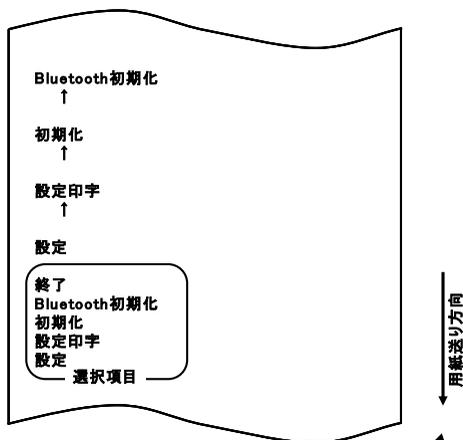
### Bluetooth 初期化について

Bluetooth 初期化では Bluetooth 情報のデバイス名と PIN コードの初期化、登録リンクキーのクリアを行います。

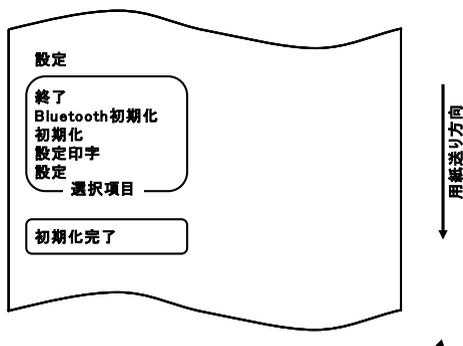
手順については「設定例⑤ プリンタの設定を初期化する。」の 1～3 まで行い、以降の 4 から続きを行ってください。



4. セットアップモードで「Bluetooth 初期化」を選びます。  
F E E Dスイッチを短く（1秒以内）3回押下し、  
「Bluetooth 初期化」の項まで移動します。



5. 項目の選択では、「Bluetooth 初期化」を選びます。  
F E E Dスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「Bluetooth 初期化」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



● 設定の確認方法

設定の確認は 10-1 項を参照しテスト印字を行ないます。  
テスト印字では、プリンタの設定一覧印刷を行ないますので、  
設定一覧にて設定内容の確認を行ないます。

## 設定例⑦ ペーパーニアエンド検出を無効にする。

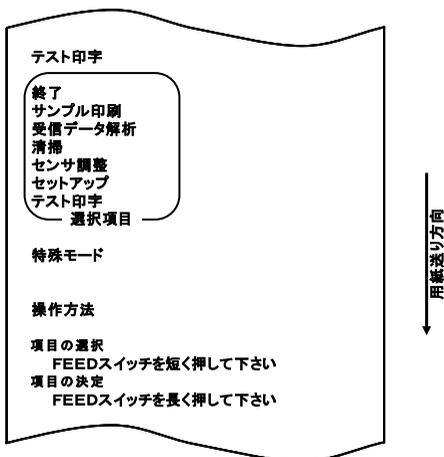
設定の変更は、以下の手順で行ないます。

1. 設定を開始する前にプリンタの状態を確認します。
  - (1) 電源がオフ状態であること。
  - (2) 用紙がセットされていること。
  - (3) カバーが閉まっていること。
2. 特殊モードに入ります。  
トップカバーの左側にある F E E D スイッチを押下しながら右側面にある電源スイッチを入れます。

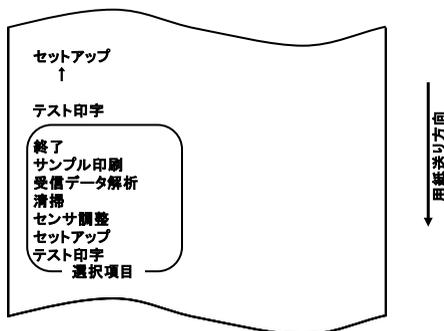
△注意：プリンタの印字が開始するまで F E E D スイッチを押下して下さい。

△注意：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、F E E D スイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

特殊モードに入ると以下の印刷を行ないます。



3. 特殊モードからセットアップモードに入ります。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「セットアップ」の項まで移動します。



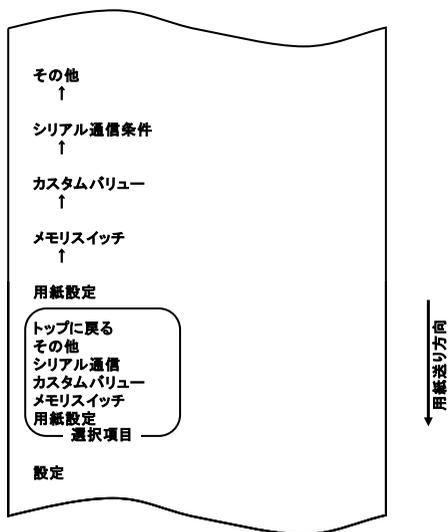
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
セットアップモードに入ると以下の印刷を行ないます。



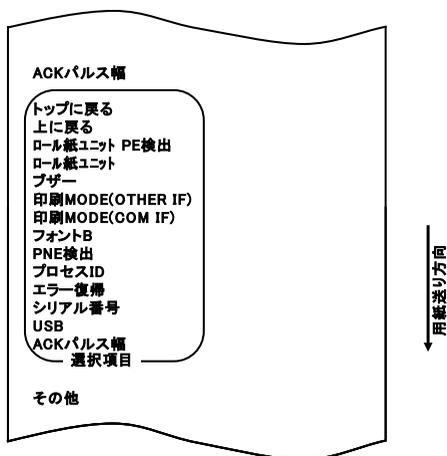
4. セットアップモードでは「設定」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）押し決定します。



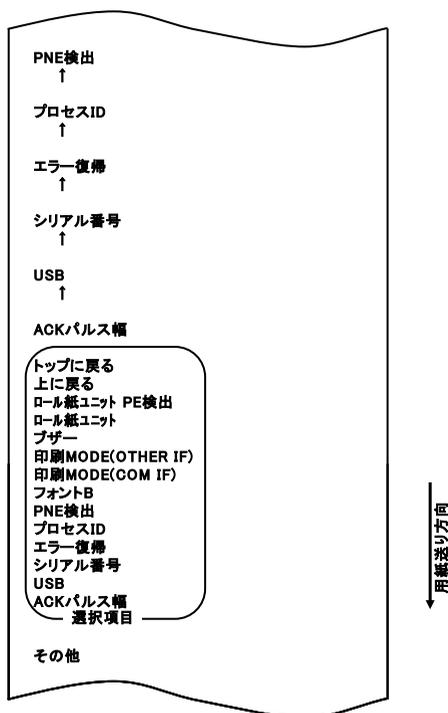
5. 項目の選択では、「その他」を選びます。  
F E E Dスイッチを短く（1秒以内）4回押下し、「その他」の項まで移動します。



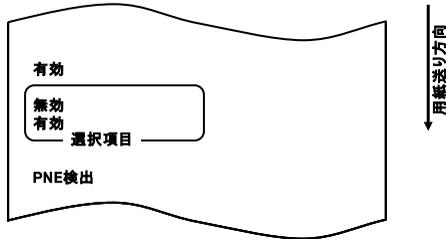
次に FEDD スイッチ を長く (1 秒以上) 1 回 押下し 決定します。  
「その他」 を選んだとき、以下の印刷を行います。



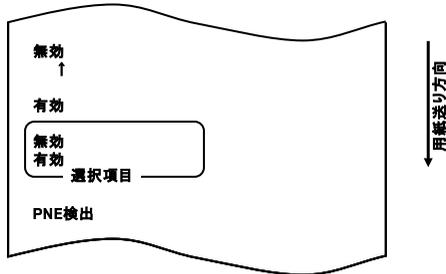
6. 項目の選択では、「PNE検出」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）5回押下し、「PNE検出」の項まで移動します。



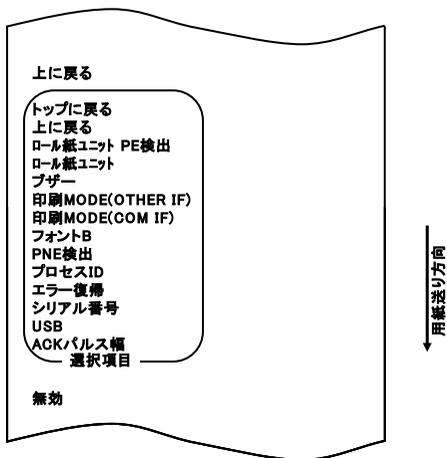
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
「PNE検出」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



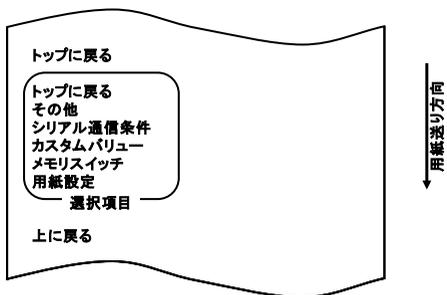
7. 項目の選択では、「無効」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押し、「無効」の項まで移動します。



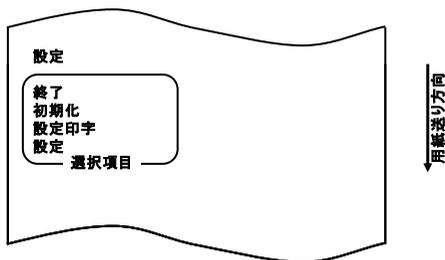
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「無効」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



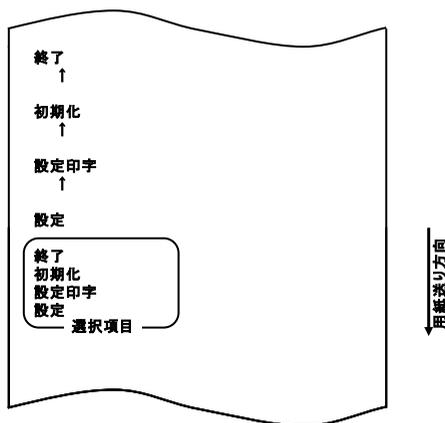
8. 項目の選択では、「上に戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「上に戻る」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



9. 項目の選択では、「トップに戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「トップに戻る」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



10. 項目の選択では、「終了」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）3回押下し、「終了」の項まで移動します。



次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「終了」選択後に用紙のカットを行ないセットアップモードが終了します。

**⚠注意：「終了」を選択せずにプリンタの電源スイッチをオフにした場合、設定は記録されません。**

● **設定の確認方法**

設定の確認は 10-1 項を参照しテスト印字を行ないます。  
テスト印字では、プリンタの設定一覧印刷を行ないますので、  
設定一覧にて設定内容の確認を行ないます。

## 設定例⑧ 用紙幅を変更する。

70mm から 80mmに変更

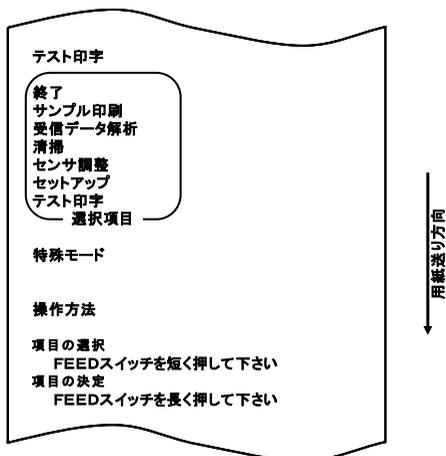
設定の変更は、以下の手順で行ないます。

1. 設定を開始する前にプリンタの状態を確認します。
  - (1) 電源がオフ状態であること。
  - (2) 用紙がセットされていること。
  - (3) カバーが閉まっていること。
2. 特殊モードに入ります。  
トップカバーの左側にあるFEEDスイッチを押下しながら右側面にある電源スイッチを入れます。

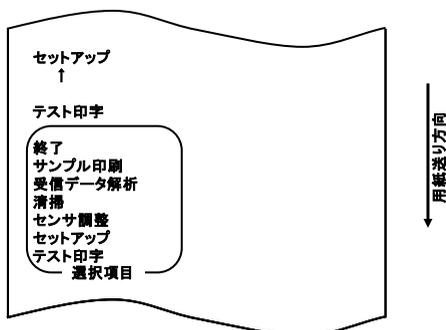
△注意：プリンタの印字が開始するまでFEEDスイッチを押下して下さい。

△注意：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

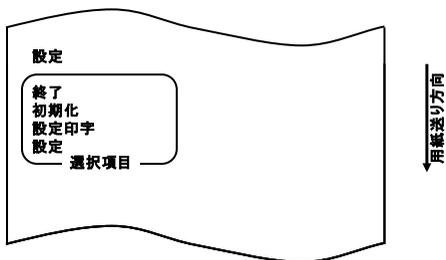
特殊モードに入ると以下の印刷を行ないます。



3. 特殊モードからセットアップモードに入ります。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「セットアップ」の項まで移動します。



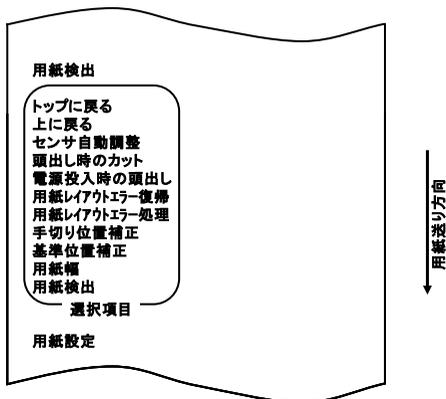
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
セットアップモードに入ると以下の印刷を行ないます。



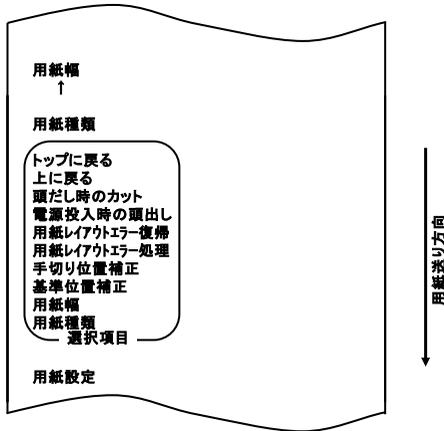
4. セットアップモードでは「設定」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）押下し決定します。



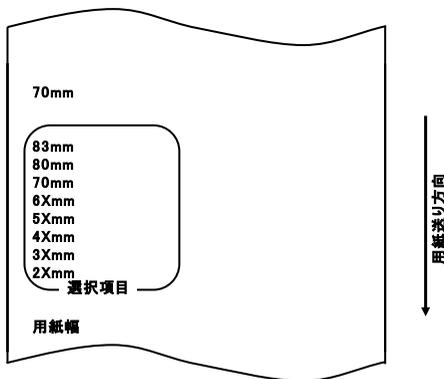
5. 項目の選択では、「用紙設定」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）押下し、「用紙設定」を選択します。



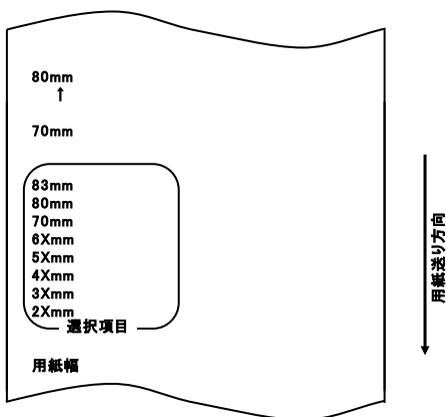
6. 項目の選択では、「用紙幅」を選びます。  
 FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押し、「用紙幅」の項まで移動します。



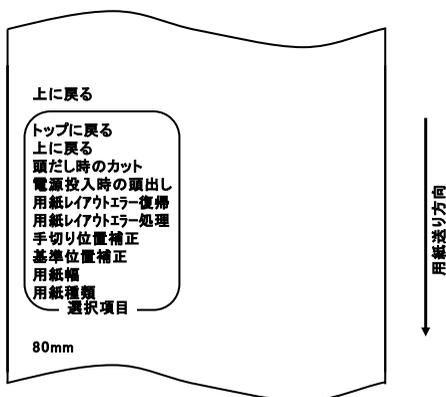
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
 「用紙幅」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



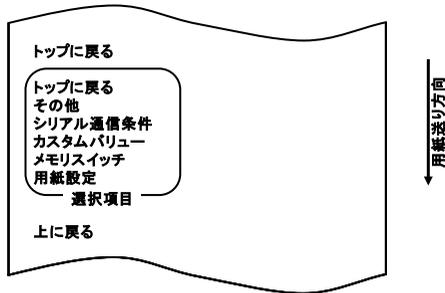
7. 項目の選択では、「80mm」を選びます。  
F E E Dスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「80mm」の項まで移動します。



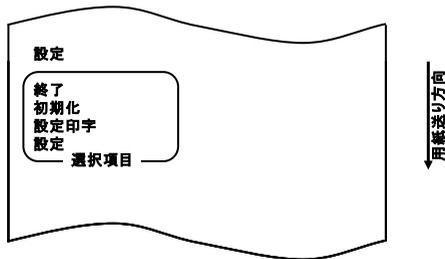
F E E Dスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「80mm」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



8. 項目の選択では、「上に戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「上に戻る」を選んだとき、以下の印刷を行いません。

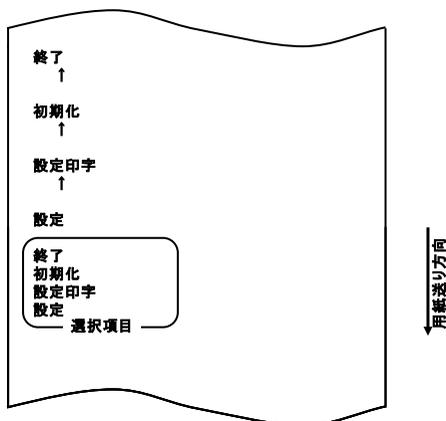


9. 項目の選択では、「トップに戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「トップに戻る」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



10. 項目の選択では、「終了」を選びます。

FEEDスイッチを短く（1秒以内）3回押下し、「終了」の項まで移動します。



次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「終了」選択後に用紙のカットを行ないセットアップモードが終了します。

**△注意：**「終了」を選択せずにプリンタの電源スイッチをオフにした場合、設定は記録されません。

#### ●設定の確認方法

設定の確認は10-1項を参照しテスト印字を行ないます。  
テスト印字では、プリンタの設定一覧印刷を行ないますので、  
設定一覧にて設定内容の確認を行ないます。

**設定例⑨ 一括印刷の設定に変更する。**

**印刷 MODE (OTHER IF) を一括印刷に変更**

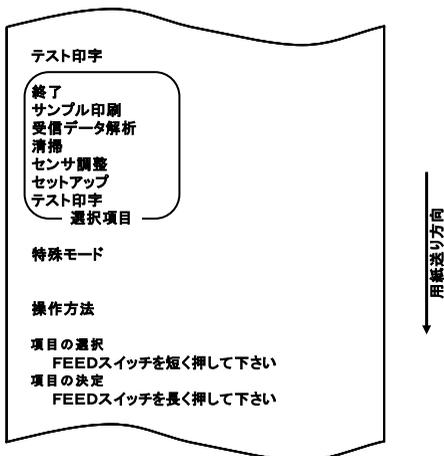
**設定の変更は、以下の手順で行ないます。**

1. 設定を開始する前にプリンタの状態を確認します。
  - (1) 電源がオフ状態であること。
  - (2) 用紙がセットされていること。
  - (3) カバーが閉まっていること。
  
2. 特殊モードに入ります。  
トップカバーの左側にある F E E D スイッチを押下しながら右側面にある電源スイッチを入れます。

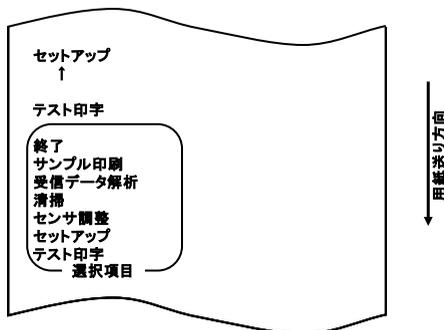
**△注意：プリンタの印字が開始するまで F E E D スイッチを押下して下さい。**

**△注意：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、F E E D スイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。**

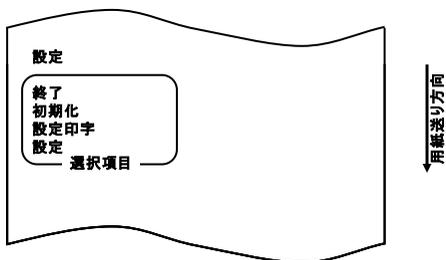
特殊モードに入ると以下の印刷を行ないます。



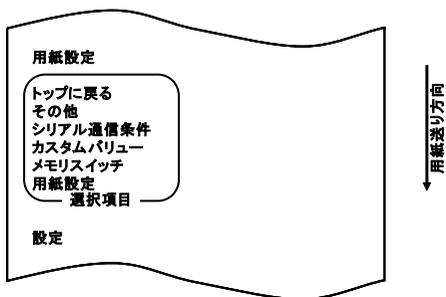
3. 特殊モードからセットアップモードに入ります。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「セットアップ」の項まで移動します。



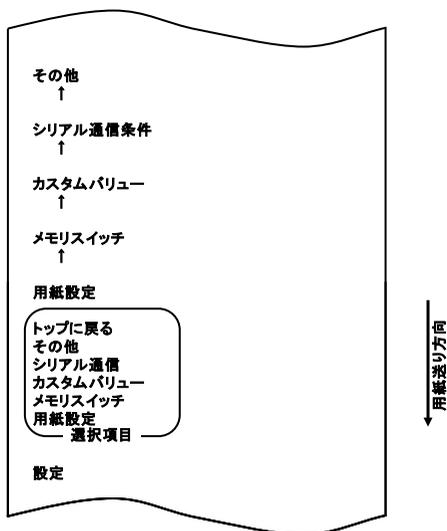
次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
セットアップモードに入ると以下の印刷を行ないます。



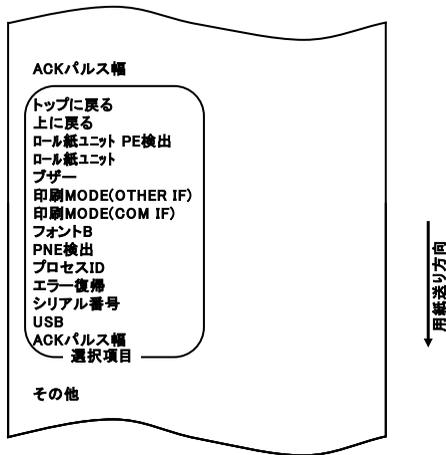
4. セットアップモードでは「設定」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）押し決定します。



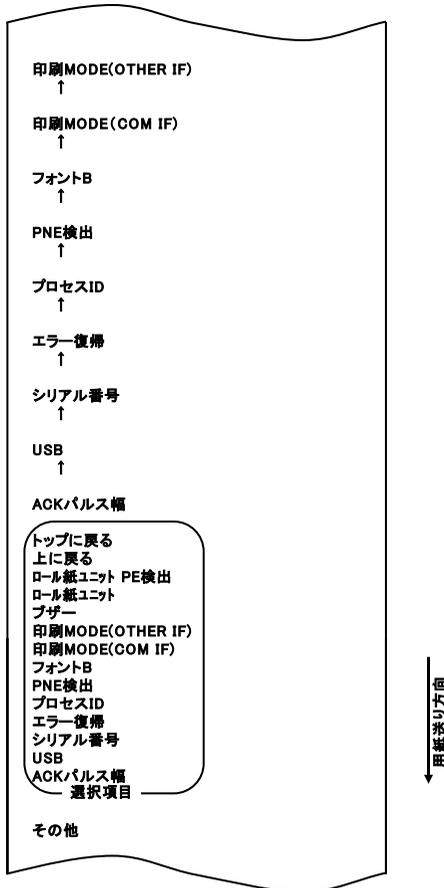
5. 項目の選択では、「その他」を選びます。  
F E E Dスイッチを短く（1秒以内）4回押下し、「その他」の項まで移動します。



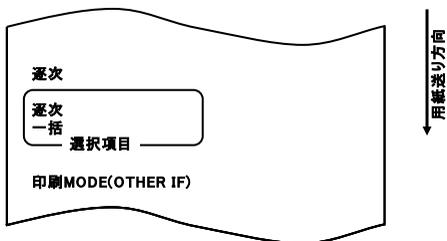
次に FEDD スイッチ を長く (1 秒以上) 1 回 押下し 決定 します。  
「その他」を選んだとき、以下の印刷を行います。



6. 項目の選択では、「印刷 MODE (OTHER IF)」を選びます。  
 F E E Dスイッチを短く（1秒以内）8回押下し、「印刷 MODE (OTHER IF)」の項まで移動します。



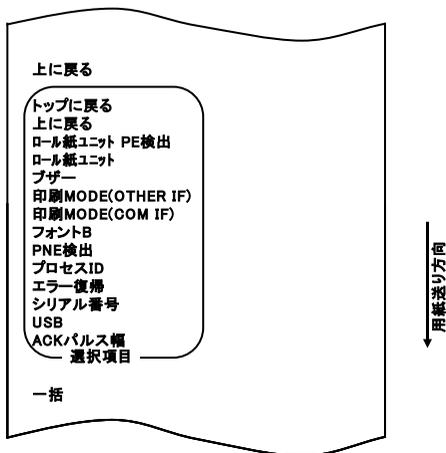
F E E Dスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
「印刷MODE(OTHER IF)」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



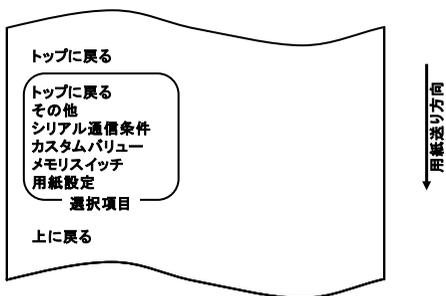
7. 項目の選択では、「一括」を選びます。  
F E E Dスイッチを短く（1秒以内）1回押し、「一括」の項まで移動します。



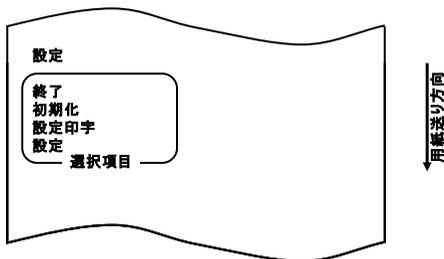
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「一括」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



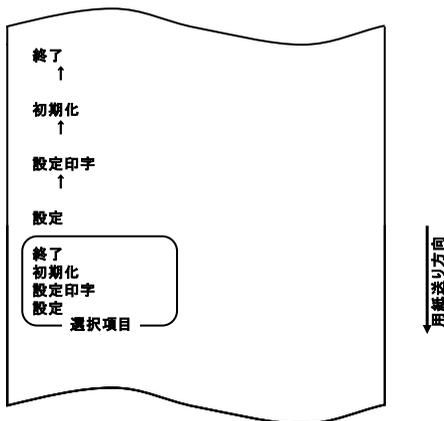
8. 項目の選択では、「上に戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「上に戻る」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



9. 項目の選択では、「トップに戻る」を選びます。  
FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「トップに戻る」を選んだとき、以下の印刷を行いません。



10. 項目の選択では、「終了」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）3回押下し、「終了」の項まで移動します。



次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。  
「終了」選択後に用紙のカットを行ないセットアップモードが終了します。

**⚠注意：「終了」を選択せずにプリンタの電源スイッチをオフにした場合、設定は記録されません。**

● **設定の確認方法**

設定の確認は 10-1 項を参照しテスト印字を行ないます。  
テスト印字では、プリンタの設定一覧印刷を行ないますので、  
設定一覧にて設定内容の確認を行ないます。

### 10-3. 設定項目

#### 設定グループ項目一覧

項	設定グループ項目	内容
1	用紙設定	用紙に関する設定を行います
2	メモリスイッチ	メモリスイッチに関する設定を行いません
3	カスタマイズバリュー	カスタマイズバリューに関する設定を行いません
4	シリアルインタフェースの通信条件	シリアルインタフェースの通信条件に関する設定を行いません
5	その他	その他の設定を行いません
6	トップに戻る	セットアップモードメニューに戻ります

## 設定項目、詳細設定項目

### (1) 用紙設定の設定項目

項	設定項目	内 容	詳細設定項目
1	用紙検出	用紙レウアウトの自動設定時の用紙検出 設定 - 複数の種類の異なる用紙をご使用になる場合は、自動を推奨します。	自動 ダクタイル紙 ブラックマーク紙 普通紙 (全面ラベル含)
2	用紙幅	使用する用紙幅の指定	2x mm 3x mm 4x mm 5x mm 6x mm 70 mm 80 mm 83 mm
		2 X mmが選択されたとき	26mm ～ 29mm
		3 X mmが選択されたとき	30mm ～ 39mm
		4 X mmが選択されたとき	40mm ～ 49mm
		5 X mmが選択されたとき	50mm ～ 59mm
		6 X mmが選択されたとき	60mm ～ 69mm

項	設定項目	内 容	詳細設定項目
3	基準位置補正	頭出し位置、カット位置、剥離位置、手切り位置を一律補正する値の指定	-5.0 mm -4. X mm -3. X mm -2. X mm -1. X mm -0. X mm 0.0 mm +0. X mm +1. X mm +2. X mm +3. X mm +4. X mm +5.0 mm
		-4. Xmmが選択されたとき	-4.0 mm ～ -4.9 mm
		-3. Xmmが選択されたとき	-3.0 mm ～ -3.9 mm
		-2. Xmmが選択されたとき	-2.0 mm ～ -2.9 mm
		-1. Xmmが選択されたとき	-1.0 mm ～ -1.9 mm
		-0. Xmmが選択されたとき	-0.1 mm ～ -0.9 mm
		+0. Xmmが選択されたとき	+0.1 mm ～ +0.9 mm
		+1. Xmmが選択されたとき	+1.0 mm ～ +1.9 mm
		+2. Xmmが選択されたとき	+2.0 mm ～ +2.9 mm
		+3. Xmmが選択されたとき	+3.0 mm ～ +3.9 mm
		+4. Xmmが選択されたとき	+4.0 mm ～ +4.9 mm

項	設定項目	内 容	詳細設定項目
4	手切り位置補正	手切り位置を補正する値の指定	-5.0 mm -4. X mm -3. X mm -2. X mm -1. X mm -0. X mm 0. 0 mm +0. X mm +1. X mm +2. X mm +3. X mm +4. X mm +5. 0 mm
		- 4. Xmmが選択されたとき	-4. 0 mm ~ -4. 9 mm
		- 3. Xmmが選択されたとき	-3. 0 mm ~ -3. 9 mm
		- 2. Xmmが選択されたとき	-2. 0 mm ~ -2. 9 mm
		- 1. Xmmが選択されたとき	-10 mm ~ -1. 9 mm
		- 0. Xmmが選択されたとき	-0. 1 mm ~ -0. 9 mm
		+ 0. Xmmが選択されたとき	+0. 1 mm ~ +0. 9 mm
		+ 1. Xmmが選択されたとき	+1. 0 mm ~ +1. 9 mm
		+ 2. Xmmが選択されたとき	+2. 0 mm ~ +2. 9 mm
		+ 3. Xmmが選択されたとき	+3. 0 mm ~ +3. 9 mm
		+ 4. Xmmが選択されたとき	+4. 0 mm ~ +4. 9 mm

項	設定項目	内 容	詳細設定項目
5	用紙レイアウトエラー処理	用紙レイアウトエラー発生時の処理指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>- メモリ内に記憶されている用紙レイアウトエラーをクリアするか指定します</li> <li>- 同じ用紙を継続してご使用になる場合は、用紙レイアウトクリアしない設定を推奨します。</li> <li>- 複数の種類の異なる用紙をご使用になる場合は、用紙レイアウトクリアする設定を推奨します。</li> </ul>	用紙レイアウトクリアしない 用紙レイアウトクリアする
6	用紙レイアウトエラー復帰	用紙レイアウトエラーの復帰条件を指定します <ul style="list-style-type: none"> <li>- コマンド設定とした場合、用紙レイアウトエラー発生時、受信バッファフル等によりコマンド送信できない場合があるため、コマンド/カバークローズ設定での使用を推奨します。</li> </ul>	コマンド <sup>*</sup> /カバークローズ コマンド <sup>*</sup>
7	電源投入時の頭出し	電源投入時の用紙を頭出しの指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 実行しない設定とすると、電源投入時、頭出し位置で停止していない場合、印刷位置ずれや、用紙レイアウトエラーを検出する場合があります。</li> </ul>	実行する 実行しない
8	頭出し時のカット	頭出し時のカットの指定 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 実行する設定としたとき、電源投入時、リセット時、カバークローズ時、フィードキー押下による頭出し時にカットを行います。コマンドによる頭出し時にはカットを行いません</li> </ul>	実行する 実行しない
9	センサ自動調整	用紙レイアウト自動設定時、ラベルセンサ及びブラックマークセンサの自動調整の指定	有効 無効
10	上に戻る	設定グループ項目の選択モードに戻ります	—
11	トップに戻る	セットアップモードメニューに戻ります	—

## (2) メモリスイッチの設定項目

項	設定項目	内容	詳細設定項目
1	電源 ON 通知	・電源 ON 通知指定	送信する 送信しない
2	受信バッファ	・受信バッファサイズの指定	45 バイト 4K バイト
3	BUSY 条件	・プリンタ BUSY 条件の指定	バッファフル オフライン/バッファフル
4	受信エラー処理 ※1	・受信エラーが発生した時の処理指定 (シリアルインタフェースのみ有効)	無視 ? 印字
5	自動改行	・CR コードによる自動改行の指定 (パラレル/USB:プリンタクラスのみ有効)	常時有効 常時無効
6	DSR (#6) リセット ※1	・DSR (#6) 信号によるリセットの指定 (シリアルインタフェースのみ有効)	有効 無効
7	INIT (#25) リセット ※1	・INIT (#25) 信号によるリセットの信号 (シリアルインタフェースのみ有効)	有効 無効
8	INIT (#31) リセット ※1	・INIT (#31) 信号によるリセットの信号 (パラレルインタフェースのみ有効)	有効 無効
9	カバーオープン	・印字中のカバーオープンエラー復帰方法指定	自動復帰エラー 復帰可能エラー
10	上に戻る	・設定グループ項目の選択モードに戻ります	—
11	トップに戻る	・セットアップモードメニューに戻ります	—

※1 Bluetooth, USB インタフェースモデルの場合表示されません。

### (3) カスタマイズバリュウの設定項目設定

項	設定項目	内 容	詳細設定項目
1	ユーザ NV メリ	・ユーザ NV メリのサイズ指定	1K バイト 64K バイト 128K バイト 192K バイト
2	グラフィックメリ	・NV グラフィックメリのサイズ指定	なし 64K バイト 128K バイト 192K バイト 256K バイト 320K バイト 384K バイト
3	印字色	・印字色の指定	単色 2 色
4	印字濃度	・印字濃度の指定	70% 75% 80% 85% 90% 95% 100% 105% 110% 115% 120% 125% 130% ※ 70%は薄い 130%は濃い
5	2 色時の黒濃度	・印字色が「2 色」指定時の黒濃度指定	70% 75% 80% 85% 90% 95% 100% 105% 110% 115% 120% 125% 130% ※ 70%は薄い 130%は濃い
6	印刷速度	・印刷速度指定(最大速度) 1:60mm/S 2: 80mm/S 3:100mm/S 4:120mm/S 5:140mm/S 6:160mm/S 7:180mm/S 8:220mm/S 9:260mm/S	1 2 3 4 5 6 7 8 9 ※ 1: 60mm/s は遅い 9:260mm/s は速い
7	低消費電力	・消費電力を低減する設定 モード 1: 指定されている濃度の 80%で印字 モード 2: ストロボ 分割数を変更	標準 モード 1 (約 10%低減) モード 2 (約 30%低減)
8	上に戻る	・設定グループ 項目の選択モードに戻ります	—
9	トップに戻る	・セットアップモードメニューに戻ります	—

#### (4) シリアルインタフェースの通信条件の設定項目

項	設定項目	内 容	詳細設定項目
1	ボーレート	・ ボーレートの指定	2400BPS 4800BPS 9600BPS 19200BPS 38400BPS 57600BPS 115200BPS
2	フォーマット	・ データフォーマットの指定	7EVEN1 / 7ODD1 8NONE1 / 8EVEN1 8ODD1
3	プロトコル	・ バッファ制御プロトコルの指定	XON/XOFF DSR/DTR
4	上に戻る	・ 設定グループ項目の選択モードに戻ります	—
5	トップに戻る	・ セットアップモードメニューに戻ります	—

(注意) 本グループは Bluetooth, USB インタフェースモデルの場合表示されません。

(5) その他の設定項目

項	設定項目	内容	詳細設定項目
1	ACK パルス幅 ※2	・ ACK のパルス幅の指定	1 $\mu$ s 8 $\mu$ s
2	USB	・ USB の動作指定	仮想 COM プリンタ
3	シリアル番号	・ USB 時の Serial Number 通知動作指定 通常は「有効」を指定してください。	有効 無効
4	エラー復帰	・ 電源 ON 時およびエラー復帰時の動作指定 「自動」：Windows ドライバで使用時 「コマンド」：OPOS ドライバで使用時	自動 コマンド
5	プロセス ID	・ プロセス ID の設定 「標準」：印字完了でプロトコル ID を応答する。 「高速」：データ受信の完了でプロトコル ID を 応答する。	標準 高速
6	PNE 検出	・ 用紙ニアエンド通知の指定	有効 無効
7	フォント B	・ フォント B の設定 「モード 1」：標準仕様 「モード 2」：FP-310 互換仕様	モード 1 モード 2
8	印刷 MODE (COM IF) または 印刷 MODE (BT IF) ※3	・ シリアル/Bluetooth インタフェース における印刷モード指定	一括 逐次
9	印刷 MODE (OTHER IF) または 印刷 MODE (USB IF) ※3	・ パラレル/USB/LAN インタフェース における印刷モード指定	一括 逐次
10	ブザー	・ エラー発生時のブザーの鳴動を指定 「無効」指定時でもコマンドによる鳴動は 有効。 ※ブザー搭載仕様のみ有効	無効 有効

※2 Bluetooth, USB インタフェースモデルの場合表示されません。

※3 Bluetooth, USB インタフェースモデルの場合の表示です。

項	設定項目	内 容	詳細設定項目
11	ロール紙ユニット	・大径ロール紙ユニット(オプション)の搭載指定	未搭載 搭載
12	ロール紙ユニット PE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大径ロール紙ユニット搭載時の用紙無しを検出するセンサを選択します。</li> <li>・PE: ペーパーエンドセンサで用紙なしを検出したとき、ペーパーエンドにします。</li> <li>・PNE: ペーパーニアエンドセンサで用紙なしを検出したとき、ペーパーエンドにします。</li> </ul> <p>※本設定は、普通紙(全面ラベル)の場合に有効。</p>	PE PNE
13	BT 自動再接続 (iOS) ※ 4	Bluetooth インタフェースにおいて、iOS 搭載の上位側とプリンタの接続が切れた場合にプリンタ側から自動的に再接続を行う機能の有効/無効の指定	無効 有効
14	上に戻る	・設定グループ 項目の選択モードに戻ります。	—
15	トップに戻る	・セットアップモードメニューに戻ります。	—

※ 4 Bluetooth, USB インタフェースモデルの場合のみ表示します。  
自動再接続の詳細は、「12-5. Bluetooth インタフェース」参照。

## 10-4. センサ調整

### 10-4-1. センサ調整モード

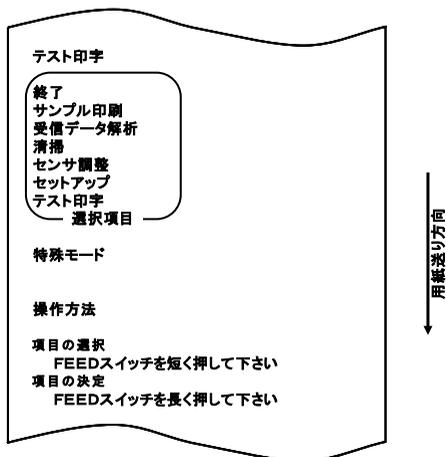
1. 調整を開始する前にプリンタの状態を確認します。
  - (1) 電源がオフ状態であること。
  - (2) 用紙がセットされていること。
  - (3) カバーが閉まっていること。
  
2. 特殊モードに入ります。

トップカバーの左側にある F E E D スイッチを押下しながら右側面にある電源スイッチを入れます。

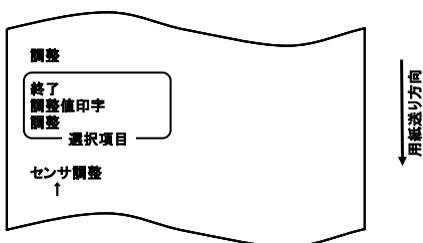
**△注意**：プリンタの印字が開始するまで F E E D スイッチを押下して下さい。

**△注意**：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、F E E D スイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

特殊モードに入ると以下の印刷を行ないます。

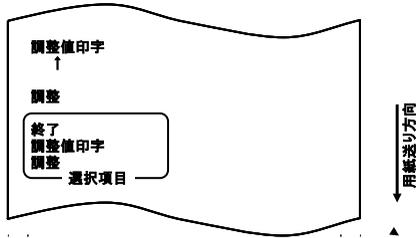


- 1) FEEDスイッチを短く（約1秒）2回押下して、《センサ調整》項目の印字のところでFEEDスイッチを長く（約1秒）押下するとセンサ調整に入ります。



## ■項目の選択方法

- 1) FEED スイッチを短く押下し離すと、次の項目が印字されます。



- 2) 印字は、《調整》⇒《調整値印字》⇒《終了》⇒《調整》・・・のように繰り返します。

## ■項目の決定方法

- 1) FEED スイッチを長く（約 1 秒）押下すると現在一番上に印字されている項目を選択決定します。
- 2) 決定すると、選択した項目の処理へ移行します。

## ■終了

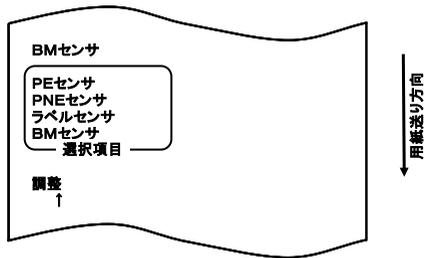
- 1) 《終了》項目の印字のところで FEED スイッチを長く（約 1 秒）押下するとセンサ調整終了になります。
- 2) 通常モードに移行します。

## ■調整値印字

- 1) 《調整値印字》項目の印字のところで FEED スイッチを長く（約 1 秒）押下すると設定印字を行います。
- 2) 現在の設定内容を全て印字します。
- 3) 設定内容を印字後、センサ調整の開始状態に戻ります。

## ■調整

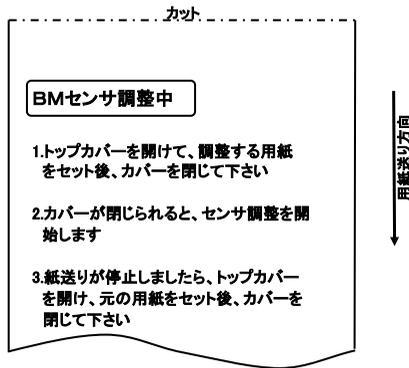
- 1) 《調整》項目の印字のところで FEED スイッチを長く（約 1 秒）押下すると調整メニューの印字を行います。
  - a. 項目の印字を行います。



- 2) 印字は、《BMセンサ》⇒《ラベルセンサ》⇒《PNEセンサ》⇒《PEセンサ》⇒《BMセンサ》・・・のように繰り返します。

## 10-4-2. ブラックマーク（BM）センサ調整

- 1) 《BMセンサ》項目の印字のところで FEED スイッチを長く（約 1 秒）押下すると BM センサ調整となります。
- 2) BM センサ調整に入ると以下の印字をしてカットします。



- 3) トップカバーを開け、調整する用紙をセットしトップカバーを閉じると、用紙送りを開始します。

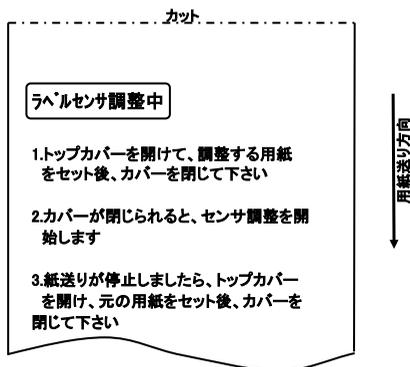
- 4) 下記状態のとき、調整を終了します。
  - a. カバーが開かれた
  - b. 用紙無しが発生した
  - c. 調整が完了した
- 5) 用紙送りが停止したあと、元用の紙を再セットすると、調整結果を印刷します。



- 6) 調整結果をメモリへ書き込み、センサ調整の開始状態に戻ります。
- 7) 調整に失敗した場合は、「調整に失敗しました」を印刷し、センサ調整の開始状態に戻ります。

### 10-4-3. ラベルセンサ調整

- 1) 《ラベルセンサ》項目の印字のところで FEED スイッチを長く（約 1 秒）押下するとラベルセンサ調整となります。
- 2) ラベルセンサ調整に入ると以下の印字をしてカットします。



- 3) トップカバーを開け、調整する用紙をセットしトップカバーを閉じると、用紙送りを開始します。

**△注意：**“3-4-3. ダイカットラベル紙の条件”に記載されている条件を満たさない用紙では、誤調整になるため使用できません。

- 4) 下記状態のとき、調整を終了します。
  - a. カバーが開かれた
  - b. 用紙無しが発生した
  - c. 調整が完了した

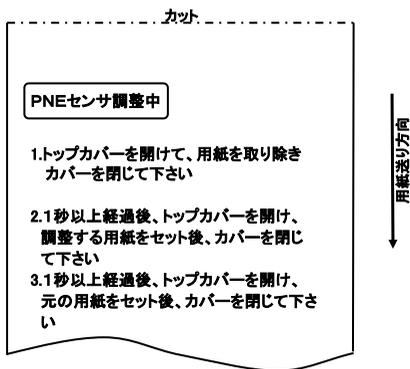
- 5) 用紙送りが停止したあと、元の用紙を再セットすると、調整結果を印刷します。



- 6) 調整結果をメモリへ書き込み、センサ調整の開始状態に戻ります。
- 7) 調整に失敗した場合は、「調整に失敗しました」を印刷し、センサ調整の開始状態に戻ります。

#### 10-4-4. ペーパーニアエンド（PNE）センサ調整

- 1) 《PNEセンサ》項目の印字のところでFEEDスイッチを長く（約1秒）押下するとPNEセンサ調整となります。
- 2) PNEセンサ調整に入ると以下の印字をしてカットします。



- 3) トップカバーを開けて、用紙を取り除いてトップカバーを閉じてください。
- 4) トップカバーを閉じてから1秒以上経過した後、トップカバーを開けて調整する用紙をセットして、トップカバーを閉じてください。
- 5) 下記状態のとき、調整を終了します。
  - a. 調整が完了した

- 6) 調整が終了したあと、元用の紙を再セットすると、調整結果を印刷します。

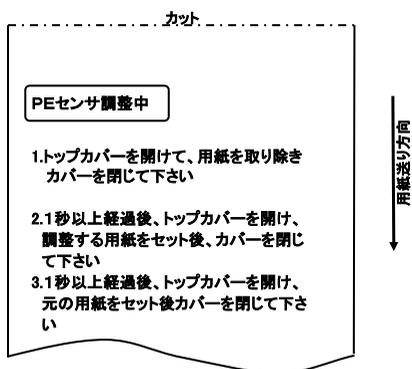


- 7) 調整結果をメモリへ書き込み、センサ調整の開始状態に戻ります。
- 8) 調整に失敗した場合は、「調整に失敗しました」を印刷し、センサ調整の開始状態に戻ります。

## 10-4-5. ペーパーエンド（PE）センサ調整

**△注意：**普通紙（全面ラベル紙を含む）やブラックマーク紙を使用する場合には、PEセンサ調整を行う必要はありません。

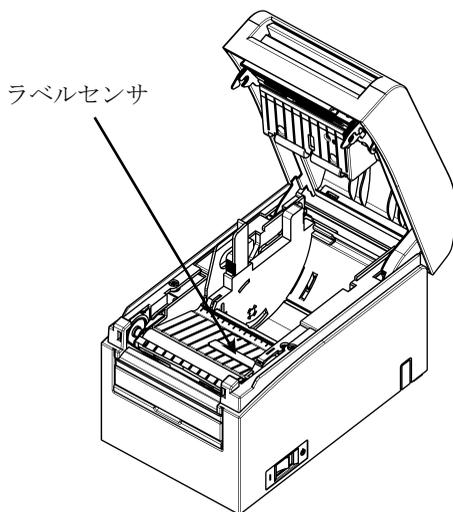
- 1) 《PEセンサ》項目の印字のところでFEEDスイッチを長く（約1秒）押下するとPEセンサ調整となります。
- 2) PEセンサ調整に入ると以下の印字をしてカットします。



- 3) トップカバーを開けて、用紙を取り除いてトップカバーを閉じてください。

- 4) トップカバーを閉じてから1秒以上経過後、トップカバーを開けて調整する用紙をセットして、トップカバーを閉じてください。

**△注意：**ダイカットラベル紙をセットする場合は、台紙からラベルを剥がし、剥がした部分をラベルセンサの対向位置に合わせ、カバーを閉じて下さい。



- 5) 下記状態のとき、調整を終了します。
  - a. 調整が完了した
- 6) 調整が終了したあと、元用の紙を再セットすると、調整結果を印刷します。



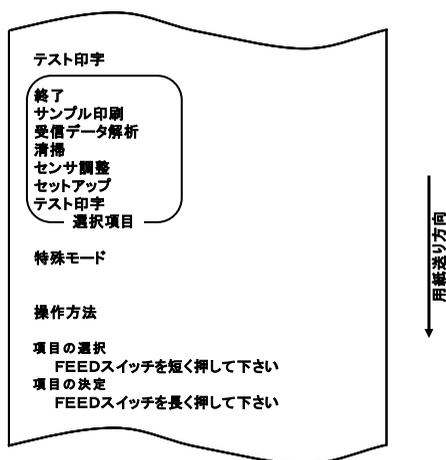
- 7) 調整結果をメモリへ書き込み、センサ調整の開始状態に戻ります。
- 8) 調整に失敗した場合は、「調整に失敗しました」を印刷し、センサ調整の開始状態に戻ります。

## 10-5. 受信データ解析

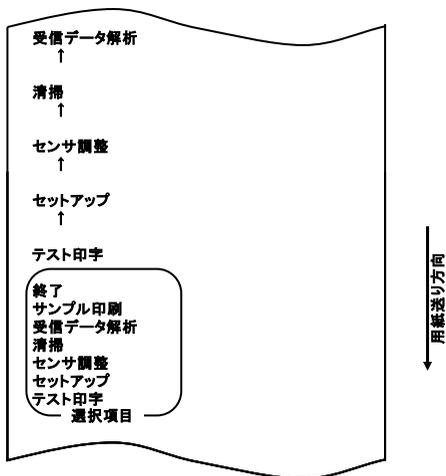
プリンタの電源スイッチを一度OFFにし、用紙をセットした状態で操作パネルのFEEDスイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにすると以下の印字を行います。

**△注意：**設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

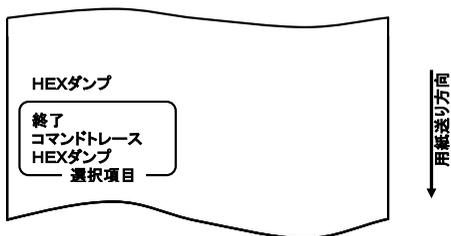
特殊モードに入ると以下の印刷を行います。



特殊モードから受信データ解析モードに入ります。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）4回押し、「受信データ解析」の  
項まで移動します。



「受信データ解析」項目の印字の所でFEEDスイッチを長く（1秒以上）  
押し下ると受信データ解析モードになります。



受信データ解析には、以下の2種類があります。

- ・HEXダンプモード
- ・コマンドトレースモード

※Bluetooth, USB インタフェースモデルではコマンドトレースモードをサポートしていません。

### 1. HEXダンプモード

FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。

ホストコンピュータからプリンタへ送られる全ての受信データを16進コードで印字するので、作成したプログラムでプリンタに送っているコントロールコードが正しいかどうか調べることができます。

このモードを解除する時には電源スイッチを一度OFFにしてください。

### HEXダンプ印字内容（例）

HEX DUMP PRINTING																
00000	1B	40	1B	63	30	02	1B	45	.	@.	c0.	E				
00008	01	41	42	43	44	45	46	47	.	A	B	C	D	E	F	G
00010	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	H	I	J	K	L	M	N	O
7F			16進数						ASCII							

## 2. コマンドトレースモード

FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下して、FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押下し決定します。

ホストコンピュータからプリンタへ送られる全ての受信データをコマンド名で印字するので、作成したプログラムでプリンタに送っているコントロールコードが正しいかどうか調べることができます。

このモードを解除する時には電源スイッチを一度OFFにしてください。

### コマンドトレース印字内容（例）

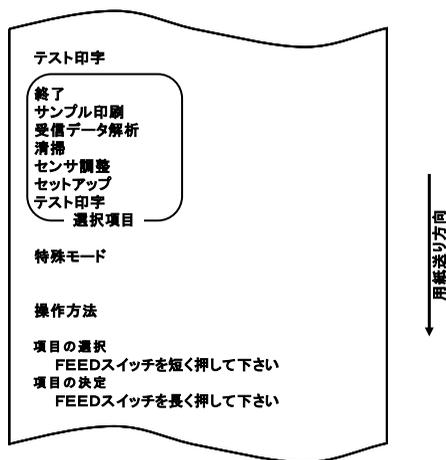
```
COMMAND TRACE
<1B40>:Initialize printer (ESC @)>
<1B4D02>:Set ANK font G (ESC M n)>
<1B74B0>:Set character code table (ESC t n)>
<1D4200>:Disable reverse printing (GS R n)>
<1B6102>:Set justification RIGHT (ESC a n)>
<1028>:Set kanji mode (FS &)>
富士通
<102E>:Reset kanji mode (FS J)>
ISOTEK
<0A>:Print and line feed (LF)>
```

## 10-6. サンプル印刷

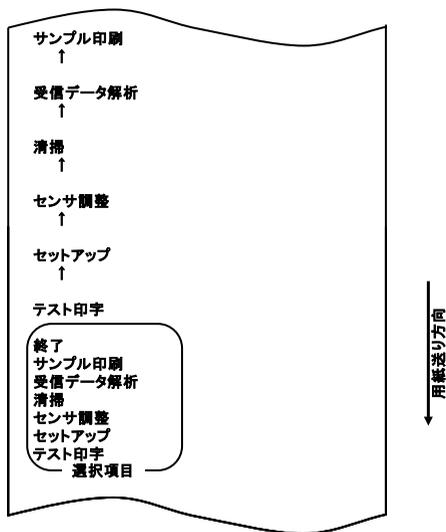
プリンタの電源スイッチを一度OFFにし、用紙をセットした状態で操作パネルのFEEDスイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにすると以下の印字を行います。

**△注意**：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

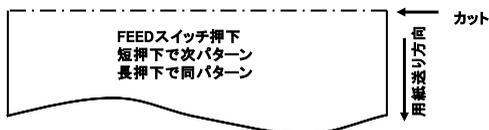
特殊モードに入ると以下の印刷を行います。



特殊モードから受信データ解析モードに入ります。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）5回押し、「サンプル印刷」の項  
まで移動します。



「サンプル印刷」項目の印字の所で F E E Dスイッチを長く（1秒以上）押下すると以下の印刷を行ってから、サンプル印刷を開始します。



印刷後、F E E Dスイッチを短く（1秒未満）押下すると、次のサンプルパターンを印刷します。

※、“ラベル1” ⇒ “ラベル2” ⇒ “ラベル3” ⇒ “ラベル4” ⇒ “ラベル5” ⇒ “ラベル1” をスイッチ押下毎に印刷します。

印刷後、F E E Dスイッチを長く（1秒以上）押下すると、同じサンプルパターンを印刷します。

サンプル印刷モードを解除する時には、電源スイッチをOFFにしてください。

サンプル印刷は、1シート毎にカット動作を行いません。

サンプル印刷は、セットアップの用紙幅設定によらず、“80mm/48桁”固定で印刷します。

復帰可能エラーからの復帰時には、サンプル印刷が継続されます。

サンプル印刷の印刷結果は次ページを参照願います。

<サンプル印刷の印刷結果>

ラベル 1

■ 血算値 2ml	緊
20xx.xx.xx 循環器科	
アジウ タロウ	男
富士通 太郎	
	
<small>a 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 a</small>	
ID: 1234567890	012345-1

ラベル 2

【品 称】	茄子とツナのトマトソースパスタ
【原材料名】	茄子、ツナ、パスタ、トマト、 パスタ、コンソメ、にんにく、 唐辛子、塩、ゴマ、 オリーブオイル
【製造日】	20XX年XX月XX日
【消費期限】	20XX年XX月XX日 XX:XX
【製造者】	FIT食品株式会社 〒950-0805 福島県伊達市保原町東野崎135
	
<small>1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3</small>	
お早めにお召し上がり下さい。	

ラベル 3

搬出日: 20XX.XX.XX タミ集約日: 20XX.XX.XX お届け先: 20XX.XX.XX

**01長 → 03昼 → 05 J72**

お届先 富士通アイソテック 数量 1/1  
住所 福島県伊達市保原町東野崎135

型 名 FP-32L 仕様 KA02051-DXXX  
オーダー No. C99999 注文 M99999  
出荷番号 AB1234 出荷案内番号 F99996



ラベル 4

No. 001234

**FIT Solution Forum**

入場券

● サーマルプリンタシステムソリューション

主 催 : 富士通アイソテック株式会社

開催日: 20XX年XX月XX日 14時00分  
場所 : FITアリーナ



左下  
から

ラベル5

\*\*\*\* バーコード \*\*\*\*

UPC-A  
  
4 9 3 3 5 2 4 1 0 0 0 7

UPC-E  
  
9 3 3 5 2 1

EAN8 (JAN8)  
  
4 9 3 3 5 2 4 8

EAN13 (JAN13)  
  
4 9 3 3 5 2 4 1 0 0 0 9 0

Codabar(NM-7)  
  
a 1 2 3 4 5 a

ITF  
  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

Code39  
  
\* A B 1 2 3 4 5 \*

Code93  
  
0 A B 1 2 3 4 5 0

Code128  
  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

\*\*\*\* GS1-DataBar (RSS) \*\*\*\*

RSS-14  
  
0101234567890128

RSS-14 Truncated  
  
0101234567890128

RSS-14 Stacked  


RSS-14 Stacked Omnidirectional  


RSS-14 Limited  
  
0101234567890128

RSS-14 Expanded  
  
01234567890123456789012345678901234567890

RSS-14 Expanded Stacked  


\*\*\*\* 2次元コード \*\*\*\*

QRcode  


PDF417  


DataMatrix  


Maxi Code  


右上  
∨

## 11. 定期清掃

紙粉やほこり等により、印字した文字が部分的に出なくなることがあります。これらを予防除去するために、用紙走行部、プラテンローラ、サーマルヘッド表面に付着した紙粉やほこりを取り除いてください。清掃は6カ月に1度を目安に行ってください。なおラベル紙を使用する場合は1カ月に1度を目安に行ってください。

特に、全面ラベル紙のフルカットで使用される場合は用紙ガイド排出部に糊が付着し排出不良をおこす場合がある為、定期的アルコール系溶剤を使用して用紙ガイド付着の糊を除去してください。

- ・推奨清掃周期=最小 15mmカット時はロール紙 1～2 巻毎(約 5000カット毎)清掃

△注意:アルコール及びイソプロピルアルコール以外の溶剤は使用しないでください。

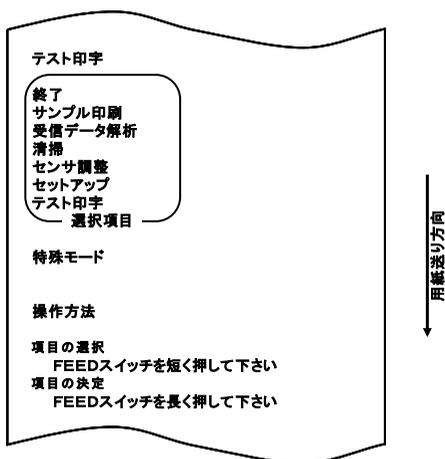
### 11-1. 用紙収納部、用紙走行部の清掃

用紙収納部、用紙走行部に付着したごみ、ほこり、紙粉、糊等を柔らかい布等で空拭き清掃してください。



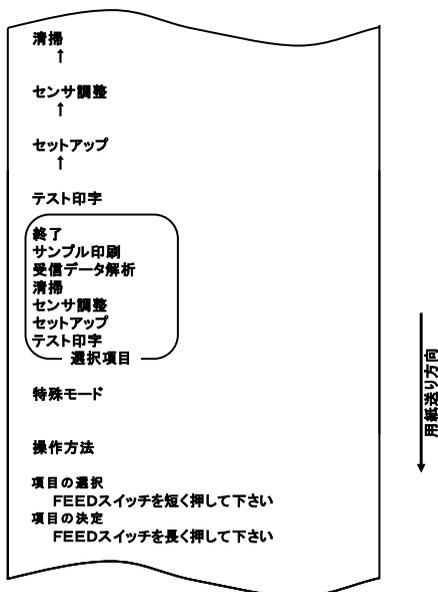
## 11-2. プラテンローラの清掃

- (1) プリンタの電源スイッチを一度OFFにし、用紙をセットした状態で操作パネルのFEEDスイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにすると以下の印字を行ないます。

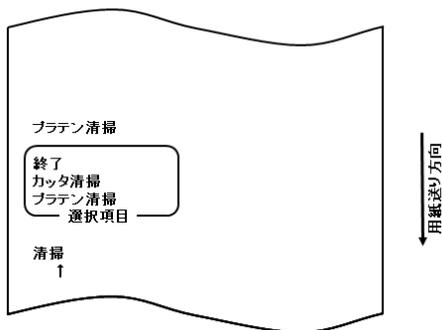


△注意：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰り返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

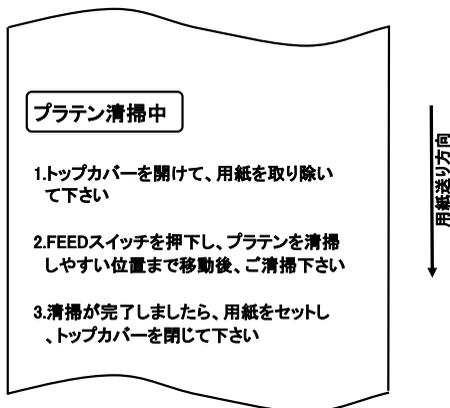
- (2) 項目の選択では、「清掃」を選びます。  
FEEDスイッチを短く（1秒以内）3回押し、「清掃」の項まで移動します。



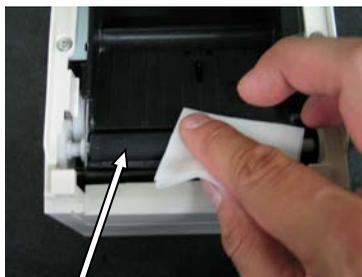
- (3) FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
「清掃」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）押下し決定します。押下するとプラテン清掃モードとなります。プラテン清掃モードに入ると以下の印字をして用紙をカットします。



- (4) トップカバーを開けて、用紙を取り除いてください。
- (5) FEEDスイッチを押下しプラテンを汚れているところまで回転させて、プラテンローラの表面に付着した紙粉、糊等を柔らかい布で空拭き清掃してください。



プラテンローラ

(6) 清掃が完了しましたら、用紙をセットしトップカバーを閉じてください。

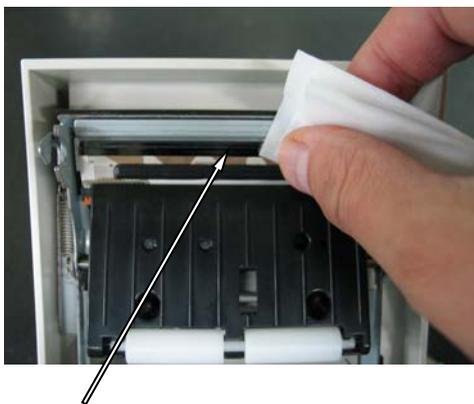
**⚠注意：** プラテンローラに傷・ヘコミを付けないでください。

プラテンローラにヘコミがあると印字抜け、改行不良の原因になります。

**⚠注意：** FEEDスイッチを12回押下することでプラテンが1周します。

### 11-3. サーマルヘッドの清掃

- (1) プリンタの電源スイッチを必ずOFFにしてください。
- (2) トップカバーを開けてください。
- (3) サーマルヘッド表面に付着した黒色状の紙粉等はアルコール系溶剤を使用して除去してください。またラベル紙を使用した場合は糊が付着するため糊を除去してください。



サーマルヘッド

- ⚠注意:サーマルヘッドは破損しやすい部品です。清掃の際は柔らかい布で、傷をつけないように注意して清掃してください。
- ⚠注意:印字動作直後はサーマルヘッドが高温になっているため、10分程経ってから清掃を行ってください。
- ⚠注意:サーマルヘッドは静電気により破損する可能性があるため、静電気には十分注意してください。
- ⚠注意:電源はアルコールが完全に乾いた後で投入してください。
- ⚠注意:アルコール及びイソプロピルアルコール以外の溶剤は使用しないでください。

#### 11-4. カッタ刃, カッターフレームの清掃

全面ラベル紙を使用した場合は、カッタ刃、及びカッターフレームに糊が付着するため、糊を除去してください。

ラベル紙のカットが正常に行われても安定したカットを維持するために、1ヶ月に1度を目安にカッタ刃を清掃してください。

**△注意**：カッタ刃の刃先は一般的なカッターナイフに比べて鋭利ではありませんが手や指を押し付けて擦ると危険です。清掃される際には十分にご注意ください。

#### 清掃準備

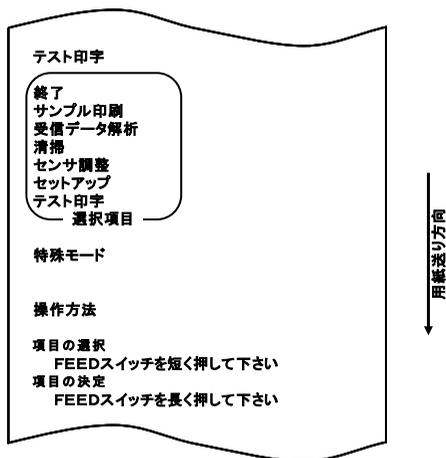
- ・ マイナスドライバ (小)
- ・ カッターナイフ

クリーニングシート  
(商品番号:0631260)



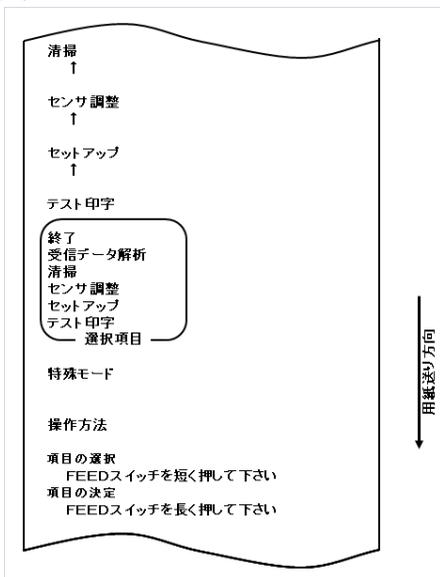
## アッパーカッタの清掃手順

- (1) プリンタの電源スイッチを一度OFFにし、用紙をセットした状態で操作パネルのFEEDスイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにすると以下の印字を行ないます。

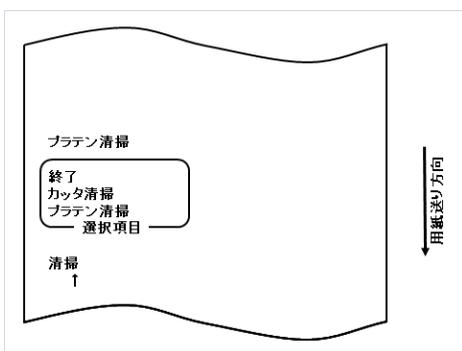


△注意：設定したい項目が行き過ぎてしまった場合は、FEEDスイッチを繰返し短く押すことで項目の初めに戻ります。

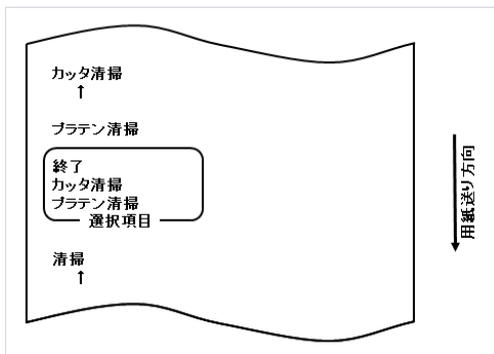
- (2) 項目の選択では、「清掃」を選びます。  
 FEEDスイッチを短く（1秒以内）3回押し、「清掃」の項まで移動します。



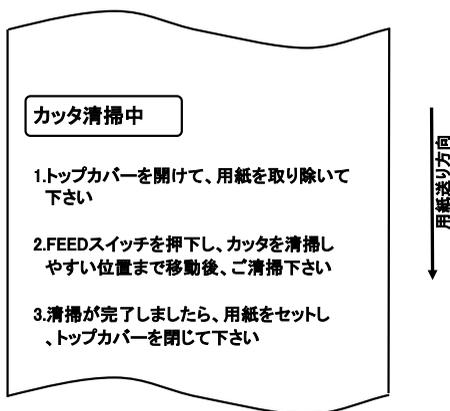
- (3) FEEDスイッチを長く（1秒以上）1回押し決定します。  
 「清掃」を選んだとき、以下の印刷を行ないます。



- (4) FEEDスイッチを短く（1秒以内）1回押下し、「カッタ清掃」の項まで移動します。



- 次にFEEDスイッチを長く（1秒以上）押下し決定します。押下するとカッタ清掃モードとなります。  
カッタ清掃モードに入ると以下の印字をして用紙をカットします。



- (5) トップカバーを開けて、用紙を取り除いてください。

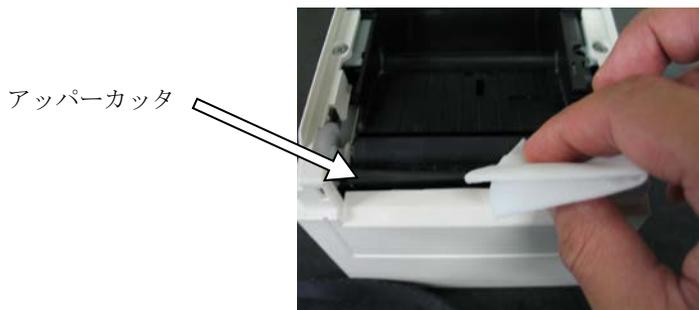
(6) FEEDスイッチを押下しカッター位置を清掃しやすい位置まで移動させて、行ってください。

アッパーカッターの内側面とエッジに体積した粘着物をカッターナイフまたはマイナスドライバなどで取り去ります。

**△注意:** カッターナイフの取扱には十分注意してください。マイナスドライバでアッパーカッターのエッジを傷付けないように注意してください。  
またプラテンロールには傷・ヘコミを付けないでください。プラテンにヘコミがあると印字抜け、改行不良の原因になります。



アッパーカッターに残った粘着剤をクリーニングシートなどで拭き取ります。



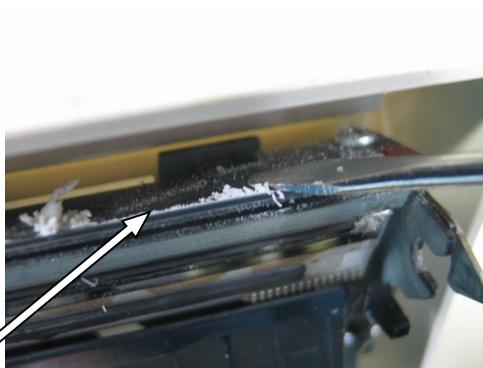
**⚠注意：アッパーカッターのエッジはカッターナイフの刃とは違い鋭利では有りませんが、直接指を押し付けて引くと危険です。**

(7) 清掃が完了しましたら、用紙をセットしトップカバーを閉じてください。

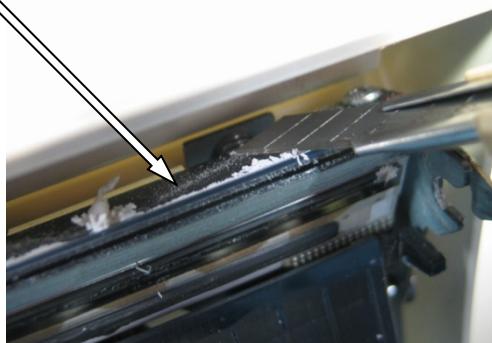
## ロアカッタの清掃手順

ロアカッタの表面とエッジに体積した粘着物をカッターナイフまたはマイナスドライバなどで取り去ります。

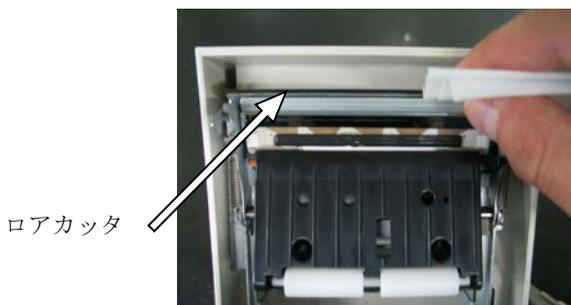
**△注意:** カッターナイフの取扱には十分注意してください。マイナスドライバでアップカッタのエッジを傷付けないように注意してください。  
プラテンにヘコミがあると印字抜け、改行不良の原因になります。



ロアカッタ



ロアカッタに残った粘着剤をクリーニングシート等で拭き取ります。



**△注意：**ロアカッタのエッジはカッターナイフの刃とは違い鋭利では有りませんが、直接指を押し付けて引くと危険です。

清掃が完了しましたら、用紙をセットしトップカバーを閉じてください。

**△注意：**カッタ清掃モード中はアッパーカッタが飛び出した状態であるため十分に注意願います。また清掃が完了しましたら用紙をセットしトップカバーを閉じてください。

## 12. インタフェース

### 12-1. シリアルインタフェース

#### (1) 伝達インタフェース仕様

動機方式	非同期方式
回線形態	全二重
入出力回路	入力：MAX211 相当 出力：MAX211 相当
ボーレート	2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600, 115200BPS (セットアップ設定)
伝送符号単位	7 単位 又は 8 単位
伝送符号形式	スタートビット長：1ビット ストップビット長：1ビット データビット長：7 or 8 単位(セットアップ設定) パリティビット長：NONE, ODD, EVEN(セットアップ設定) マーク(1) <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> スペース(0)
伝送順序	LSB 先出し方式
伝送コード系	JIS コード
誤り制御	パリティチェック(セットアップ設定)
接続線長	最大 15m：(電源コネクタから電源を供給する場合) 最大 2m：(インタフェースコネクタから電源を供給する場合)
プロトコル	DSR/DTR, XON/XOFF(セットアップ設定)

## (2) シリアルインタフェースコネクタ

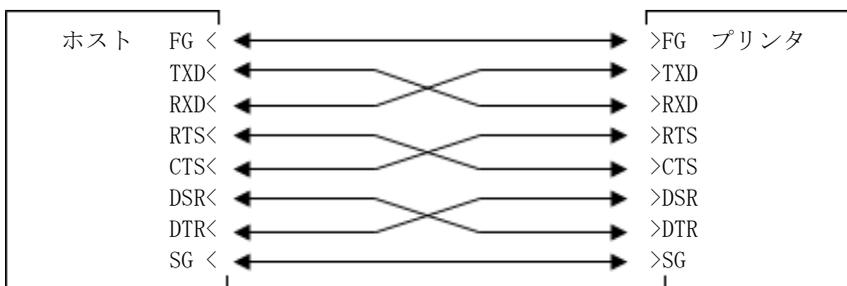
ピン番号	信号名	方向	信号線名
1	FG	-	フレームグランド
2	TXD	出力	送信データ
3	RXD	入力	受信データ
4	RTS	出力	送信要求
5	CTS	入力	送信許可
6	DSR	入力	データセットレディ
7	SG	-	シグナルグランド
8~12	N. C	-	未使用
13	SG2	入力	+24V 用グランド
14	SG2	入力	+24V 用グランド
15~17	N. C	-	未使用
18	+24V	入力	メカ駆動用電源
19	+24V	入力	メカ駆動用電源
20	DTR	出力	データ端末レディ
21~24	N. C	-	未使用
25	INIT	入力	強制リセット信号

△注意：電源コネクタから電源を供給する場合  は部のピンは未接続として  
ください。また、シリアルインタフェースコネクタと電源コネクタの両方  
同時供給は禁止します。

△注意：コネクタのロックネジはインチネジを使用してください。

### (3) 接続ケーブル

下図の結線仕様を推奨します。



**⚠注意：インターフェースコネクタより電源を供給する場合は、電源が低下しない適切な線径および長さのケーブルを使用してください。**

## 12-2. パラレルインタフェース

### (1) フォワードチャネル

ピン番号	信号名	方向	ピン番号	信号名	方向
1	*STROBE	入力	19	*STROBE-RET	
2	DATA1	入力	20	DATA1-RET	
3	DATA2	入力	21	DATA2-RET	
4	DATA3	入力	22	DATA3-RET	
5	DATA4	入力	23	DATA4-RET	
6	DATA5	入力	24	DATA5-RET	
7	DATA6	入力	25	DATA6-RET	
8	DATA7	入力	26	DATA7-RET	
9	DATA8	入力	27	DATA8-RET	
10	*ACKNLG	出力	28	*ACKNLG-RET	
11	BUSY	出力	29	BUSY-RET	
12	PE	出力	30	*INIT-RET	
13	SLCT	出力	31	*INIT	入力
14	*AUTOFEEDXT	入力	32	*FAULT	出力
15	N. C		33	SG1	出力
16	SG1		34	DK_STATUS	出力
17	FG		35	+5V	出力
18	LOGIC-H	出力	36	*SLCTIN	入力

△注意：-RET は、すべて SG に接続されています。

△注意：“\*” は負論理信号です。

(2) リバースチャネル

ピン番号	信号名	方向	ピン番号	信号名	方向
1	HostClk	入力	19	HostClk-RET	
2	DATA1	入力	20	DATA1-RET	
3	DATA2	入力	21	DATA2-RET	
4	DATA3	入力	22	DATA3-RET	
5	DATA4	入力	23	DATA4-RET	
6	DATA5	入力	24	DATA5-RET	
7	DATA6	入力	25	DATA6-RET	
8	DATA7	入力	26	DATA7-RET	
9	DATA8	入力	27	DATA8-RET	
10	PtrClk	出力	28	PtrClk-RET	
11	PtrBusy	出力	29	PtrBusy-RET	
12	AckDateReq	出力	30	*INIT-RET	
13	Xflag	出力	31	*INIT	入力
14	HostBusy	入力	32	*DataAvail	出力
15	N. C		33	SG1	出力
16	SG1		34	DK_STATUS	出力
17	FG		35	+5V	出力
18	LOGIC-H	出力	36	1284-Active	入力

△注意：-RET は、すべて SG に接続されています。

△注意：“\*” は負論理信号です。

### 12-3. USBインタフェース

#### (1) Type-Bコネクタ：4ピン

ピン番号	信号名	方向	信号線名
1	VBUS	入力	+5V
2	D-inB	入出力	D-
3	D+inB	入出力	D+
4	SG1	—	グラウンド

#### (2) Type-Aコネクタ：8ピン

ピン番号	信号名	方向	信号線名
1	USB5V2	出力	A1 用+5V
2	D-OUTA2	入出力	A2 用D-
3	D+OUTA2	入出力	A3 用D+
4	SG1	—	A4 用グラウンド
5	USB5V3	出力	B1 用+5V
6	D-OUTA3	入出力	B2 用D-
7	D+OUTA3	入出力	B3 用D+
8	SG1	—	B4 用グラウンド

⚠注意：USB ハブ機能はバス電源ハブである為、Type-A コネクタに接続する USB デバイスの消費電力は、2 ポート合計で 200mA 以下としてください。  
接続させる USB デバイスは動作を保証するものではありませんので、使用前には必ず動作の確認を行ってください。

⚠注意：USB ケーブルはシールド品を使用してください。

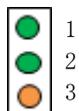
## 12-4. 有線LANインタフェース(有線LANモデル)

(1) インタフェース仕様：10BASE-T/100BASE-TX

(2) LANインタフェースコネクタ

ピン番号	信号名	方向	信号線名
1	TX+	出力	出力データ
2	TX-	出力	出力データ
3	RX+	入力	入力データ
4	N.C	-	-
5	N.C	-	-
6	RX-	入力	入力データ
7	N.C	-	-
8	N.C	-	-

(3) LED

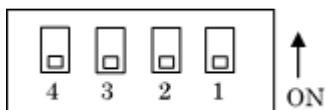


番号	表示	動作内容
1	10BASE-T リンク	接続先を 10BASE-T と認識したときに点灯
2	100BASE-TX リンク	接続先を 100BASE-TX と認識したときに点灯
3	ステータス	パケットを受信したとき、一定期間 (50msec) 点灯

#### (4) D I Pスイッチ

**△注意：**このスイッチは保守用です。通常は、全てOFF状態のままでご使用ください。

番号	ON	OFF
1	-	Off (固定)
2	設定情報初期化	-
3	設定情報印字	-
4	自己診断印字	-



#### 設定の初期化手順

- 1) プリンタの電源をオフします。
- 2) D I Pスイッチの No. 2 をオンに設定します。
- 3) プリンタの電源をオンします。初期化は、約5秒で完了します。
- 4) プリンタの電源をオフしてください。
- 5) D I Pスイッチの No. 2 をオフに設定します。

#### L A Nボードからのテスト印刷手順

- 1) プリンタの電源をオフします。
- 2) D I Pスイッチの No. 3 と No. 4 をオンします。
- 3) プリンタの電源をオンすると、テスト印刷が実行されます。
- 4) プリンタの電源をオフしてください。
- 5) D I Pスイッチの No. 3 と No. 4 をオフに設定します。

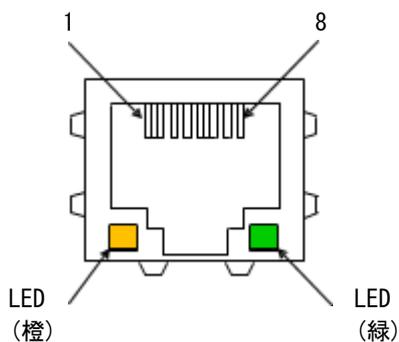
**△注意：**DIPスイッチの操作は注意してください。

## 12-5. 有線/無線LANインタフェース(有線/無線LANモデル)

### 12-5-1. 有線LANインタフェース

(1) 対応規格: 10BASE-T / 100BASE-TX

(2) LANインタフェースコネクタ



ピン番号	信号名	方向	信号線名
1	TX+	出力	出力データ
2	TX-	出力	出力データ
3	RX+	入力	入力データ
4	N.C	-	-
5	N.C	-	-
6	RX-	入力	入力データ
7	N.C	-	-
8	N.C	-	-

### (3) LED（インタフェースコネクタに実装されています）

	LED色	動作内容
有線LAN	緑	接続先を10BASE-Tと認識したときに点滅 接続先を100BASE-TXと認識したときに点灯
	橙	データを受信したとき一定時間点灯
無線LAN	緑	データを受信したとき一定時間点灯
	橙	リンク確立したときに点灯 *無線モードがインフラストラクチャー (Infrastructure)モード時は無線リンク確立まで緑と 橙が同時点滅

### (4) DIPスイッチ

△注意：このスイッチは保守用です。通常は、全てOFF状態のままご使用ください。

番号	ON	OFF
1	-	Off（固定）
2	設定情報初期化	-
3	設定情報印字	-
4	自己診断印字	-



#### 設定の初期化手順

- 1) プリンタの電源をオフします。
- 2) DIPスイッチのNo. 2をオンに設定します。
- 3) プリンタの電源をオンします。初期化は、約5秒で完了します。
- 4) プリンタの電源をオフしてください。
- 5) DIPスイッチのNo. 2をオフに設定します。

### **LANボードからのテスト印刷手順**

- 1) プリンタの電源をオフします。
- 2) DIPスイッチのNo. 3とNo. 4をオンします。
- 3) プリンタの電源をオンすると、テスト印刷が実行されます。
- 4) プリンタの電源をオフしてください。
- 5) DIPスイッチのNo. 3とNo. 4をオフに設定します。

**⚠注意：** DIPスイッチの操作は注意してください。

## 12-5-2. 無線LANインターフェース

### (1) 適合IF規格

802.11b	Frequency Range	2.4GHz
	Data Transfer Method	DS-SS
	Data Transfer Rate	11/5.5/2/1 (Mbps)
	Channel	1-14ch ※1
802.11g	Frequency Range	2.4GHz
	Data Transfer Method	OFDM
	Data Transfer Rate	54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbps)
	Channel	1-13ch
802.11a	Frequency Range	5GHz
	Data Transfer Method	OFDM
	Data Transfer Rate	54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbps)
	Channel	36/40/44/48 (W52) ※2 52/56/60/64 (W53)

※1：チャンネル設定は仕向地により以下の通りとなります。

JP：1-14（14チャンネルは802.11bのみ。Wireless Bridge側では設定不可）

※2：802.11a Ad-Hocでは、W52(36/40/44/48)チャンネルのみ選択可能となります。

## (2) 無線部詳細

項目	仕様内容		単位	備考欄	
アンテナ	内部 : 1, 外部 : 1		—		
適合IF規格	IEEE802.11a/b/g		—		
チップセット	Atheros AR5414		—		
中心周波数	11a	5180-5825	MHz	W52/W53/W56 US UNII-1/2/3 EU ETSI	
	11b	2412-2484	MHz	CH1-CH14	
	11g	2412-2471	MHz	CH1-CH13	
CH間隔	11a	20	MHz		
	11b/g	5	MHz		
通信レート	11a	6/9/12/18/24/36/48/54	Mbps		
	11b	1/2/5.5/11	Mbps		
	11g	6/9/12/18/24/36/48/54	Mbps		
変調方式	11a	ODFM (64QAM, 16QAM, QPSK, BPSK)	—		
	11b	DSSS (CCK, DQPSK, DBPSK)	—		
	11g	ODFM-CCK (64QAM, 16QAM, QPSK, BPSK)	—		
空中線電力	11a	CH36-CH64	14.0	dBm	Max.
	11b	CH1-CH14	17.0	dBm	Max.
	11g	CH1	14.5	dBm	Max.
		CH2	17.0	dBm	Max.
		CH3	16.5	dBm	Max.
		CH4-CH5	16.0	dBm	Max.
		CH6-CH7	15.5	dBm	Max.
		CH8-CH9	15.0	dBm	Max.
		CH10-CH11	14.5	dBm	Max.
CH12-CH13		14.0			
周波数偏差	-20~+20				
消費電流	Mode	(Typ.)			
	11a Tx	380	mA	Throughput Test mode	
	11a Rx	280	mA	Throughput Test mode	
	11b Tx	360	mA	Throughput Test mode	
	11b Rx	280	mA	Throughput Test mode	
	11g Tx	360	mA	Throughput Test mode	
	11g Rx	280	mA	Throughput Test mode	
	Sleep	20	mA	Sleep mode	
受信感度	Rate	Min.			
	11a 54Mbps	-66	dBm		
	11a 48Mbps	-71	dBm		
	11a 36Mbps	-73	dBm		
	11a 24Mbps	-77	dBm		
	11a 18Mbps	-83	dBm		
	11a 12Mbps	-83	dBm		
	11a 9Mbps	-85	dBm		
	11a 6Mbps	-88	dBm		

※802.11aW56については未サポートです。

項目	仕様内容		単位	備考欄
受信感度	Rate	Min.		
	11b 11Mbps	-82	dBm	
	11b 5.5Mbps	-84	dBm	
	11b 2Mbps	-86	dBm	
	11b 1Mbps	-88	dBm	
	11g 54Mbps	-66	dBm	
	11g 48Mbps	-70	dBm	
	11g 36Mbps	-77	dBm	
	11g 24Mbps	-82	dBm	
	11g 18Mbps	-83	dBm	
	11g 12Mbps	-84	dBm	
	11g 9Mbps	-84	dBm	
	11g 6Mbps	-84	dBm	

## 12-6. Bluetooth インタフェース

### (1) インタフェース仕様

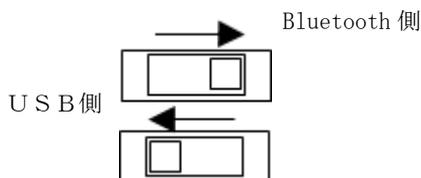
- ・ Bluetooth v3.0
- ・ Power Class 2 対応
- ・ SPP (Serial Port Profile) 搭載
- ・ iAP1/iAP2 プロトコル搭載
- ・ アンテナ内蔵

### (2) インタフェース切替スイッチ

Bluetooth, USB インタフェースモデルにはインタフェース切替スイッチがあり、Bluetooth と USB の切り替えを行います。

スイッチの切替は、プリンタを電源オフ状態にして行ってください。

方向	動作
右方向	Bluetooth から印刷可能
左方向	USB から印刷可能



### (3) Bluetooth 情報 (テスト印字で表示します)

項目	内容	備考
FW バージョン	spp3i_v1.01 Bluetooth モジュールの FW バージョン	
BD アドレス	[xx:xx:xx:xx:xx:xx] Bluetooth デバイスアドレス	デバイス毎に持つ固定値
デバイス名	“FP-32L_xxxxxx” (工場出荷設定) xxxxxx はプリンタのシリアル番号が入ります。	
PIN コード	“1234” (工場出荷設定) PIN コードは SSP (*1) 非対応の旧端末とペアリングする場合に使用されます。	

\*1 SSP (Secure Simple Pairing)

#### (4) 自動再接続機能について

Bluetooth インタフェースにおいて、iOS 搭載の上位側とペアリング状態にある場合に「BT 自動再接続 (iOS)」の設定を有効にしておくこと、以下の状態発生時に、プリンタ側から最後に接続していた iOS 搭載の上位側に自動で再接続を行います。

- ・ Bluetooth 通信切断後、通信復帰
- ・ プリンタの電源切断後、電源投入

「BT 自動再接続 (iOS)」の設定を無効にした場合は、毎回、iOS 搭載上位側の Bluetooth 設定画面から接続操作をすることが必要となります。

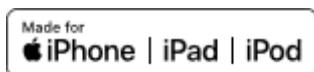
BT 自動再接続 (iOS)	使い方	説明
有効	常に 1 台の iOS 搭載上位側にて、1 台のプリンタを使用する場合に最適な設定です。	通信切断後の再接続は以下シーケンスで行います。  1. プリンタ側から最後に接続していた iOS 搭載上位側への接続を行います。  2. 1 の接続が失敗した場合 (タイムアウト)、プリンタは iOS 搭載上位側からの接続を待ちます。  3. 2 の接続が失敗した場合 (タイムアウト)、プリンタは再度最後に接続していた iOS 搭載上位側への接続を行います。  4. 接続失敗中は、2 と 3 を繰り返し実行します。
無効 (工場出荷設定)	複数台の iOS 搭載上位側にて、1 台のプリンタを共有して使用する場合に最適な設定です。	常にプリンタは iOS 搭載上位側からの接続を待っています。

※ 「BT 自動再接続 (iOS)」を有効設定にしても、iOS 搭載以外の上位側とプリンタを接続する場合は、自動再接続機能は無効となりますので、ご注意ください。

(5) その他

Bluetooth 及び Bluetooth ロゴは、米国 Bluetooth SIG. Inc. の商標です。

富士通アイソテック株式会社はライセンスに基づき使用しています。



“Made for iPod”、“Made for iPhone”、“Made for iPad”とは、それぞれ iPod、iPhone または iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

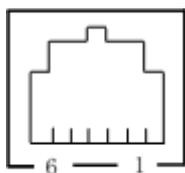
iPod は、米国と他国で登録された Apple Inc. の商標です。

iPod touch、iPad 及び iPhone は Apple Inc. の商標です。

<分類>	<機器>
iPhone	<ul style="list-style-type: none"><li>• iPhone 7 Plus</li><li>• iPhone 7</li><li>• iPhone SE</li><li>• iPhone 6s Plus</li><li>• iPhone 6s</li><li>• iPhone 6 Plus</li><li>• iPhone 6</li><li>• iPhone 5s</li><li>• iPhone 5c</li><li>• iPhone 5</li><li>• iPhone 4s</li></ul>
iPad	<ul style="list-style-type: none"><li>• iPad Pro(12.9-inch)</li><li>• iPad mini 4</li><li>• iPad Air 2</li><li>• iPad Air</li><li>• iPad (4th generation)</li><li>• iPad 2</li></ul>
iPod	<ul style="list-style-type: none"><li>• iPod touch (6th generation)</li><li>• iPod touch (5th generation)</li></ul>

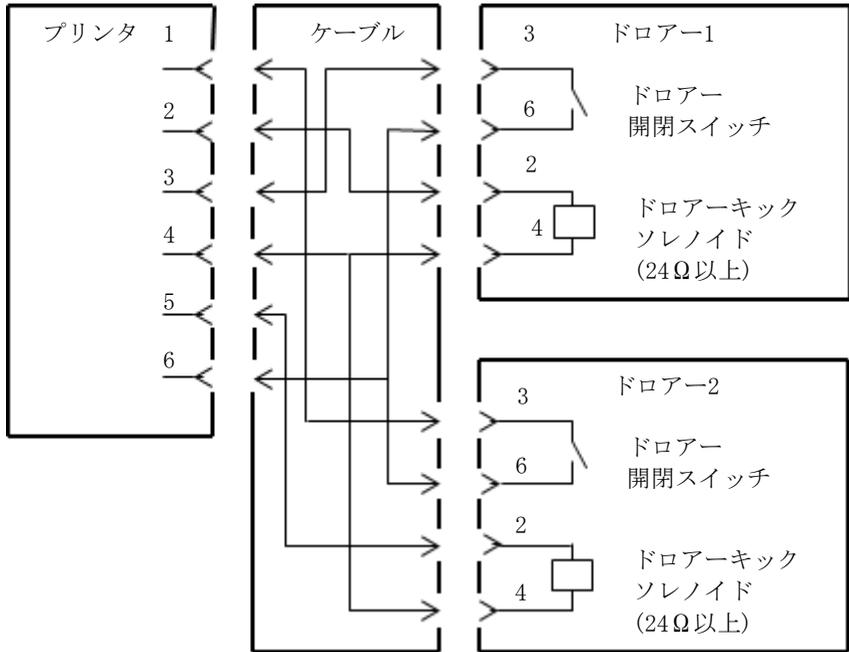
## 12-7. ドロアーキックコネクタ

ピン番号	信号名	方向	信号線名
1	DRSNS2	入力	ドロアーセンス信号 2
2	*DRD1	出力	ドロアーキックドライブ信号 1
3	DRSNS1	入力	ドロアーセンス信号 1
4	+24V	出力	駆動電源
5	*DRD2	出力	ドロアーキックドライブ信号 2
6	SG	出力	ドロアーセンス用グラウンド



< 嵌合面より >

<結線>



- ⚠注意：ドロアー接続ケーブルは、シールドタイプのケーブルを使用してください。
- ⚠注意：2ドライブの同時駆動はできません。
- ⚠注意：ドロアーのON時間、OFF時間は指定パルスの発生(ESC p m t1 t2)コマンドでそれぞれ t1, t2 で指定してください。
- ⚠注意：ドロアーの駆動デューティは、下記の比率で使用してください。  
ON時間/(ON時間+OFF時間) ≤ 0.2
- ⚠注意：ドロアーの電源は、必ずプリンタの電源(コネクタピン4)を使用してください。
- ⚠注意：ドロアーキックソレノイドの抵抗値は24Ω以上を使用してください。  
24Ω未満の場合は過電流によりソレノイドを破損するおそれがあります。
- ⚠注意：本製品は、キャッシュドロアー専用コネクタとしてモジュラタイプのコネクタを使用しています。コネクタには決して一般公衆回線などのコネクタを接続しないでください。

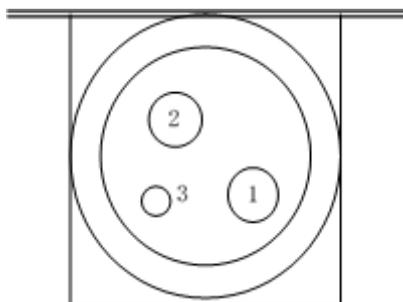
## 12-8. 装置定格

- (1) 動作電圧：24V  $\pm 10\%$
- (2) 消費電力：待機時 約4.5W / 約0.2A

動作時 約44W / 約1.5A  
(at 24V, 25°C, 印字濃度設定 130%, 用紙幅 80mm, 印字率 9%)

電源コネクタピン配列

ピン番号	信号名
1	+24V
2	SG
3	N.C



**⚠警告：**電源は当社ACアダプタを必ず使用してください。  
(当社ACアダプタを使用しない場合、火災及び感電の危険が有ります。  
また印刷品質、電波、ノイズ等の不具合が発生する場合があります  
ので、使用しないでください。)

## 13. 仕様

### 13-1. 一般仕様

- (1) 印字方式：ダイレクトラインサーマル印字方式
- (2) ドット密度：8ドット/mm (0.125mm)
- (3) 紙送り方向：フリクションフィードによる1方向送り  
(印字頭出し位置までの紙送りの場合、逆送りすることがある)
- (4) 紙幅：83 mm/80 mm/70~25.4mm(1mm単位)
- ・工場出荷時の設定は70 mm。
  - ・装置に装着されているロール紙パーテーションを取り外すことで最大83 mmまで紙幅の経路を選択することが可能。
- △注意：71 mmから79 mmは使用できません。**
- (5) 印字速度：単色印字の場合 最大 260mm/秒

紙幅	印字速度
83~58 mm 時	最大 260 mm/秒
57~38 mm 時	最大 180 mm/秒
37~25.4 mm 時	最大 80 mm/秒

- ・工場出荷時の設定は140mm/秒

2色印字の場合 最大 115mm/秒

紙幅	印字速度
83~58 mm 時	最大 115 mm/秒
57~38 mm 時	最大 115 mm/秒
37~25.4 mm 時	最大 80 mm/秒

(6) 印字桁数と文字サイズの関係

ボディフェース ((幅)x(高) dot)

	58mm 幅ロール紙		60mm 幅ロール紙
	32 桁印字時	35 桁印字時	36 桁印字時
ANK : フォント A	32 桁 : 12x24	35 桁 : 12x24	36 桁 : 12x24
ANK : フォント B	38 桁 : 10x24	42 桁 : 10x24	43 桁 : 10x24
	42 桁 : 9x24	46 桁 : 9x24	48 桁 : 9x24
ANK : フォント C	48 桁 : 8x16	52 桁 : 8x16	54 桁 : 8x16
漢 字 : フォント A	16 桁 : 24x24	17 桁 : 24x24	18 桁 : 24x24
漢 字 : フォント B	19 桁 : 20x24	21 桁 : 20x24	21 桁 : 20x24
漢 字 : フォント C	24 桁 : 16x16	26 桁 : 16x16	27 桁 : 16x16
ANK : フォント A 拡張フォント	32 桁 : 12x24	35 桁 : 12x24	36 桁 : 12x24
ANK : フォント B 拡張フォント	38 桁 : 10x24	42 桁 : 10x24	43 桁 : 10x24
	42 桁 : 9x24	46 桁 : 9x24	48 桁 : 9x24

ボディフェース ((幅)x(高) dot)

	80mm 幅ロール紙		83mm 幅ロール紙
	42 桁印字時	48 桁印字時	53 桁印字時
ANK : フォント A	42 桁 : 12x24	48 桁 : 12x24	53 桁 : 12x24
ANK : フォント B	51 桁 : 10x24	57 桁 : 10x24	64 桁 : 10x24
	56 桁 : 9x24	64 桁 : 9x24	71 桁 : 9x24
ANK : フォント C	64 桁 : 8x16	72 桁 : 8x16	80 桁 : 8x16
漢 字 : フォント A	21 桁 : 24x24	24 桁 : 24x24	26 桁 : 24x24
漢 字 : フォント B	25 桁 : 20x24	28 桁 : 20x24	32 桁 : 20x24
漢 字 : フォント C	32 桁 : 16x16	36 桁 : 16x16	40 桁 : 16x16
ANK : フォント A 拡張フォント	42 桁 : 12x24	48 桁 : 12x24	53 桁 : 12x24
ANK : フォント B 拡張フォント	51 桁 : 10x24	57 桁 : 10x24	64 桁 : 10x24
	56 桁 : 9x24	64 桁 : 9x24	71 桁 : 9x24

(7) 文字種

英数字 (95 文字)

拡張グラフィックス (128 文字 × 20 へーじ (ユーザ定義へーじ含む))

国際文字 (16 セット)

ダウンロード定義文字 (95 文字)

日本語漢字 JIS X 0208 (7350 文字)

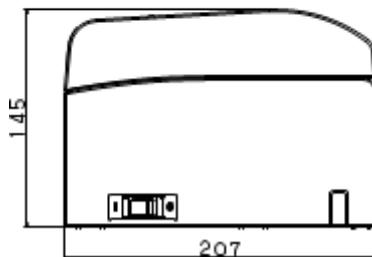
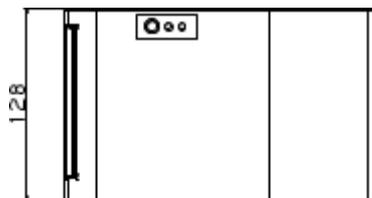
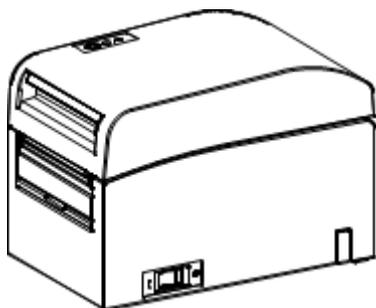
外字定義文字 (94 文字)

(8) 文字寸法

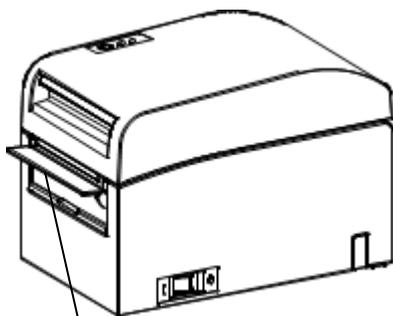
	ボディフェース		レターフェース	
	(幅) × (高) dot	(幅) × (高) mm	(幅) × (高) dot	(幅) × (高) mm
ANK : フォント A	12 x 24	1.5 x 3.0	11 x 22	1.375 x 2.75
ANK : フォント B	10 x 24	1.25 x 3.0	9 x 17	1.125 x 2.125
	9 x 24	1.125 x 3.0	9 x 17	1.125 x 2.125
ANK : フォント C	8 x 16	1.0 x 2.0	8 x 13	1.0 x 1.625
漢字 : フォント A	24 x 24	3.0 x 3.0	24 x 24	3.0 x 3.0
漢字 : フォント B	20 x 24	2.5 x 3.0	18 x 24	2.25 x 3.0
漢字 : フォント C	16 x 16	2.0 x 2.0	15 x 15	1.875 x 1.875
ANK : フォント A 拡張フォント	12 x 24	1.5 x 3.0	12 x 24	1.5 x 3.0
ANK : フォント B 拡張フォント	10 x 24	1.25 x 3.0	9 x 22	1.125 x 2.75
	9 x 24	1.125 x 3.0	9 x 22	1.125 x 2.75

(9) 外観図

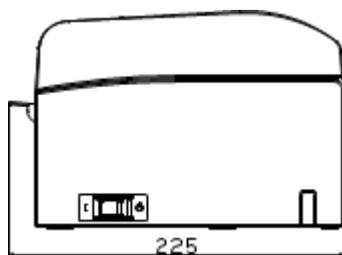
ACアダプタ外付けモデル



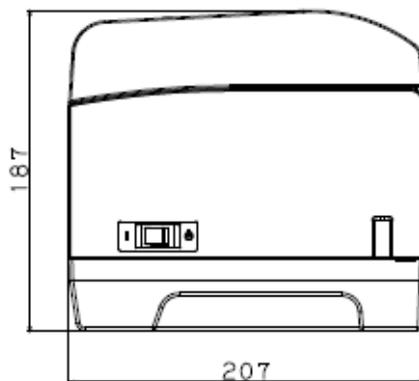
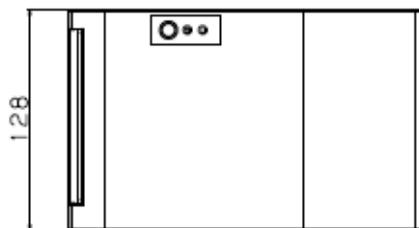
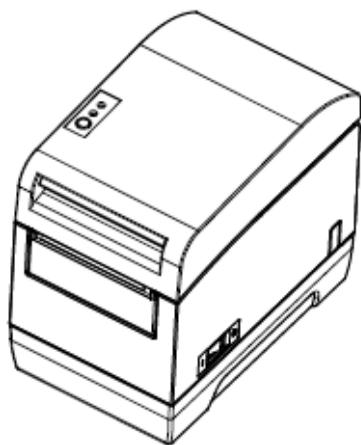
用紙ガイドを開いた状態  
(ACアダプタ外付けモデル)



用紙ガイド



ACアダプタ内蔵モデル



## 13-2. カッタ仕様

カット方式：フルカット方式

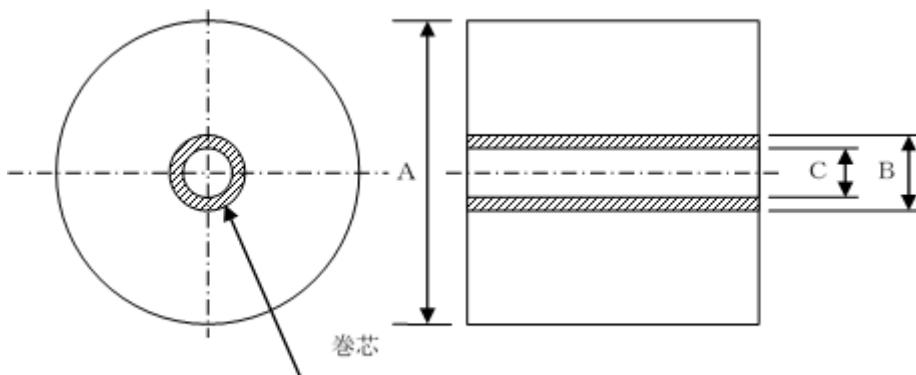
- △注意：ラベル紙を使用する場合は、糊の影響で早期に用紙切断能力が低下することがあります。定期的にカッタ刃の清掃を行って糊を除去して使用してください。（11 項定期清掃参照）
- △注意：カット切断面の中央部に切り残し凸部が若干残ります。切り残し凸部に用紙の繊維が残った場合は用紙がつながる場合があります。
- △注意：印刷後 30 枚毎に用紙を取り除いてください。  
用紙を取り除かないと印刷済みの用紙がオートカッタ部に残りカット不良の原因となります。
- △注意：連続カッタ稼働は、30 回／分以下（1 回／2 秒以上）にて使用してください。それ以上で使用すると故障の原因となります。
- △注意：印刷中に用紙出口付近に手を出さないでください。  
用紙に当たると紙ジャムを起こす、用紙カットができないなどのエラーの原因になります。

### 13-3. ロール紙供給仕様

- (1) 供給方式：マニュアルセット方式
- (2) 用紙ニアエンド：用紙が残り少なくなると検出します。

検出できる用紙残量は以下の通りです。

紙厚 ( $\mu\text{m}$ )	巻芯外径 $\langle B \rangle < \phi 32$ のロール紙を使用した場合	
	検知径 $\langle A \rangle$ (mm)	用紙残量 (m)
75 ~ 150	約 $\phi 40$	0.5 ~ 5.0



- △注意：上記寸法（検知径、用紙残量）については、計算上の値であるため、用紙の巻き状態及び紙厚により、ばらつきがあります。
- △注意：巻芯外径  $\phi 32\text{mm}$  以外のロール紙を使用した場合は、用紙ニアエンドの検出精度が低下します。
- △注意：巻芯外径  $\phi 32\text{mm}$  未満のロール紙を使用した場合は、巻芯近傍の紙をフルカットすると搬送不良が発生する場合があります。

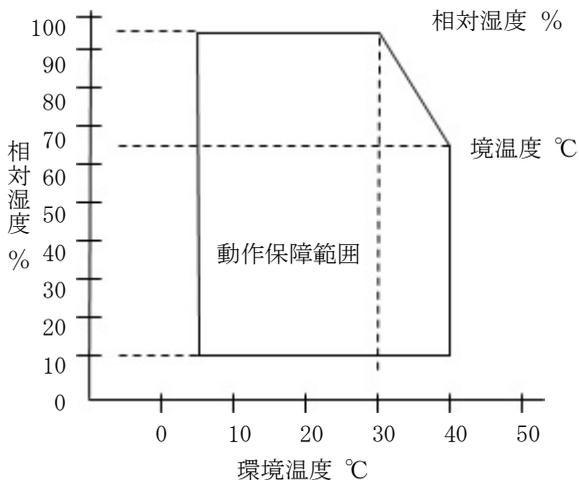
#### 13-4. インタフェース仕様

- (1) シリアル (RS-232C)
- (2) パラレル (IEEE1284 準拠 : ニブルモード)
- (3) USB (USB2.0 フルスピードに準拠)
- (4) 有線LAN (IEEE802.3 (10BASE-T)/IEEE802.3U (100BASE-TX))
- (5) 無線LAN (IEEE802.11a/11b/11g)
- (6) Bluetooth (標準規格 v3.0 に準拠)

### 13-5. 環境仕様

- (1) 温度
- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 稼動時        | 動作保証 0°C ~ 40°C |
|            | 印字保証 5°C ~ 35°C |
| 非稼動時       | -5°C ~ 60°C     |
| 輸送保管時(梱包時) | -20°C ~ 60°C    |
- (2) 湿度
- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| 稼動時        | 動作保証 10% ~ 95% RH (非結露) |
|            | 印字保証 10% ~ 85% RH (非結露) |
| 非稼動時       | 8% ~ 95% RH (非結露)       |
| 輸送保管時(梱包時) | 5% ~ 95% RH (非結露)       |

(3) 最高湿球温度 29°C以下



### 13-6. 信頼性仕様

- (1) プリンタ寿命      2500 万改行 (単色推奨紙 75  $\mu$ m 使用時)  
1000 万改行 (2 色推奨紙 75  $\mu$ m 使用時)
- (2) ヘッド寿命      走行寿命    : 150km (単色推奨紙)  
75km (2 色推奨紙)  
パルス寿命 : 1.5 億パルス  
※異物によるスクラッチ傷は除く。
- (3) カッタ寿命      フルカット仕様
- ・ レシートカット時 :  
200 万カット (推奨紙 75  $\mu$ m)  
50 万カット (推奨紙 75~150  $\mu$ m)
  - ・ ラベルカット時 :  
100 万カット (台紙部カットの場合)  
50 万カット (全面ラベルカットの場合)  
(カッタ刃のクリーニングで 100 万カット)

△注意: ダイカットラベルをカットする場合は、ラベルとラベルの間の台紙部分をカットすること。

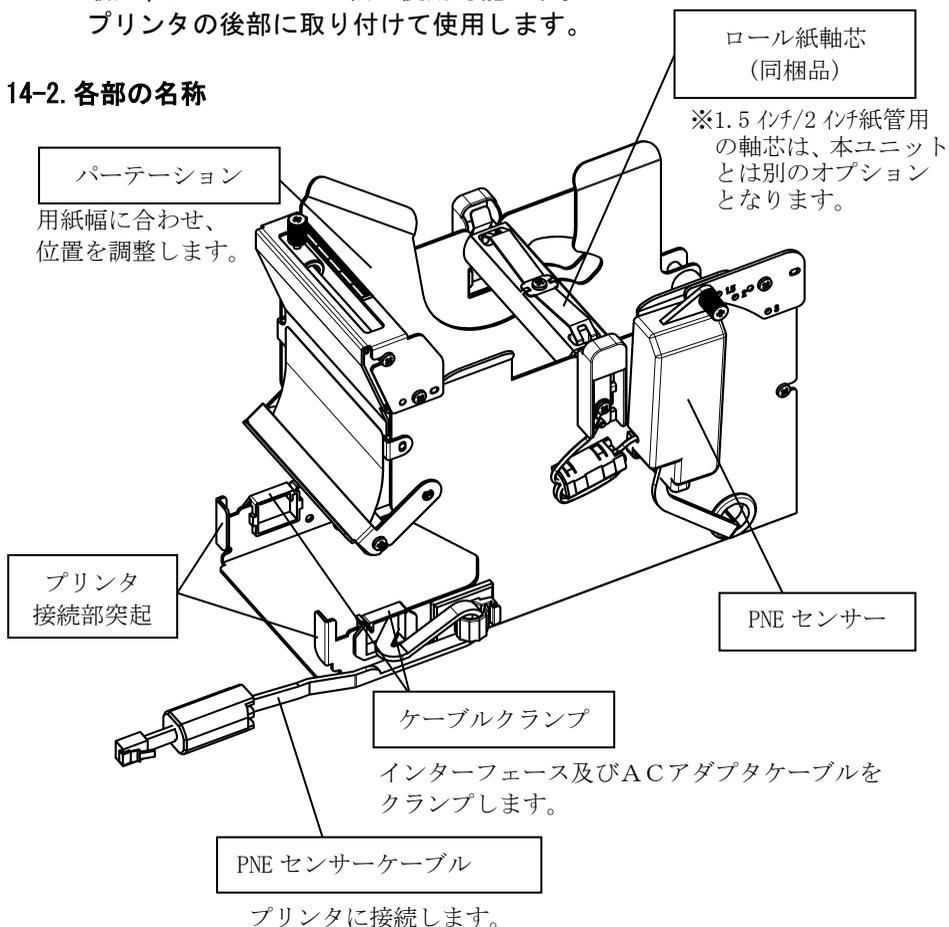
△注意: ラベル印刷は、ラベル紙の糊がカッタに付着して切れ味が落ちる場合がありますので、定期的に清掃してください。  
(11 項定期清掃参照)

## 14. 大径ロール紙ユニット

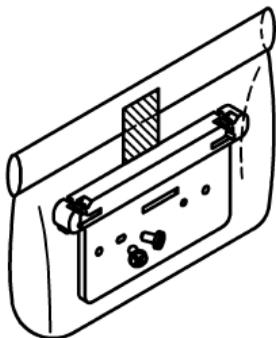
### 14-1. 概要

大径ロール紙ユニットはオプションです。  
最大φ200mmのロール紙が使用可能です。  
プリンタの後部に取り付けて使用します。

### 14-2. 各部の名称



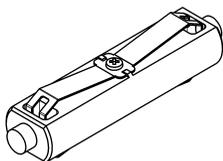
<同梱品>



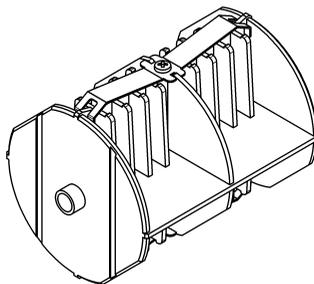
プリンタ接続用ブラケット  
及び固定ネジ（2本）



クイックスタートガイド



ロールペーパーシャフト  
（1インチ紙管用）



ロールペーパーシャフト  
（3インチ紙管用）

### 14-3. 用紙仕様

(1) 紙幅 83mm の場合… $83\text{mm}^0_{-1.0}$  80mm の場合… $80\text{mm}^0_{-1.0}$

紙幅 70mm~25.4mm (1mm 単位) の場合… $70\sim 25.4\text{mm}^0_{-1.0}$

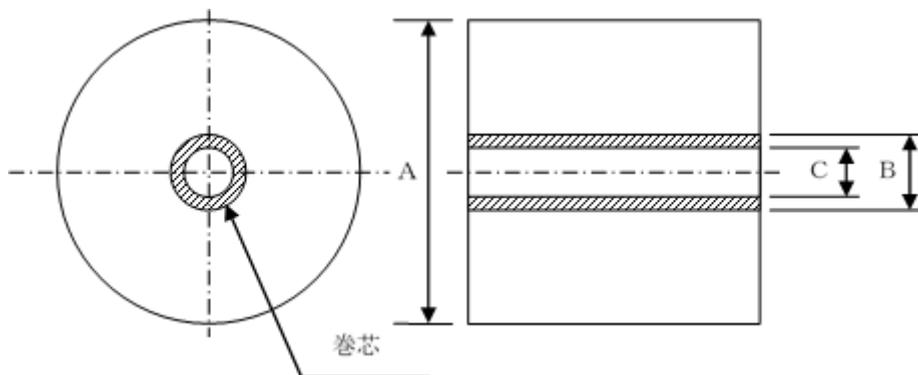
(2) 外径寸法 (A) :  $\phi 200\pm 0.5\text{mm}$  以下

(3) 紙厚 : 75~150  $\mu\text{m}$

(4) 卷芯寸法 : 内径 1 インチ (C)  $\phi 25.4\pm 0.5\text{mm}$  / 外径 (B)  $\phi 32\pm 0.5\text{mm}$   
内径 3 インチ (C)  $\phi 76.2\pm 0.5\text{mm}$  / 外径 (B)  $\phi 82\pm 0.5\text{mm}$

(5) 発色面 : ロール紙外側

(6) 終端処理 : ロール紙と軸心を糊等で固定しないでください。  
また、終端は紙折り加工を行なわないでください。



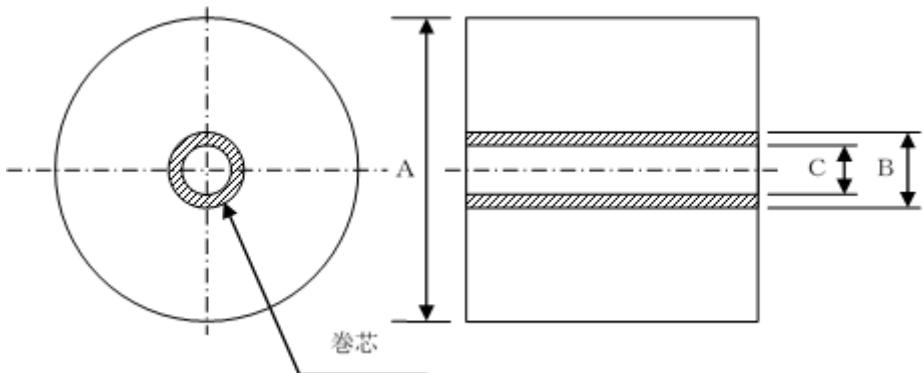
△注意 : ロール紙の巻付けサイドにささくれ、ザラツキがあるものは使用しないでください。用紙送りが不安定になり、プリンタの故障の原因になります。

#### 14-4. ロール紙供給仕様

- (1) 供給方式：マニュアルセット方式
- (2) 用紙ニアエンド：用紙が残り少なくなると検出します。

検出できる用紙残量は以下の通りです。

紙厚 (μm)	巻芯外径<B>φ82のロール紙を使用した場合		
	巻芯外径<B> (mm)	検知径<A> (mm)	用紙残量 (m)
75	φ82	約φ100	20~30
150	φ82	約φ100	10~20

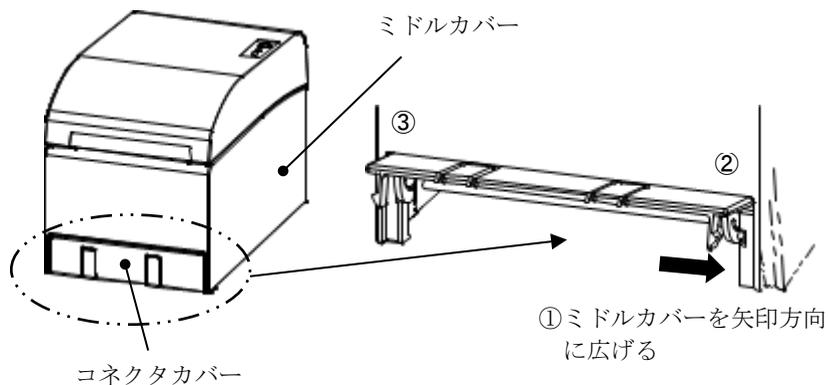


△注意：上記寸法（検知径、用紙残量）については、計算上の値であるため、用紙の巻き状態及び紙厚により、ばらつきがあります。

## 14-5. 大径ロール紙ユニットの設置手順

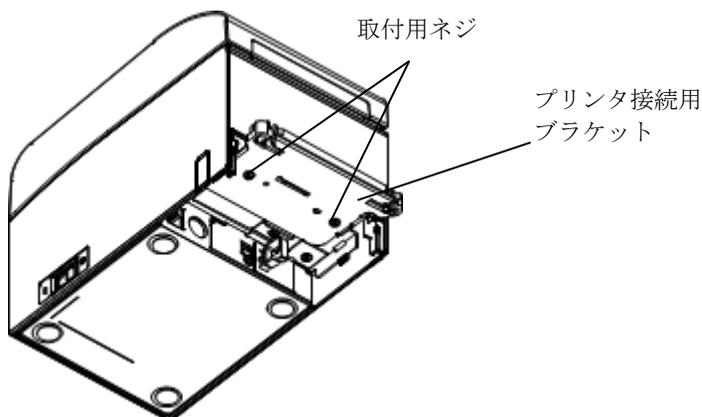
接続、取外しを行なう場合は、作業をする前にプリンタ及びプリンタと接続する全ての機器の電源スイッチをOFFにし、またACアダプタ用電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

- (1) プリンタ後面のコネクタカバーを外します。  
コネクタカバーを開き、ミドルカバーを矢印方向にたわませ ①、コネクタカバーの回転支点部を右側 ② ⇒ 左側 ③ の順に取り外します。

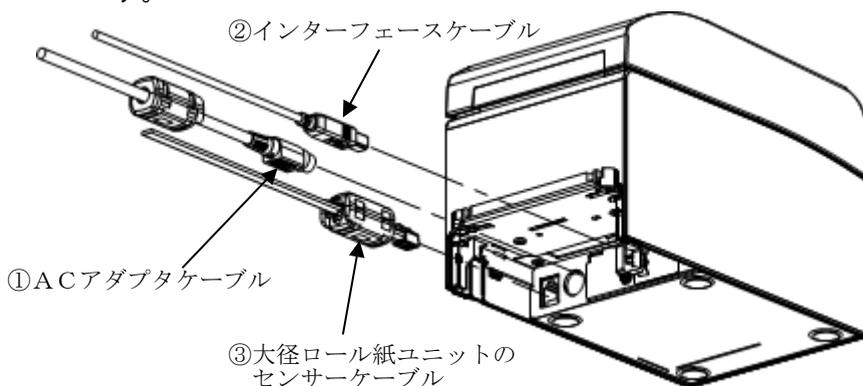


コネクタカバー取り外し後の状態

(2) 同梱品のプリンタ接続用ブラケットを同梱品のネジで取り付けます。



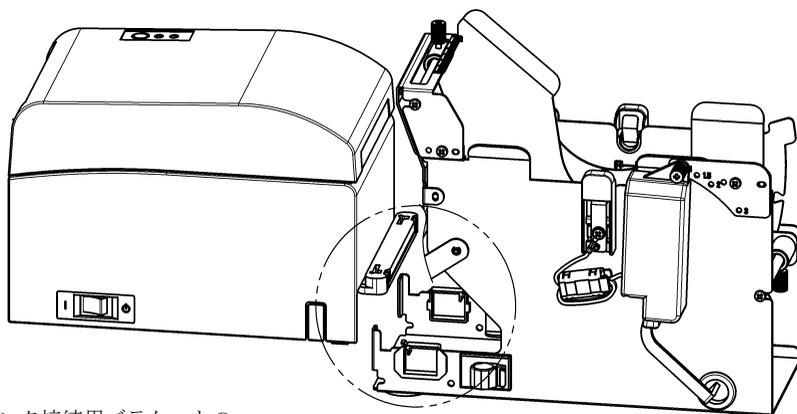
(3) 大径ロール紙ユニットのセンサーケーブル、インターフェースケーブル及び、ACアダプタケーブルをプリンタ後部のコネクタに接続します。



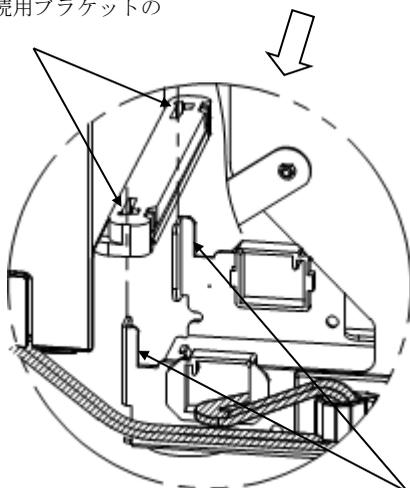
△注意: ACアダプタケーブルの接続方法については、4-3 項 (ACアダプタの接続) を参照ください。

△注意: ケーブルの接続は、①ACアダプタケーブル→②インターフェースケーブル→③センサーケーブルの順に接続してください。

- (4) プリンタを大径ロール紙ユニットに接続します。  
プリンタ接続用ブラケットの左右穴部を大径ロール紙ユニット接続部の左右突起部に挿入し接続します。

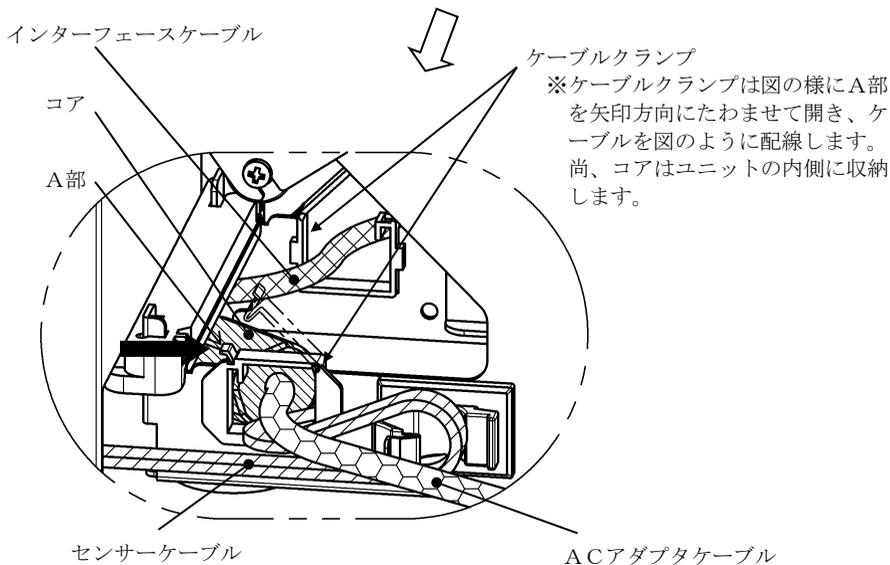
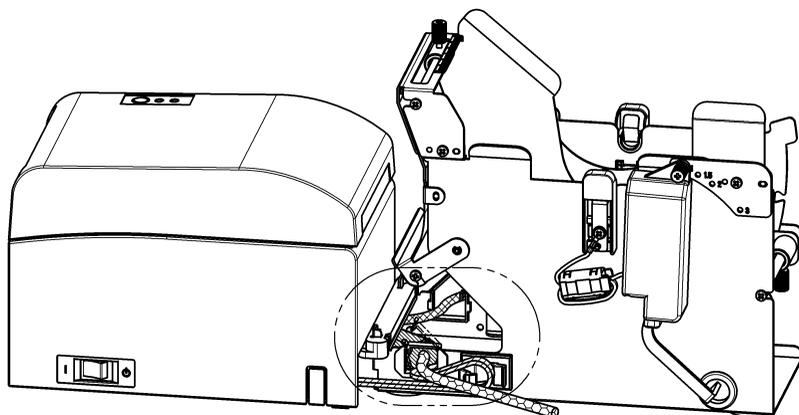


プリンタ接続用ブラケットの  
左右穴部

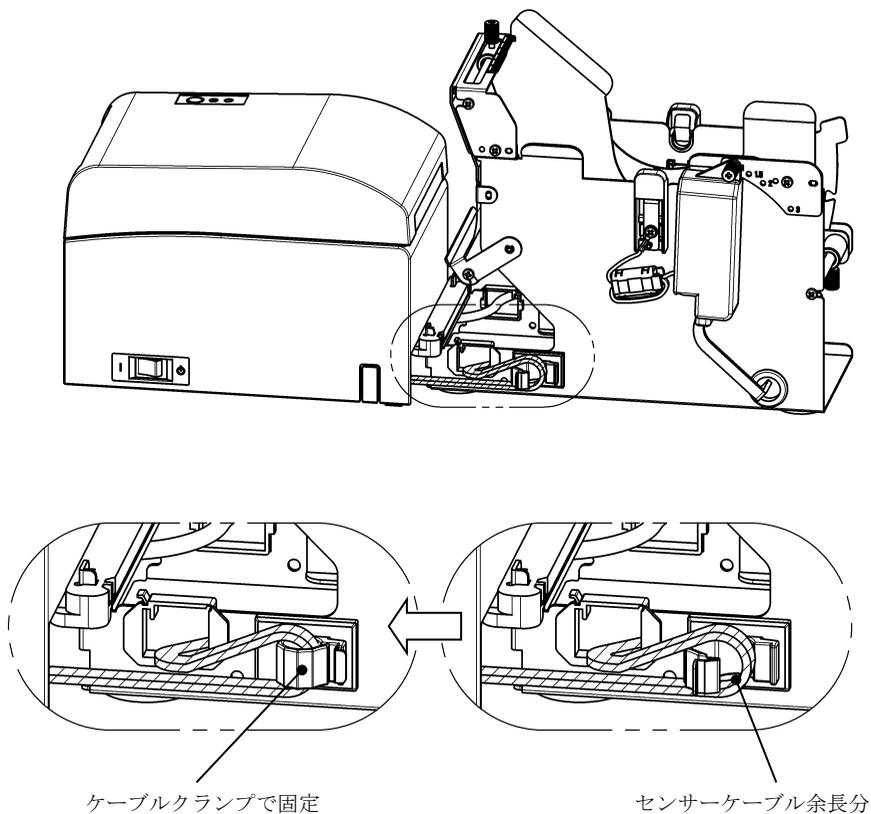


大径ロール紙ユニット接続部の  
左右突起部

- (5) 大径ロール紙ユニットのセンサーケーブル、インターフェースケーブル及び、ACアダプタケーブルを、下図の通りケーブルクランプ内を通し大径ロール紙ユニットの外側に配線します。



- (6) 大径ロール紙ユニットのセンサーケーブルは、プリンタ側と大径ロール紙ユニットの間で余長が有るため、下図の通りケーブルクランプでセンサーケーブル余長分を固定します。



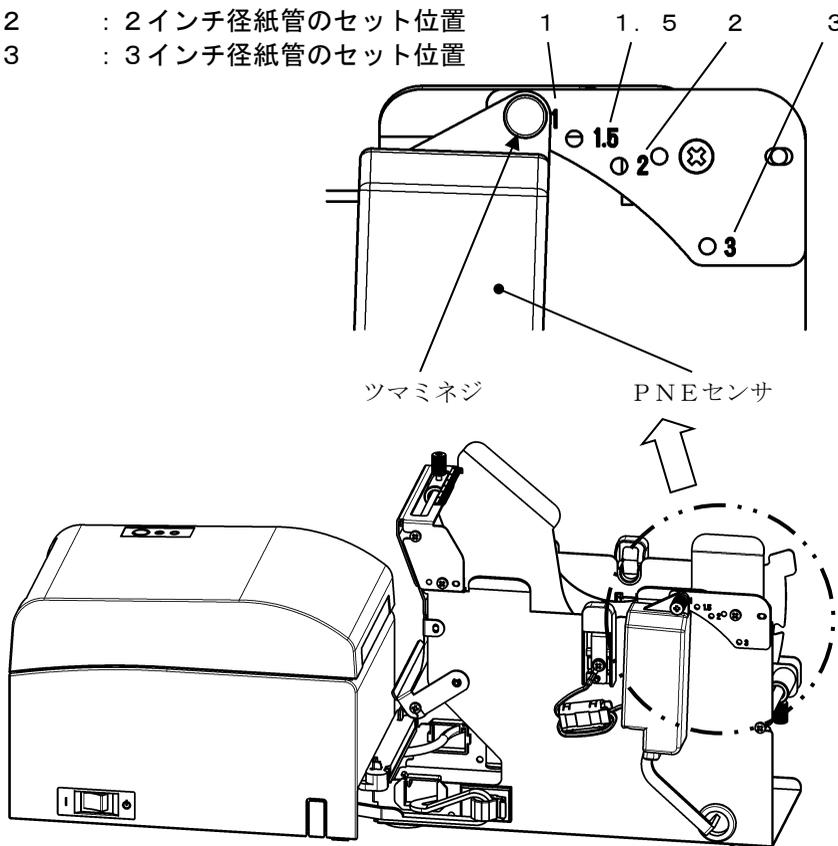
## 14-6. PNEセンサーのセット方法

ロール紙紙管径の種類毎に、PNEセンサのセット位置を設定し、ツマミネジで固定してください。

初期設定は1のセット位置です。

(下記図は、1インチ径紙管のセット位置状態)

- 1 : 1インチ径紙管のセット位置
- 1.5 : 1.5インチ径紙管のセット位置
- 2 : 2インチ径紙管のセット位置
- 3 : 3インチ径紙管のセット位置



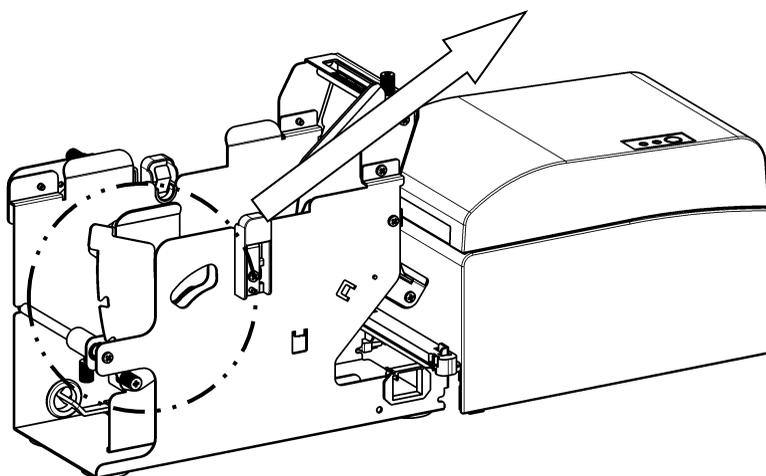
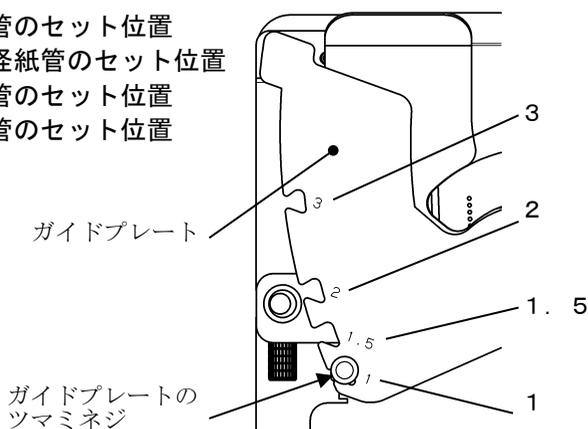
## 14-7. ガイドプレートのセット方法

ロール紙紙管径の種類毎に、ガイドプレートのつまみネジをゆるめ、セット位置を設定し、つまみネジで固定してください。

初期設定は1のセット位置です。

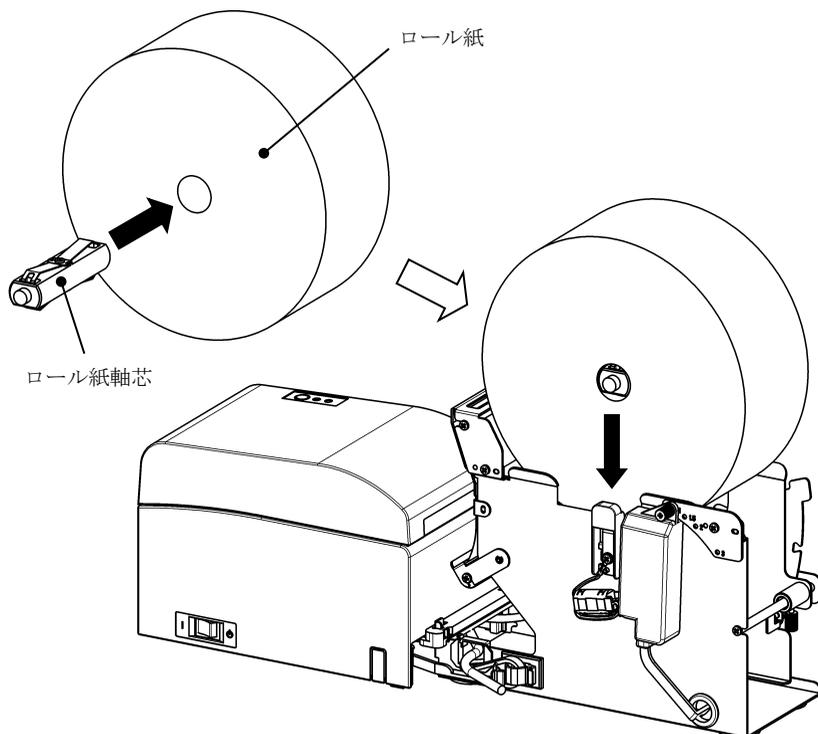
(下記図は、1インチ径紙管のセット位置状態)

- 1 : 1インチ径紙管のセット位置
- 1.5 : 1.5インチ径紙管のセット位置
- 2 : 2インチ径紙管のセット位置
- 3 : 3インチ径紙管のセット位置



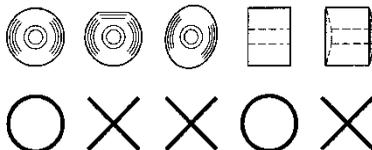
## 14-8. ロール紙のセット方法

- (1) 同梱品のロール紙軸芯にロール紙を挿入し、大径ロール紙ユニットにセットします。

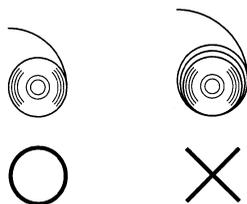


- △注意：新品ロール紙をセットする場合は、糊付け部及びテープ固定部を取り除いてください。
- △注意：糊付け部は印刷が行われませんので残さず一周分程度取り除いてください。またサーマルヘッドに糊等が付着すると印字抜け等、悪影響を及ぼす場合がありますので必ず取り除いてください。
- △注意：ロール紙を装着する場合、装着方向がありますので、14-8. (3) 項の様に装着してください。

⚠注意：ロール紙は、変形がないものを使用してください。下図のようなものを使用すると用紙詰まりや印字詰まり等の故障原因になります。



⚠注意：セットしたロール紙に下図のようなたるみがある場合は、たるみを取り除いて使用してください。たるんだまま使用しますと用紙詰まり、印字詰まり、ペーパーニアエンドが検出できませんので注意願います。

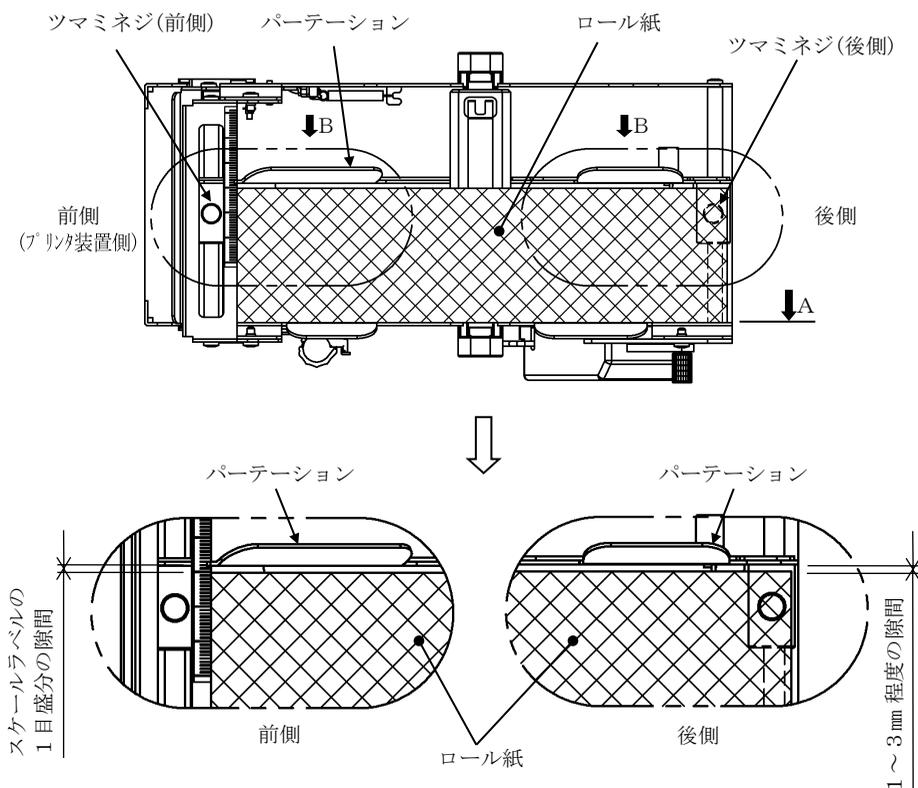


(2) 大径ロール紙ユニット側のロール紙の幅方向位置をパーテーションで決定します。

- ①ロール紙を矢印方向A側に突き当てます。
- ②パーテーションを固定している前後側のツマミネジを緩めます。
- ③パーテーションをロール紙の幅に合わせて矢印方向B側にスライドさせます。
- ④パーテーションの固定は、下図の通り隙間を開けて固定します。

前側：パーテーションとロール紙の隙間をスケールラベルの1目盛分あけてツマミネジ（前側）を締めて固定します。

後側：パーテーションとロール紙の隙間を目分量で1～3mmあけてツマミネジ（後側）を締めて固定します。



- (3) ロール紙をガイドローラの下側を通した後、プリンタのトップカバーを閉じた状態でガイドローラを上方向に持ち上げながら、ガイドローラに沿ってロール紙先端をプリンタ後面からプリンタ内部に挿入します。

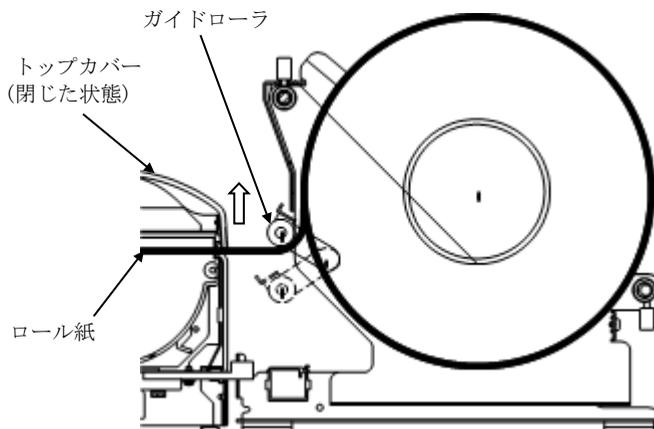


図 a

⚠注意：下図 b の様にロール紙をガイドローラの上側を通すと用紙が送れないことがありますので必ず上図 a の様にガイドローラの下側を通してください。

⚠注意：下図 c の様にロール紙のをセットすると、感熱面が逆となり印字ができませんので、必ず上図 a の様にロール紙をセットしてください。

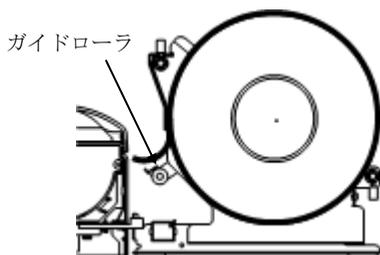


図 b

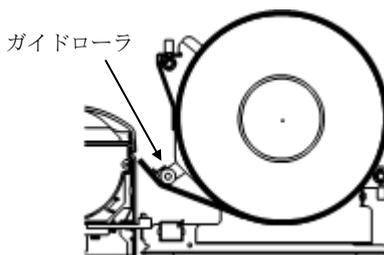
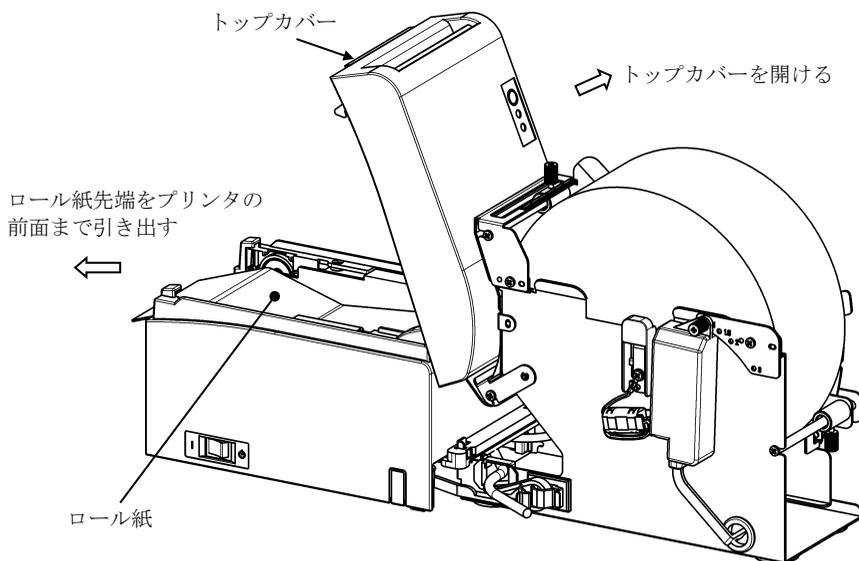
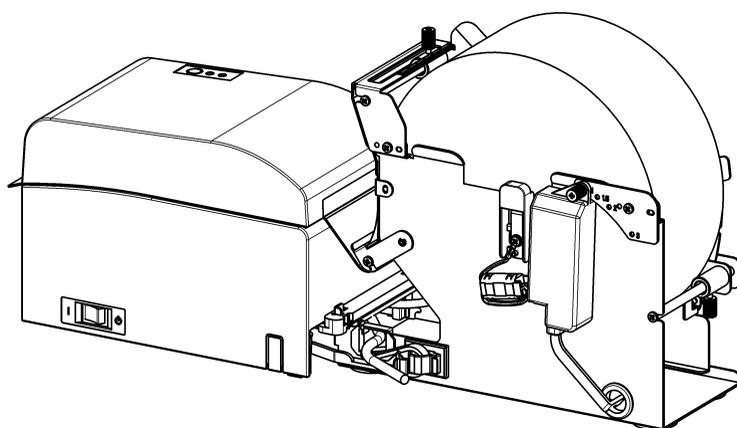


図 c

- (4) トップカバーを開けて、ロール紙先端をプリンタの前面まで引き出します。



- (5) ロール紙のセット完了後、トップカバーを閉じます。



14-9. 大径ロール紙ユニット外観図  
(プリンタと接続した状態)

